



長野県立美術館

2021年度 館報 24
令和3年度

目次

はじめに 5

1 美術館概要

- (1) 特徴 6
- (2) 沿革 7
- (3) 施設概要（本館・東山魁夷館） 8
- (4) 長野県立美術館条例 12
- (5) 長野県立美術館規則 14
- (6) 歴代館長 15

2 展覧会概要 16

3 各展覧会の記録

- (1) 企画展 18
- (2) オープンギャラリー展示 40
- (3) アートラボ展示 49
- (4) 本館 コレクション展 51
- (5) 東山魁夷館 コレクション展 57
- (6) 交流名品展 69
- (7) 移動展 71

4 交流・学習係

- (1) 交流事業（善光寺平アートライン、
県内大学等連携事業、インクルーシ
ブ・プロジェクト） 75
- (2) 学習事業（スクールプログラム、
鑑賞プログラム、アート・コミュニ
ケータ） 77

5 アートライブラリー 82

6 収蔵品貸出 85

- MIDORI 長野展示 87

7 みんなのアートプロジェクト 88

8 新築オープン記念イベント 91

9 広報・マーケティング室事業 92

10 その他

- 利用案内 94

はじめに

平成30（2018）年4月以来、新築工事のために休館していた長野県立美術館（旧名・長野県信濃美術館、令和3年4月1日に改称）の本館は、お蔭をもちまして令和3年4月9日に完成記念式典が挙行され、翌10日に「未来につなぐ～新美術館でよみがえる世界の至宝 東京藝術大学スーパークロン文化財展」をもって開館いたしました。

春から夏の期間には、新美術館のスタッフ・ユニフォームのデザイナーである黒河内真衣子氏と、建物の設計者である宮崎浩氏の個展、地球観測衛星の眼で長野県を俯瞰した映像などによる「めぐりあい JAXA—ながのとながめ」展のほか、「新美術館みんなのアートプロジェクト」による寄附金を用いて委託制作されたアニメーションや立体作品、そして本館と東山魁夷館のあいだの水辺テラスに設置された中谷芙二子氏の「霧の彫刻」などのお披露目を行いました。また、新しい建物の「枯らし期間」の明けた8月28日には、グランドオープン記念「森と水と生きる」展が開幕し、コレクション展示室では「長野県立美術館名品選」（Ⅰ～Ⅲ期）を開催、以後「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」、「生誕100年 松澤宥」展など大掛かりな企画展のほか、交流スペース内のオープンギャラリーでは公開制作や県内アートプロジェクトの紹介など多彩なプログラムをご覧いただきました。

あいにく新型コロナウイルスの感染拡大が進行するなかでの開館となりましたが、この1年間で、本館と東山魁夷館合わせて74万人もの皆様にご来館いただき、のべ29万人（どちらも令和4年1月末時点）の方々に企画展やコレクション展をご覧いただきました。そのなかには、主に県内の小・中・高等学校、特別支援学校など168校からの団体鑑賞者約7,000名が含まれています。

とはいえ、新型コロナウイルス蔓延については残念なこともいろいろとありました。ギャラリートークのように参加者人数の読みにくいイベントの多くや、マスクを着用できない乳幼児を伴うベビーカートゥアのすべてを中止せざるをえませんでしたし、講演会のいくつかは中止したり、録画した講演のネット配信に切り替えざるをえませんでした。また「アトラボ」では、「新美術館みんなのアートプロジェクト」で制作委託した光島貴之・西村陽平・中ハシ克シゲ・金箱淳一氏による触れて楽しむ作品を順次公開する予定でしたが、こちらも入室制限をしたり、手袋をはめて触っていただくなど、さまざまな制限を設けざるをえませんでした。作品鑑賞のための展覧会事業もさることながら、マン・ツー・マンの対話やコミュニケーションが大切な学習・交流事業にとって、不測の対応・工夫に迫られることの多い1年間となりました。

新しい長野県立美術館は、4つの展示ギャラリーを中心に、その周囲にオープンギャラリーやアトライブラリー（1階）、アトラボ（2階）、そして自然と歴史の眺望を楽しむことのできる屋上広場など、自由に見て回ることのできるフリースペースを各所に配しています。フリースペースとは、工夫や創意を盛り込む余地の大きい空間ということでもあります。まだ慣れぬ1年間でしたが、この使い出のある空間を活用して、来館者の皆様とともに県立美術館を育てていきたいと思っておりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年3月

長野県立美術館
館長 松本 透

特徴

長野県立美術館は、昭和41年（1966年）、県民の声を受けて善光寺に隣接する城山公園内に財団法人信濃美術館として発足し、昭和44年（1969年）に長野県に移管されて以来、信州における唯一の県立美術館「長野県信濃美術館」として活動してきました。平成2年（1990年）には東山魁夷館が開館。令和3年（2021年）には本館が新築され、「長野県立美術館」へと改称し、現在に至ります。

本館では、「鑑賞」「学び」「交流」「研究」の4つの柱を軸に、郷土作家の作品、信州の風景画を中心とした近現代美術の収集とコレクション展や企画展の開催、美術団体などへの作品発表の場の提供、多様な学習プログラムの提供、館外における交流活動、近現代美術の研究・発信などを積極的に行っています。

これらの活動を通じて、美術家・学芸員・来館者など、そこに集うすべての人びとが互いに学び合う「人本位の美術館」とするとともに、暮らしに文化のうるおいと創造の喜びを吹き込み、さらに美術を通じて県内外を結ぶ「交流や観光の拠点」となる美術館を目指します。

そして、県民をはじめとする多くの皆様の「豊かで文化的な生活」と、「創造性あふれる人づくり」に貢献することが使命です。

■長野県立美術館の4つの柱

1 多様なアートと出会い、世界観を広げる「鑑賞」

本館及び東山魁夷館において収集・保管している作品のコレクション展のほか、企画展や県下各地での移動展を通じて、多くのみなさまが近代美術から現代美術まで、質の高いアートに出会える機会を提供します。

2 アートを通じて豊かな心を育み、生きる喜びを実感する「学び」

世代を越えて誰もが参加できるプログラムを提供するほか、来館者とアートを結ぶアート・コミュニケータの活動を通じて、アートを楽しく学ぶことができる環境づくりに寄与します。

3 他者との協働により、深く新しい視座を開拓する「交流」

県内各地の美術館などの文化施設、美術家のグループ、また地域の観光施設などとアートを介して連携することにより、地域の拠点施設としての役割も担います。

4 美術作品などの文化資源を調査研究し、公開する「研究」

5,500点余のコレクションを文化資源として調査研究を深めていくとともに、アートに関する最新の調査研究の成果や美術書を中心とした蔵書等のデータベースを公開していきます。

東山魁夷館

東山魁夷館は、長野県が日本画家・東山魁夷（1908-1999）から作品と関係図書の寄贈を受け、長野県信濃美術館に併設して建設され、平成2年（1990年）4月に開館しました。収蔵作品数は現在、970点余に及びます。およそ2カ月に一度の割合で展示替えをし、「風景は心の鏡である」という東山芸術の世界をお楽しみいただいております。

コレクション・ポリシー（作品の収集方針）

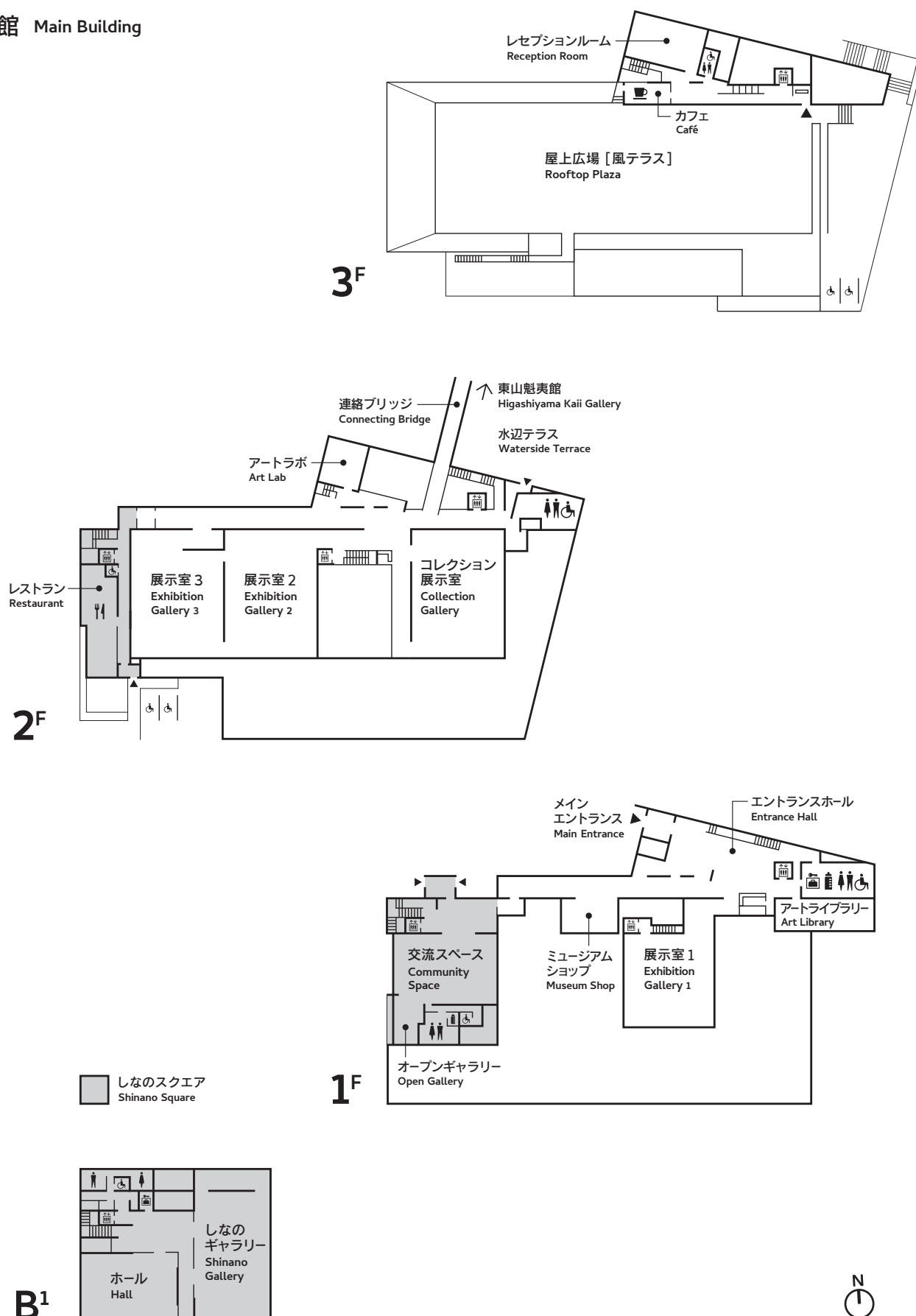
- ・長野県出身または長野県に関係の深い芸術家の優れた近現代美術の作品（絵画、彫刻、水彩、素描、版画、工芸、デザイン、写真、映像など）
- ・美しい山岳風景や精神文化に通じる作品、及び「自然」や「自然と人間」をテーマとした優れた近現代美術の作品
- ・日本及び海外の近現代美術史上の重要作品
- ・近現代美術史を理解する上で貴重な、散逸を防ぐべき作品群及び美術資料群

沿革

昭和40年 3月23日	財団法人 信濃美術館設立
昭和41年 5月28日	財団法人 信濃美術館新築工事完成 (建設費 1億円)
昭和41年10月 1日	信濃美術館開館 (敷地面積：7,946平方メートル 延床面積：1,826平方メートル)
昭和44年 3月31日	長野県信濃美術館条例制定
昭和44年 6月 1日	同美術館を長野県に移管し、長野県信濃美術館発足
昭和45年10月15日	昭和45年 5月着工の第二展示棟増築工事完成 (延床面積：654平方メートル) (建設費 6,500万円)
昭和49年 3月29日	昭和48年12月着工の収蔵庫増築工事完成 (延床面積：333平方メートル) (建設費 5,192万円)
昭和54年 7月12日	長野県美術品取得基金条例制定
昭和61年 4月 1日	管理運営を財団法人 長野県文化振興事業団に委託
昭和62年 9月22日	東山魁夷作品寄贈目録贈呈式
昭和62年11月20日	東山魁夷館基本構想発表
平成元年12月25日	平成元年 8月着工の信濃美術館改修工事完成
平成 2年 4月26日	東山魁夷館開館 (着工：昭和62年12月 完成：平成 2年 2月 敷地面積：4,675平方メートル 延床面積：1,698平方メートル) (建設費 11億円)
平成11年 7月15日	東山魁夷館延入館者数200万人達成
平成15年 3月31日	東山魁夷館側駐車場増設工事完成 (40台から90台へ)
平成18年 4月 1日	財団法人 長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～平成21年 3月31日)
平成20年 7月17日	東山魁夷館延入館者数300万人達成
平成21年 4月 1日	財団法人 長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～平成26年 3月31日)
平成25年 4月 1日	公益法人制度改革に伴い、長野県文化振興事業団が一般財団法人へ移行
平成26年 4月 1日	一般財団法人 長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～平成31年 3月31日)
平成28年10月 1日	長野県信濃美術館開館50周年
平成28年11月18日	信濃美術館整備基本構想発表
平成29年 5月31日	東山魁夷館改修のため休館
平成29年10月 1日	長野県信濃美術館全面改築のため休館
平成30年 5月 1日	長野県信濃美術館事務所全面改築のため長野県南保庁舎へ移転
平成31年 4月 1日	一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～令和 3年 3月31日)
令和元年10月 5日	東山魁夷館リニューアルオープン (エレベーター増設等バリアフリー対応、トラックヤード新設ほか) (改修総事業費 約9億4千万円)
令和 3年 4月 1日	一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～令和 8年 3月31日)
令和 3年 4月10日	長野県立美術館開館 (着工：平成31年 4月 完成：令和 3年 3月 敷地面積：16,363.3平方メートル 延床面積：13,256.96平方メートル) (総事業費 約106億円)

施設概要

本館 Main Building



本館

[建築概要]

-設計-

建築	プランツアソシエイツ オープンヴィジョン
構造	KAP
設備	森村設計
サイン	KMD
外構	オンサイト計画設計事務所
照明計画	ライティングプランナーズアソシエーツ

-施工-

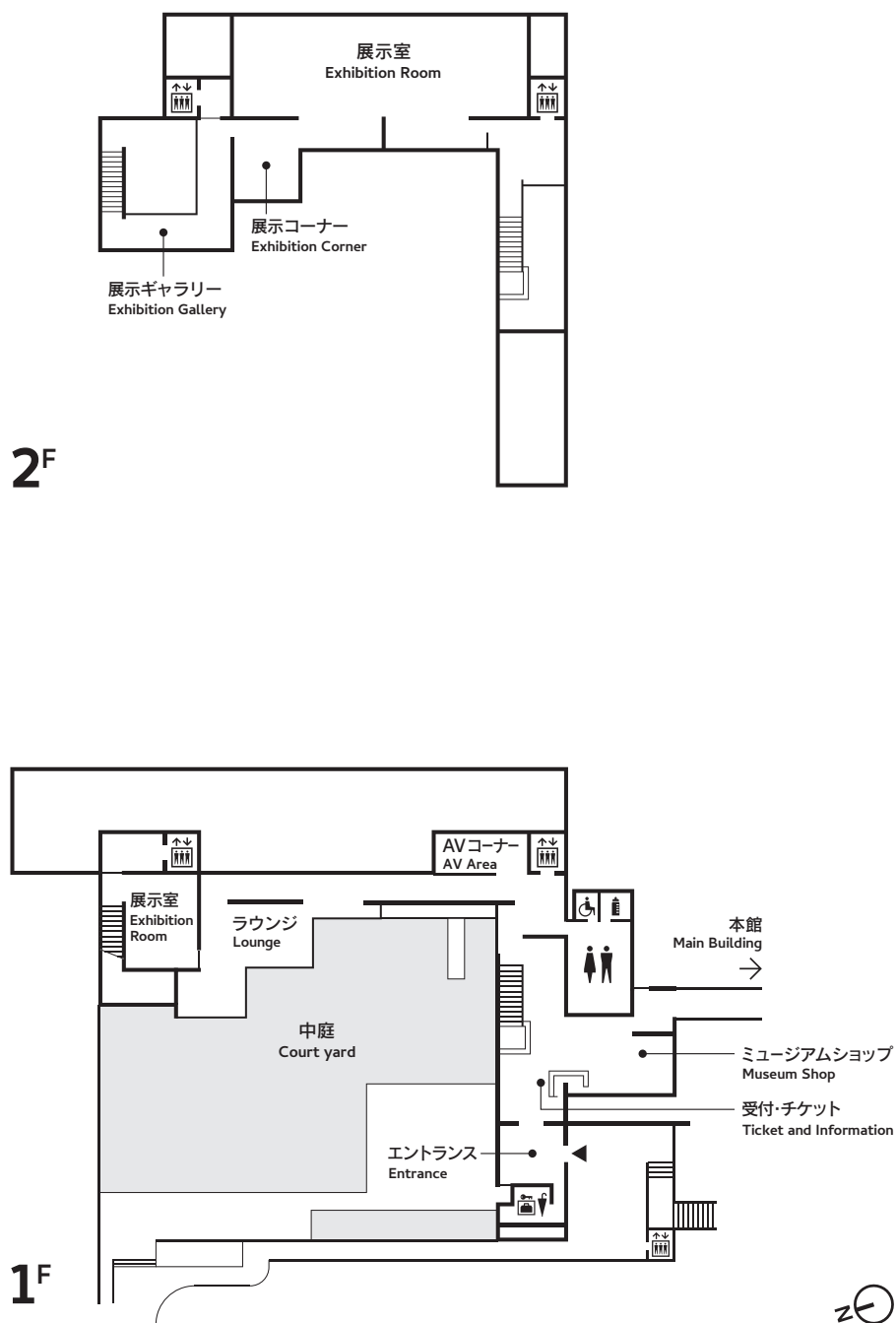
建築/周辺整備	清水・新津建設共同企業体
空調	金澤工業
衛生	浅間設備
電力	協栄電気興業
弱電	TOSYS
外構ほか工事	守谷商会
階数	地下1階 地上3階
最高高さ	h. 11.57m
構造	鉄筋コンクリート造 + プレストレストコン クリート造 一部鉄骨造
地域指定	都市計画区域内（市街化区域）法22条区域 善光寺城山風致地区，下水道処理区域， 日影規制（4h-2.5h/4m），第二種住居地域
工事期間	2019年4月 - 2020年12月（本館） 2021年1月 - 2021年3月（周辺整備等）

[面積]

敷地面積	16,363.30 m ²
建築面積	4,541.17 m ²
延床面積	11,324.25（連絡ブリッジ 69.79 m ² 含む）
地下1階床面積	3,091.45 m ²
・しなのギャラリー	423.93 m ²
・ホール	234.36 m ²
・収蔵庫	789.43 m ²
1階床面積	3,995.08 m ²
・エントランスホール	208.84 m ²
・展示室1	378.06 m ²
・交流スペース	308.12 m ²
・ミュージアムショップ	81.55 m ²
・アトライブラリー	121.97 m ²
・収蔵庫	259.20 m ²
2階床面積	3,691.57 m ²
・展示室2	390.85 m ²
・展示室3	366.34 m ²
・コレクション展示室	389.13 m ²
・展示準備室	192.15 m ²
・アトラゴ	53.84 m ²
・レストラン	105.34 m ²
・連絡ブリッジ	69.79 m ²
・事務室	278.45 m ²
3階床面積	551.41 m ²
・レセプションルーム	116.01 m ²
・カフェ	39.91 m ²

施設概要

東山魁夷館 Higashiyama Kaii Gallery



東山魁夷館

[建築概要]

設計	谷口建築設計研究所
施工	竹中・守谷建築共同企業体

階数	地下2階
最高高さ	h. 11.45 m
構造	鉄筋コンクリート
地域指定	第一種低層住居専用地域 善光寺城山風致地区
工事期間	1988年12月-1989年12月
改修工事期間	2018年5月-2019年3月

[面積]

敷地面積	4,675.00 m ²
建築面積	1,316.31 m ² (内増築面積 225.85 m ²)
延床面積	1,882.22 m ² (内増築面積 225.85 m ²)
1階床面積	1,197.58 m ²
・エントランスホール	119.52 m ²
・展示室	79.38 m ² h. 7.8m
・収蔵庫	169.69 m ²
・荷解室その他	46.45 m ²
・ミュージアムショップ	54.08 m ²
・ラウンジ	128.79 m ²
・事務室	33.56 m ²
2階床面積	684.64 m ²
・展示室	359.11 m ² h. 4.7m
・展示コーナー	30.72 m ² h. 3m
・展示ギャラリー	79.34 m ² h. 4.45m

長野県立美術館条例

昭和44年3月31日 条例第32号

改正 令和2年10月19日 条例第35号

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づき、博物館の設置及び管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 美術品を収集し、保管し、展示して一般住民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するとともに、美術の振興を図り、もって教育、学術及び文化の向上に寄与するため、長野県立美術館（以下「美術館」という。）を長野市に設置する。

(職員)

第3条 美術館に、博物館法第4条第1項及び同条第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(協議会)

第4条 美術館に、博物館法第20条の規定による美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が任命する。

3 協議会の委員の定数は10人以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(利用の許可)

第5条 美術館を利用しようとする者は、次条の規定によりその管理を行わせる指定管理者（地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）の許可を受けなければならない。

(指定管理者による管理)

第6条 美術館の管理は、指定管理者に行わせるものとする。

(指定管理者の指定)

第7条 指定管理者の指定は、美術館の管理を行うことを希望するものの申請によりその候補者を選定し、議会の議決を経て行うものとする。

(指定の申請)

第8条 前条の申請は、教育委員会が定める日までに、教育委員会規則で定めるところにより、申請書に事業計画書（職員、美術館の管理の方法その他の美術館の管理業務の実施に関する計画を記載した書類をいう。次条において同じ。）その他教育委員会規則で定める書類を添付して行うものとする。

(候補者の選定の基準)

第9条 第7条の候補者の選定は、次に掲げる基準により行うものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、美術館の公共性を確保し、かつ、美術館の効用を最大限発揮するとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (2) 一般住民の平等な利用が確保されること。
- (3) 事業計画書の内容の確実な実施に必要な経理的及び技術的な基礎を有するものであること。
- (4) 指定管理者が行う業務について相当の知識及び経験を有する者を当該業務に従事させることができること。
- (5) 県内において芸術文化の振興に寄与する活動を行っているものであること。
- (6) 地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しないものでないこと。

(指定の告示)

第10条 教育委員会は、指定管理者の指定をしたときは、当該指定管理者の名称及び主たる事務所の所在地並びに当該指定の期間を告示しなければならない。

(業務の範囲)

第11条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 美術品を保管し、及び展示するとともに、一般住民に対して当該美術品に関し必要な説明を行うこと。
- (2) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) 美術館の利用の許可に関する業務
- (4) 美術館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）に関する業務
- (5) 博物館法第3条第1項第4号から第11号までに掲げる事業に関する業務
- (6) 前各号に掲げる業務に附帯する業務

(管理の基準)

第12条 指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 美術館の休館日について、水曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、木曜日）、休日の翌日及び12月28日から翌年1月3日までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。
- (2) 美術館の利用時間について、午前9時から午後5時までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、

これを変更することができる。

- (3) 美術館の利用の停止及び許可の取消しについて、展示品等を汚損した場合その他の教育委員会規則で定める場合に行うことができるものとする。
- (4) 美術館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができること。
- (5) この条例及び次条の規定による協定を遵守して行うこと。
- (6) 指定管理者がその業務を行うに当たって取得した利用者の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理を適切に行うために必要な基準で教育委員会が定めるもの
- (協定の締結)

第13条 教育委員会及び指定管理者は、次に掲げる事項について、協定を締結するものとする。

- (1) 地方自治法第244条の2第7項に規定する事業報告書に関する事項
- (2) 利用者の個人に関する情報の取扱いに関し必要な事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項
- (利用料金の納付等)

第14条 美術館の展示品を観覧する者又は県民ギャラリー若しくは多目的ルームを利用する者は、利用料金を納付しなければならない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させるものとする。
- 3 常設に係る展示品を観覧する場合の利用料金の額は、1人1回について700円の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 4 特別企画に係る展示品を観覧場合の利用料金の額は、あらかじめ知事の承認を得て、特別企画ごとに指定管理者が定めるものとする。
- 5 知事は、前項に規定する承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が当該申請に係る特別企

(別表) (第14条関係)

1 県民ギャラリー及び多目的ルーム

区 分		金 額		
		午前9時から 午後零時30分まで	午後1時から 午後5時まで	午前9時から 午後5時まで
県民ギャラリー		円	円	円
		—	—	23,400
多目的ルーム	文化芸術活動に利用する場合	6,000	6,900	13,800
	文化芸術活動以外に利用する場合	24,200	27,600	55,200

(備考) 1 入場料又はこれに類するものを徴収して利用する場合は、この表に掲げる区分に従い、当該区分に定める額に100分の130を乗じて得た額とする。

2 県民ギャラリーの一部を利用する場合の利用料金の額は、当該利用する部分の面積に応じ、知事が定める額とする。

2 備品等

区 分	金 額
備品を利用する場合	知事が別に定める額
電気器具の持込みをして電力を利用する場合	

画と規模、形態等において類似の特別企画に係る展示品を観覧する場合の料金と比較して均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

- 6 県民ギャラリー又は多目的ルームを利用する場合の利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- (利用料金の減免)

第15条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、利用料金について知事が定める額を基準とした額を減免することができる。

- (1) 国又は地方公共団体が利用するとき。
- (2) 前号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

(利用料金の還付)

第16条 指定管理者は、既に納付された利用料金を還付しないものとする。ただし、指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、知事が定める額を基準とした額を還付することができる。

- (1) 利用する者の責任によらない理由で利用できなくなったとき。
- (2) 利用の申込みをした者が知事が定める日までにその申込みを取り消したとき。
- (3) 前2号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

(管理等の委任)

第17条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理等及び協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和44年6月1日から施行する。

附 則 (令和2年10月19日条例第35号)

この条例は、公布の日から施行する。ただし、題名の改正規定、第2条の改正規定(「長野県信濃美術館」を「長野県立美術館」に改める部分に限る。)及び次項の規定は、令和3年4月1日から施行する。

長野県立美術館規則

昭和44年5月19日 教育委員会規則第6号

改正 令和3年3月29日 教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、長野県立美術館条例（昭和44年長野県条例第32号。以下「条例」という。）第17条の規定により、長野県立美術館（以下「美術館」という。）の管理等及び美術館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(協議会)

第2条 条例第4条の規定による協議会は、長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が招集する。

2 協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年2回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 協議会に幹事2名を置き、幹事は教育委員会が指名する。

(利用の許可等)

第3条 県民ギャラリー又は多目的ルーム（以下「貸出施設」という。）を利用する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、申請書を次に掲げる期間内に条例第6条の規定により美術館の管理を行う指定管理者（以下「指定管理者」という。）に提出して申請しなければならない。

(1) 県民ギャラリー又は県民ギャラリーと併せて利用する場合の多目的ルームについては、利用しようとする日（以下この項において「利用日」という。）の前1年に当たる日の属する月の初日（その日が休館日に当たるときは、その翌日）から利用日の前30日まで

(2) 多目的ルームについては、利用日の前3月に当たる日（その日が休館日に当たるときは、その翌日）から利用日の前日まで

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、知事の承認を得て、同項の期間外の申請についても受理することができる。

3 第1項の申請書には、次に掲げる事項を記載するものとする。

(1) 利用目的

(2) 利用する貸出施設の名称

(3) 利用期間

(4) 入場料又はこれに類するものを徴収して利用する場合にあっては、その旨

(5) 多目的ルームを文化芸術活動以外に利用する場合にあっては、その旨

(6) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が利用の許可を行うために必要と認める事項

4 美術館の展示品を観覧する者は、条例第5条の規定に

よる許可を受けようとするときは、指定管理者に口頭により申請しなければならない。

5 指定管理者は、第1項の申請に対し貸出施設の利用を許可したときはその利用許可書を、前項の申請に対し展示品の観覧を許可したときは入場券を交付しなければならない。

(利用取消届)

第4条 前条第5項の規定による利用許可書の交付を受けた者（第6条及び第7条において「貸出施設利用者」という。）が、貸出施設の利用の取消しをしようとするときは、その理由を記載した届出書に当該利用許可書を添付して、指定管理者に提出しなければならない。

(遵守事項)

第5条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、展示品等を毀損し、又は汚損しないこと。

(2) 館内において他人に迷惑をかけないこと。

(3) 所定の場所以外で飲食しないこと。

(4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者が教育委員会の承認を得て定める事項

(利用後の処理)

第6条 貸出施設利用者は、施設又は備品の利用を終了したときは、その旨を指定管理者に届け出なければならない。

(損害の賠償)

第7条 美術館を利用する者は、施設、展示品等（貸出施設利用者が持込みをしたものを除く。）を毀損し、汚損し、又は滅失したときは、速やかに指定管理者に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(指定の申請)

第8条 条例第8条の申請書は、指定管理者指定申請書（別記様式）によるものとする。

2 条例第8条の教育委員会規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。ただし、条例第7条の申請を行うもの（以下この項において「申請者」という。）について教育委員会がその性格に応じ前項の申請書に添付することを要しないものと認める書類がある場合には、当該書類を除く。

(1) 定款若しくは寄附行為及び登記事項証明書又はこれらに準ずるもの

(2) 申請の日の属する事業年度の前3年の各事業年度における申請者の事業の状況を記載した書類、貸借対照表及び損益計算書若しくは収支計算書又はこれらに準ずるもの

(3) 申請の日の属する事業年度及び翌事業年度における

申請者の事業の実施及び収支に係る計画を記載した書類

- (4) 役員の名簿及び履歴書
- (5) 申請者が現に行っている業務の概要を記載した書類
- (6) 申請者が条例第9条第6号に該当する旨の誓約書
- (7) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

(利用の停止又は許可の取消しを行うことができる場合)

第9条 条例第12条第3号の教育委員会規則で定める場合は、第5条の規定に違反した場合とする。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理等に

ついて必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、昭和44年6月1日から施行する。

附 則 (令和3年3月29日教育委員会規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、題名の改正規定、第1条の改正規定(「第16条」を「第17条」に改める部分を除く。)及び別記様式の改正規定(「(第7条関係)」を「(第8条関係)」に改める部分を除く。)は、令和3年4月1日から施行する。

様 式 (省略)

歴代館長

山 田 邦 夫	昭和41年10月1日～昭和44年5月31日	※財団法人 信濃美術館
西 沢 千 秋	昭和44年6月1日～昭和46年11月30日	※財団法人から県に移管
宮 沢 寿	昭和46年12月1日～昭和47年11月30日	
藤 森 治 幸	昭和47年12月1日～昭和53年3月31日	
鵜 野 孝	昭和53年4月1日～昭和57年1月31日	
大 友 博 幸	昭和57年2月1日～昭和57年3月31日	教育次長兼
竹 本 春 男	昭和57年4月1日～昭和58年3月31日	
佐 藤 義 人	昭和58年4月1日～昭和59年3月31日	
伊 藤 万寿雄	昭和59年4月1日～昭和60年3月31日	
三 沢 国 臣	昭和60年4月1日～昭和61年3月31日	
山 本 正 男	昭和61年4月1日～平成14年3月31日	※長野県文化振興事業団に管理運営を委託
松 本 猛	平成14年4月1日～平成22年4月30日	
橋 本 光 明	平成23年4月8日～平成30年3月31日	
松 本 透	平成30年4月1日～現在に至る	

令和3年度展覧会概要

(1) 当館主催展覧会

企画展

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
長野県立美術館完成記念 未来につなぐ～新美術館でよみがえる世界の至宝 東京藝術大学スーパークロン文化財展	4/10～6/6	50	22,588	1,409	2,408	986	2,289	29,680
新美術館みんなのアートプロジェクト ふれてみて	4/10～8/15*	0	—	…	…	…	…	0
新美術館みんなのアートプロジェクト Something there is that doesn't love a wall —榎原澄人×ユーフラテス	4/10～8/15	111	—	…	…	…	…	…
めぐりあい JAXA—ながのとながめ	6/19～8/15	51	—	…	…	…	…	23,491
長野県立美術館メイキングドキュメント つながる美術館 宮崎浩とランドスケープ・ミュージアム	6/19～8/15	51	—	…	…	…	…	20,921
10 Mame Kurogouchi	6/19～8/15	51	15,634	1,389	2,026	827	1,111	20,987
長野県立美術館グランドオープン記念 森と水と生きる	8/28～11/3*	50	12,711	2,806	1,325	2,475	1,543	20,860
東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展	11/19～ 2022年1/16	46	51,889	1,735	2,559	1,248	4,326	61,757
生誕100年 松澤宥	2022年2/2～3/21	42	3,460	812	773	84	348	5,477
計		563	106,282	8,151	9,091	5,620	9,617	183,173

オープンギャラリー展示

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
美術館のある街・記憶・風景 日常記憶地図で見る50年	4/10～6/27	69	—	…	…	…	…	…
オープンギャラリー夏季展示 富長敦也 Love Stone Project-Nagano	7/1～7/27	24	—	…	…	…	…	…
オープンギャラリー夏季展示 小松美羽 2021夏—祈りと交感—	7/29～8/24	25	—	…	…	…	…	15,671
オープンギャラリー夏季展示 中谷芙二子 Dynamic Earth	8/27～10/3*	33	—	…	…	…	…	4,717
公開制作 vol.1 源馬菜穂 絵とつながり	10/9～12/19	63	—	…	…	…	…	13,089
長野県内アートプロジェクトアーカイヴス vol.1 木曾ペインティングス「木曾馬に引かれて善光寺」	2022年1/8～3/29	71	—	…	…	…	…	8,325
計		285	0	0	0	0	0	41,802

アートラボ展示

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
アートラボ2021第Ⅰ期 光島貴之展 でこ・ぼこ・ながの	10/8～ 2022年1/11*	77	—	…	…	…	…	1,441
アートラボ2021第Ⅱ期 西村陽平展 彫刻を見るとき、耳を澄ます	2022年 3/11～7/26*	18	—	…	…	…	…	890
計		95	0	0	0	0	0	2,331

コレクション展（本館）

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
長野県立美術館名品選 第Ⅰ期	8/28～10/26*	43	12,834	959	1,067	2,046	1,258	18,164
長野県立美術館名品選 第Ⅱ期	10/28～2022年1/11	59	28,641	1,909	2,689	2,728	4,428	40,395
長野県立美術館名品選 第Ⅲ期	2022年1/13～3/15	55	8,034	880	946	91	858	10,809
計		159	49,509	3,748	4,702	4,865	6,544	69,368

コレクション展（東山魁夷館）

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
第Ⅰ期	4/15～6/1	42	12,305	357	1,900	894	1,835	17,291
第Ⅱ期	6/3～7/27	48	11,298	375	1,282	926	1,110	14,991
第Ⅲ期	7/29～10/5	52	14,414	822	1,899	808	1,178	19,121
第Ⅳ期	10/7～12/7	54	22,165	1,459	1,644	3,761	2,654	31,683
第Ⅴ期	12/16～2022年2/8*	43	16,860	1,113	1,770	152	2,448	22,343
第Ⅵ期	2022年2/10～4/12	54	8,234	809	1,249	219	683	11,194
計		293	85,276	4,935	9,744	6,760	9,908	116,623

※については各報告を参照

(2) 長野県立美術館 交流展

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
佐久の風景と生命の輝き 長野県立美術館交流名品展(会場:小海町高原美術館)	9/11～11/7	46	1,068	419	...	...	...	1,487
計		46	1,068	419	0	0	0	1,487

(3) 長野県立美術館 移動展

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
2021年度長野県立美術館移動展 in 伊那文～県美術館コレクション展がまるごとやってくる～(会場:長野県伊那文化会館)	11/2～11/28	24	963	188	112	...	...	1,263
2021年度長野県立美術館移動展～南信州ふるさとアート紀行～(会場:あしたむらんど下條)	11/27～12/12	16	—	...	...	...	...	287
計		40	963	188	112	0	0	1,550

(4) しなのギャラリー(県民ギャラリー)における展覧会(施設利用)

展覧会名	主催団体名	会期	日数	入場者数		
				有料	無料	計
清水潤子個展「花と友に…いけばな展」～清水潤子と花を愛する仲間たち～	「花と友に…いけばな展」実行委員会	6/3～6/8	6	0	1,365	1,365
フェリーサのジェニユインキルト展 紡がれた美しき世界	中沢フェリーサ	6/11～6/15	5	0	600	600
第65回記念 新世紀長野展	新世紀美術協会長野支部	7/9～7/13	5	0	1,039	1,039
第54回 一陽会長長野展	一陽会長長野支部	7/23～7/27	5	0	700	700
津田翔一 油彩画展 ～明るい洞窟～	津田 翔一	7/29～8/3	6	121	0	121
ZAWAMEKI ART EXHIBITION 2021 The Invisible Landscape 80人がつくる風景	信州ザワメキアート展2021 実行委員会	8/8～8/23	14	0	4,714	4,714
第40回記念 長野県工芸展	長野県工芸会	8/27～8/31	5	0	819	819
「ペンの庫」展	信濃毎日新聞社	9/19～9/26	7	0	1,109	1,109
カラコレス研究生グループ展 ～プリザーブド & アートフラワーの世界～	カラコレス・プリザーブド&アートフラワースクール	10/1～10/5	5	0	304	304
長野県華道協会 いけばな展2021～伝統を守り続けて80年～花を愛で・心いやされて	長野県華道協会	10/8～10/11	4	0	1,385	1,385
第10回 藍の会書展 併催 日詰静琴書展	書道研究 藍の会	10/22～10/24	3	0	700	700
第54回「ふれあい展」長野県上水内特別支援学級・特別支援学校 児童生徒作品展	長野県上水内特別支援教育担任社会	10/29～11/2	5	0	2,086	2,086
第62回 北信高校美術展	北信高校美術展事務局	11/6～11/9	4	0	643	643
三輪小学校 秋の校内展覧会	長野市立三輪小学校	11/26～11/28	3	0	810	810
2021 信州ねりんピック長野県高齢者作品展 巡回展	2021 信州ねりんピック実行委員会	12/2～12/7	6	0	353	353
山田「洋子水彩画&まさお造形」の夫婦展	アトリエようこ	12/2～12/7	6	0	865	865
上高田保育園40周年記念 絵画展 ～ヒトから人間になる～	上高田保育園父母会	12/19～12/25	6	0	738	738
第31回 長野市風景画展	長野市文化スポーツ振興部 文化芸術課	1/8～1/18	10	0	2,955	2,955
令和3年度信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース 卒業記念展覧会	信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース	2/10～2/15	6	0	311	311
善光寺絵画コンクール	善光寺の世界遺産登録をすすめる会	2/19～2/27	8	0	537	537
第49回 日本の書展	信濃毎日新聞社事業部「日本の書展」係	3/4～3/7	4	1,547	0	1,547
第51回 新構造長野県展	(一社)新構造社長野支部	3/11～3/15	5	0	463	463
計			128	1,668	22,496	24,164

(5) ホール(多目的ルーム)におけるイベント

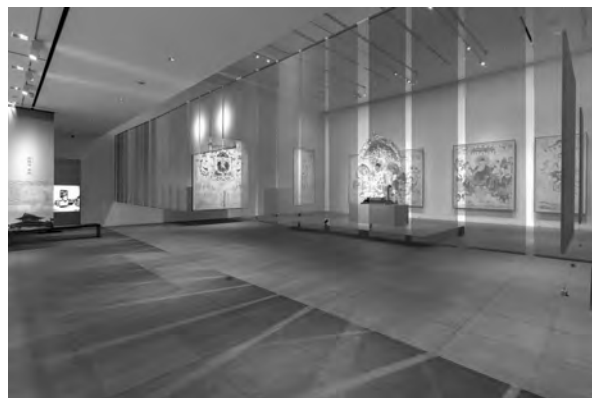
イベント名	主催団体名	会期	日数	入場者数		
				有料	無料	計
コロナに負けるな!長野商連げんき寄席2021	長野商店会連合会	11/27	1	209	0	209
計			1	209	0	209

企画展（展示室1・2・3）

長野県立美術館完成記念 未来につなぐ～新美術館でよみがえる世界の至宝 東京藝術大学スーパークローン文化財展

新県立美術館の完成にあたり、美術館という施設の本質に関わる、公開と保存・修復・復元をめぐるさまざまな問題について考える展覧会を開催した。東京藝術大学が開発した最新のデジタル技術を駆使し、文化財を「スーパークローン」として、周囲の環境までも含めて精密に復元する方法により、パーミヤンやキジル、敦煌などの石窟寺院から法隆寺金堂の釈迦三尊像に至るまでの、仏教東漸の跡を記す「スーパークローン文化財」を展示した。周囲の環境までも含めて展示することで、近年の地球温暖化による気候の急激な変化や地域紛争の激化により、存亡の危険にさらされている文化財の保護と公開の問題について、新たな視点から考える機会とした。

- 会期 令和3年4月10日(土)から6月6日(日)
(50日間)
- 会場 長野県立美術館(展示室1・2・3)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社
(公財)信毎文化事業財団
(共催)長野県教育委員会、東京藝術大学、SBC 信越放送
(特別協力)東京藝術大学 COI 拠点、株式会社 IKI
(後援)長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本 長野支社
- 観覧料 一般1,400(1,200)円、大学生及び75歳以上1,200(1,000)円、
高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館およびコレクション展との共通料金
一般 1,700円、大学生及び75歳以上1,300円
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 29,680人(有料:22,588人 無料:7,092人)
- イベント ①対談講演「法隆寺釈迦三尊像のスーパークローン文化財展について」／講師:深井隆(東京藝術大学名誉教授)・松本透(当館館長)／日時:4月18日(日)14:00～
／場所:ホール／参加人数:35人
②講演「美術品の複製や復元の可能性」／講師:平諭一郎(東京藝術大学特任准教授)／日時:5月15日(土)14:00～
／場所:ホール／参加人数:52人
③ギャラリートーク(担当学芸員)／日時:4月29日(木・祝)11:00～
／参加人数:8人
4月30日(金)11:00～
／参加人数:18人
5月23日(日)11:00～
／参加人数:35人
- 担当学芸員 田中正史、赤津将之、鈴木幸野



No.	種別	作品名	寸法 (cm)	原年代
日本				
1	スーパークロン文化財	法隆寺釈迦三尊像	中尊 大光背 右脇侍及び右脇侍光背 左脇侍及び左脇侍光背 上座	287.0×202.0×96.0 623年
2	スーパークロン文化財	法隆寺金堂壁画	第1号壁	320.0×270.0
3			第6号壁	320.0×270.0
4			第7号壁	320.0×166.0
5			第8号壁	320.0×166.0
6			第9号壁	320.0×270.0
7			第10号壁	320.0×270.0
8			第11号壁	320.0×166.0
9			第12号壁	320.0×166.0
10	模型	法隆寺釈迦三尊像	鋳造のための3D 出力原型	280.0×200.0×94.0
11	映像	スーパークロン文化財		3分51秒
12	映像	法隆寺釈迦三尊像 (黄金)	スーパークロン制作工程	8分14秒
13	クロン文化財	法隆寺釈迦三尊像	中尊 大光背 右脇侍及び右脇侍光背 左脇侍及び左脇侍光背 上座 下座	418.0×275.2×246.3 623年
		法隆寺金堂中の間	天蓋	
14	スーパークロン文化財	法隆寺金堂壁画	第1号壁	320.0×270.0
15			第2号壁	320.0×166.0
16			第3号壁	320.0×166.0
17			第4号壁	320.0×166.0
18			第5号壁	320.0×166.0
19			第6号壁	320.0×270.0
20			第7号壁	320.0×166.0
21			第8号壁	320.0×166.0
22			第9号壁	320.0×270.0
23			第10号壁	320.0×270.0
24			第11号壁	320.0×166.0
25			第12号壁	320.0×166.0
26	映像	法隆寺釈迦三尊像 (古色)	クロン制作工程	7分03秒
27	クロン文化財	天王立像	全高51.7	7世紀中期
北朝鮮				
28	クロン文化財	高句麗古墳群江西大墓 《四神図》	南壁「朱雀」再現 北壁「玄武」再現 西壁「白虎」再現 東壁「青龍」再現	227.0×316.0×304.0 6-7世紀頃
中国				
29	映像	キジル石窟航海者窟		4分50秒
30	クロン文化財	キジル石窟 第212窟	《シュローナコーティカルナ》	124.2×633.0
	スーパークロン文化財		《マイトラカニヤカ》	133.7×574.0
31	クロン文化財	敦煌莫高窟 第57窟	南壁 北壁 西壁 東壁	331.0×398.0×637.0 7世紀前半
	スーパークロン文化財		如来坐像	約180×80×60
			菩薩立像	約180×40×30
			制作工程 (タイムラプス)	56秒 (タイムプラス)
32	映像			5分40秒
33	映像			
アフガニスタン				
34	クロン文化財		壁画 仏坐像	16.4×13.2
35	クロン文化財	アフガニスタン流出文化財 バーミヤン石窟	K洞ヴォールト部分 壁画 仏坐像	34.0×30.0 7-8世紀
36	スーパークロン文化財		K洞ヴォールト部分 壁画 仏坐像想定復元	
37	クロン文化財		K洞 壁画 仏坐像	24.5×28.8
38	スーパークロン文化財	バーミヤン東大仏天井壁画	《天翔る太陽神》	300.0×750.0×850.0
39	模型		約91×60×22	6世紀
40	映像	バーミヤン15年目の春		3分00秒
タジキスタン				
41	クロン文化財	ベンジケント遺跡発掘区 VI	広間I壁画《ハーブを奏でる 女性像ほか》	142.6×245.6 8世紀
ウズベキスタン				
42	クロン文化財	アフラシャブ遺跡壁画		73.0×698.7
43	模型			25.5×90.5×90.5 7世紀

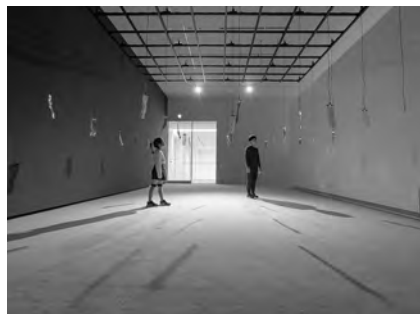
企画展（コレクション展示室・アートラボ）

新美術館みんなのアートプロジェクト ふれてみて

新美術館本館2階に新設された「アートラボ」は、視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な作品を展示する「ラボ(実験室)」として、誰でも立ち寄れ、アートに触れて、新たな発見が生まれる場となることを目指している。長野県は新美術館開館にあたって、「アートラボ」のためのオリジナル作品を制作する「新美術館みんなのアートプロジェクト」を実施。金箱淳一、中ハシクシゲ、西村陽平、光島貴之という4名の作家に作品制作を依頼した。本展は、その全作品を展示してご紹介するという企画であった。

- 会期 令和3年4月10日(土)から8月15日(日)
*新型コロナウイルス感染症防止の観点から、開室せず。イベントのみ開催した。
- 会場 長野県立美術館
(コレクション展示室・アートラボ)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館
(共催)長野県教育委員会
- 観覧料 無料
- 入館者数 なし

- イベント
- ①アーティストトーク 金箱淳一、中ハシクシゲ／講師：金箱淳一、中ハシクシゲ／日時：5月8日(土)13:30～15:30／場所：レセプションルーム／参加人数：25人
- ②クロストーク 金箱淳一、中ハシクシゲ／講師：金箱淳一、中ハシクシゲ／日時：5月9日(日)10:00～14:00／場所：レセプションルーム／参加人数：12人
- ③アーティストトーク 西村陽平、光島貴之／講師：西村陽平、光島貴之／日時：6月26日(土)13:30～15:30／場所：レセプションルーム／参加人数：27人
- ④クロストーク 西村陽平、光島貴之／講師：西村陽平、光島貴之／日時：6月27日(日)10:00～14:00／場所：レセプションルーム／参加人数：19人
- 担当学芸員 木内真由美、竹花藍子



© Shinichi Kanai

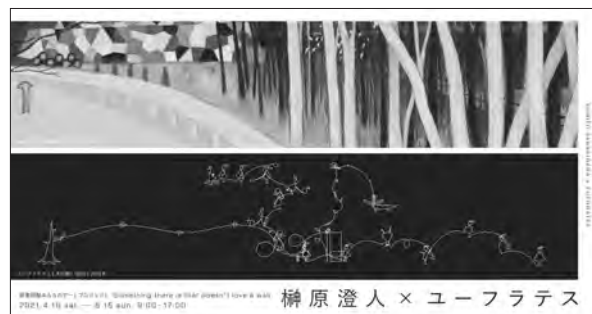
	作家名	Artist	作品名	素材	サイズ(高さ×幅×奥行)cm	制作年	制作協力
1	西村陽平	Nishimura Yohei	ペットボトル2 (タカラ本みりん)	ペットボトル、鉛	53.2×45.4×4.1	2021	
2	西村陽平	Nishimura Yohei	ペットボトル1	ペットボトル、鉛	40.3×32.5×3.1	2021	
3	西村陽平	Nishimura Yohei	缶コーヒー	アルミ缶、アルミ板	32.4×30.5×1.5	2021	
4	西村陽平	Nishimura Yohei	缶ビール	アルミ缶、アルミ板	32.5×30.5×1.8	2021	
5	西村陽平	Nishimura Yohei	死者の書	土、紙、鉄	110.0×40.5×45.0	2021	
6	西村陽平	Nishimura Yohei	カップと石の関係 ー溶ける石	石、カップ	39.8×32.5×17.9	2021	
7	西村陽平	Nishimura Yohei	カップと石の関係 ー叫ぶ石	石、カップ	28.3×26.4×19.5	2021	
8	西村陽平	Nishimura Yohei	彫刻に耳を澄ます	粘土、電球、ラジオ	83.0×43.0×43.0、 86.0×44.0×44.0(2 点1組)	2021	
9	光島貴之	Mitsushima Takayuki	まち歩きー善光寺参道から 信濃美術館へ	木製パネル、ミクストメ ディア	200.0×1020.0× 17.0	2021	アトリエみつ しま
10	光島貴之	Mitsushima Takayuki	触覚でめぐる360度	木製パネル、ミクストメ ディア	40.0×40.0×160.0	2021	アトリエみつ しま
11	光島貴之	Mitsushima Takayuki	かたちと手ざわりで行っ たり来たり	木製パネル、カッティン グシート、釘、鋏、ピン	140.0×255.0×19.0	2021	アトリエみつ しま
12	光島貴之	Mitsushima Takayuki	新しい点字ブロック(行き たい方角を足裏で感じる)	木製パネル、ステンレス 板、ベニヤ、布、スポン ジゴム、釘、ピン	40.0×40.0×7.3	2021	アトリエみつ しま
13	光島貴之	Mitsushima Takayuki	新しい点字ブロック(ショ ッピングモールでハンバ ー屋さんを見つける)	木製パネル、ベニヤ、ス ポンジゴム、鋏	40.0×40.0×7.5	2021	アトリエみつ しま
14	光島貴之	Mitsushima Takayuki	新しい点字ブロック (待ち合わせ場所)	木製パネル、パイン集成 材、釘、鋏、ガラス玉	40.0×40.0×1.14	2021	アトリエみつ しま
15	中ハシクシゲ	Nakahashi Katsushige	おしめの家族 (車椅子犬)	イロブラ樹脂(オレフィ ン系樹脂)、ステンレス 鋼	40.0×80.0×40.0	2021	
16	中ハシクシゲ	Nakahashi Katsushige	おしめの家族 (介護犬)	イロブラ樹脂(オレフィ ン系樹脂)、水系樹脂	25.0×60.0×50.0	2021	
17	中ハシクシゲ	Nakahashi Katsushige	おしめの家族 (おしめ観音)	イロブラ樹脂(オレフィ ン系樹脂)、水系樹脂	65.0×50.0×60.0	2021	
18	中ハシクシゲ	Nakahashi Katsushige	おしめの家族 (おねんね)	イロブラ樹脂(オレフィ ン系樹脂)、水系樹脂	20.0×60.0×75.0	2021	
19	中ハシクシゲ	Nakahashi Katsushige	おしめの家族 (ハイハイ)	イロブラ樹脂(オレフィ ン系樹脂)、水系樹脂、 ステンレス鋼、アクリル 絵具	40.0×25.0×70.0	2021	
20	金箱淳一 + 原田智弘	Kanebako Junichi + Harada Tomohiro	音鈴ー信濃	基板、マイコン、セン サ、振動スピーカー、 LED	300.0×400.0× 400.0	2021	中村開
21	金箱淳一	Kanebako Junichi	Vibracion Banco	木、振動スピーカー、ア ンプ、コンピューター、 センサ	46.0×180.0× 31.1、45.2×179.8 ×30.9(2点1組)	2021	川本楽器工房

企画展（交流スペース）

Something there is that doesn't love a wall —榎原澄人×ユーフラテス

県立美術館は、リニューアルオープンを契機に、長野県と映像メディアの深いつながりを踏まえ、写真、ビデオ、アニメーションなどの紹介にも取り組んでいくこととなった。新たな試みとして、約2年間にわたって実施した、新設される「交流スペース」のためのコミッションワーク「新美術館みんなのアートプロジェクト」(映像)のお披露目企画として、榎原澄人《飯縄縁日》とユーフラテス《1本の線》の上映展示を行った。

- 会期 令和3年4月10日(土)から8月15日(日)
(111日間)
- 会場 長野県立美術館(交流スペース)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館
- 観覧料 無料
- イベント
 - ①アーティストトークA／登壇者：榎原澄人、うえ田みお(リモート登壇)、山本晃士ロバート(同)、松井正(当館学芸員)／日時：5月1日(土)14:00～15:00／場所：交流スペース／参加人数：44人
 - ②夜間上映会／日時：5月4日(火)17:00～20:00／場所：交流スペース／参加人数：67人
 - ③アーティストトークB／登壇者：榎原澄人、中尾太一(詩人)、松井正(当館学芸員)／日時：5月29日(土)14:00～15:00／場所：交流スペース／参加人数：30人
 - ④アーティストトークB／登壇者：うえ田みお(リモート登壇)、山本晃士ロバート(同)、松井正(当館学芸員)／日時：7月24日(土)14:00～15:00／場所：交流スペース／参加人数：22人
- 担当学芸員 松井正、古家満葉

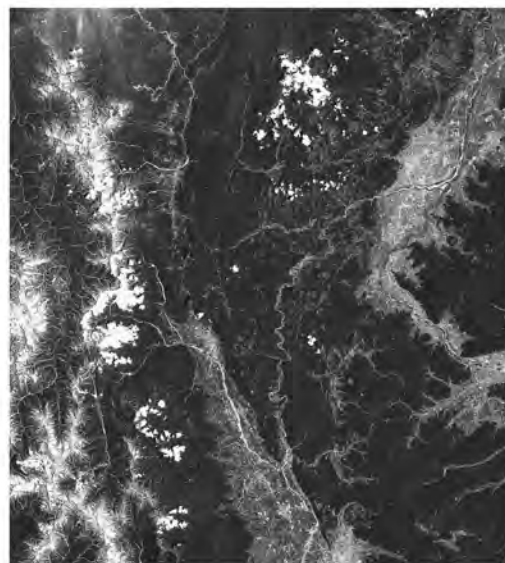


No.	作品名	作者	制作年	材質他
1	飯縄縁日	榎原澄人	2021年	ビデオ、ステレオ、12分
2	1本の線	ユーフラテス	2021年	ビデオ、ステレオ、7分

めぐりあい JAXA—ながのとながめ

近年、著しい技術進歩を遂げ、また多くの映像作家、写真家のインスピレーションの源となっている宇宙観測技術をテーマに、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が開発・運用する人工衛星「だいち」の高精細画像を映像作品化した《長野2007年》を関連作品とともに展示。

- 会期 令和3年6月19日(土)から8月15日(日)
(51日間)
- 会場 長野県立美術館(展示室1)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館
(共催)長野県教育委員会
(協力)国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、キヤノンマーケティングジャパン株式会社
(共同キュレーション)澤隆志
- 観覧料 無料
- 入館者数 23,491人
- イベント ① Screening & Talk / 登壇者: 度會英教(JAXA 先進光学衛星プロジェクトチーム)、澤隆志(インディペンデントキュレーター)、松井正(当館学芸員) / 日時: 8月7日(土)14:00~ / 場所: 展示室1 / 参加人数: 28人
- 担当学芸員 松井正、池田淳史



陸域観測技術衛星「だいち」(長野 2007年) (2021) ©JAXA

めぐりあい JAXA—ながのとながめ

2021.6.19 sat → 8.15 sun 9:00~17:00 (展示室入場は16:30まで)

休館日=毎週水曜日 会場=本館展示室1 観覧料=無料
主催=長野県、長野県立美術館 共催=長野県教育委員会
協力=国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、キヤノンマーケティングジャパン株式会社
イメージフォーラム
共同キュレーション=澤隆志

長野県立美術館 JAXA



No.	作品名	作者	制作年	材質他	所蔵等
1	夜の深み	マヤ・デレン	1952-59年	ビデオ(オリジナルは16mm フィルム)、モノラル、15分	イメージフォーラム蔵
2	月面 2007-2009年	月周回衛星「かぐや」	2018年	ビデオ、サイレント、8分	©JAXA/NHK
3	無住集落	マリアム・カパナゼ	2020年	ビデオ、ステレオ、14分	作家蔵
4	ヘリオグラフィー	山崎博	1979年	ビデオ(オリジナルは16mm フィルム)、モノラル、5分	イメージフォーラム蔵
5, a	長野 2007年	陸域観測技術衛星「だいち」	2021年	ビデオ、サイレント、10分	©JAXA
b	「だいち」(ALOS-3) 搭載 広域・高分解能センサ模型	-	-	模型(1/15スケール)	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)
c	先進光学衛星「だいち3号」模型	-	-	模型(1/40スケール)	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)

企画展（展示室2）

長野県立美術館メイキングドキュメント

つながる美術館 宮崎浩とランドスケープ・ミュージアム

公立美術館の黎明期にあたる昭和41年に開館し、平成29年に半世紀余りの歴史を閉じた長野県信濃美術館は、令和3年4月10日、周囲の環境と調和する“ランドスケープ・ミュージアム”として新たに生まれかわった。設計を担当した建築家・宮崎浩は、この建築コンセプトを実現するため、周囲の環境と「つながる美術館」をキーワードに設計を進め、ランドスケープ・ミュージアムの完成に至ることとなった。

本展では、「つながる美術館」がどのような過程を経て完成に至ったか、宮崎を中心に様々な角度からその取り組みを概観し、美術館建設に関わった多くの人々の思い、そして、完成した美術館の見どころなど、新たに生まれかわった長野県立美術館の全貌を紹介した。

- 会期 令和3年6月19日（土）から8月15日（日）
（51日間）
- 会場 長野県立美術館（展示室2）
- 主催等 （主催）長野県、長野県立美術館
（共催）長野県教育委員会
（後援）長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、
善光寺、長野県芸術文化協会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、長野県美術教育研究会、JR 東日本 長野支社
- 観覧料 無料
- 入館者数 20,921人
- イベント ①講演会／講師：宮崎浩（建築家、長野県立美術館設計者）／日時：7月18日（日）13:30～15:00／場所：ホール／※参加人数：55人
②宮崎浩の建築ツアー
（1）日時：7月3日（土）11:00～12:00／参加人数：10人
（2）日時：8月9日（月・祝）11:00～12:00／参加人数：10人
※手話通訳、要約筆記付き
- 担当学芸員 上沢修、竹花藍子

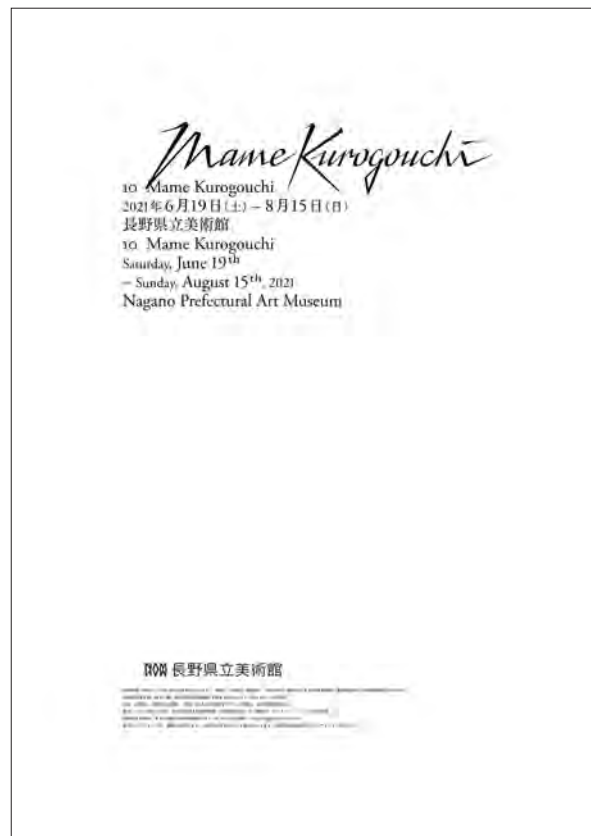


10 Mame Kurogouchi

2021年春のリニューアルオープンに合わせ、長野県立美術館は美術館スタッフのユニフォームを一新した。ユニフォームをデザインした、ファッションブランド「Mame Kurogouchi(マメ クロゴウチ)」を手掛ける黒河内真衣子は、2018年よりパリでコレクションを発表している長野県出身のデザイナーであり、国内外にて高い評価を受けている。

「10 Mame Kurogouchi」(テン マメ クロゴウチ)と題する本展は、日本を代表するファッションブランドであるMame Kurogouchi(マメ クロゴウチ)の美術館では初となる単独での展覧会であり、ブランドの立ち上げから10年間に及ぶ黒河内のデザインの軌跡が、これまで発表されたコレクションの通奏低音である10個のキーワード(「ノート」「曲線」「刺繍」「長野」「色」「クラフト」「私小説」「夢」「テクスチャー」「旅」)から、デザイナー自身のダイアリー、着想源となった品々や写真、テキスト、オリジナルのテキスタイル、コレクションのアーカイブなどを用いて多角的に紐解かれた。

- 会期 令和3年6月19日(土)から8月15日(日)
(51日間)
- 会場 長野県立美術館(展示室3)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館
(共催)株式会社黒河内デザイン事務所、長野県教育委員会
(協力)GALLERY-SIGN、公益財団法人致道博物館、有限会社弘前こぎん研究所、モレスキン・ジャパン株式会社
- 観覧料 一般500円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館との共通観覧料 一般800円
- 入館者数 20,987人(有料:15,054人 無料:5,933人)
- イベント 「10 Mame Kurogouchi」展トークショー
出演者:黒河内真衣子(Mame Kurogouchi デザイナー)、中原崇志(建築家/「10 Mame Kurogouchi」展会場設計)、伊藤総研(編集者/作品集『10 Mame Kurogouchi』編集)/日時:8月8日(日)13:00~15:00
/場所:レセプションルーム/参加人数:36人
- 担当学芸員 鈴木幸野、古家満葉



※展示会場にて配布されたリーフレットに掲載された出品作品解説を転記。
※所蔵記載のない作品はすべて株式会社黒河内デザイン事務所蔵。

		No.	出展作品
ノート	ノートの見開きに1日1写真、1デザイン、1日記を埋めていく行為から生まれた2019年春夏「The Diary」のルックと共に、ブランド創設以前から1シーズンに1冊書き続けているノートから360ページを厳選し、初公開する。夢の記述やメモ、旅先でのデッサンや生地、コレクションの全体像を俯瞰するマップなどに代表される創造の源泉が、自由な発想と繊細な視点を物語る。		ノート360ページ(2011年春夏から2020年秋冬)
		1	コレクションルック(2019年春夏「The Diary」)
		2	コレクションルック(2019年春夏「The Diary」)
		3	コレクションルック(2019年春夏「The Diary」)
曲線	黒一色のルックと写真家 野田祐一郎による撮り下ろしの作品が、アイコン的なアールのカッティングデザインを静かに、かつ雄弁に物語る。「直線のない人間の体」の上に寄り添う、彫刻的ででありながら柔らかなパターンメイキングが、襟元から覗く首筋を、大きくとったカフスから垣間見える手首を、着用する女性自身をさらに美しく引き立てる。		9枚の写真(本展のために製作 撮影：野田祐一郎)
		4	コレクションルック(2020年秋冬「Embrace」)
		5	コレクションルック(2018年秋冬「Choice, Tradition, Creation」)
		6	コレクションルック(2011年秋冬「面」)
刺繍	有機的モチーフの刺繍が印象的に施されたルックを、ドロ잉、工場への指示書、刺繍図案と共に展示する。これらのモチーフは、アトリエ敷地内の植物や、道端の雑草など実に多様である一方、自然の厳密な描写ではなく、ノートの描写と同様、あくまで黒河内の主観を介して描かれている。記憶の中の風景が、一針一針、複数の糸を用いて生地の上で蘇る様子を、綿密な制作過程を伝える資料が物語る。		ドロ잉、刺繍工場への指示書、刺繍工場が製作した図案、刺繍サンプル
		7	コレクションルック(2018年秋冬「Choice, Tradition, Creation」)
		8	コレクションルック(2011年秋冬「面」)
		9	コレクションルック(2015年春夏「Passing」)
長野	ブランドを代表するアイコンとして初期から発表されている PVC 素材のバッグと同素材のヘッドピース。雪景色や朝日を湛えて輝く氷柱といった、幼少期の記憶を氷に彫刻したかのようなピースと、降り積もる雪を思わせるルックが象徴するのは、原風景である長野の雄大な自然の中にあつて、あくまで常に等身大の目線から生み出される、ブランドのもののづくりの原点である。		PVC 製のバッグ、ヘッドピース(2011年春夏から2020年秋冬)
		11	コレクションルック(2011年春夏「面」)
		12	コレクションルック(2020年秋冬「Embrace」)
		13	コレクションルック(2014年秋冬「Personal Memory」)
色	様々なトーン「青」から生み出された2019年秋冬のルックと、コレクション制作時に影響を受けた青の品々を展示。江戸時代の古布、初瀬伊万里の陶片、浴槽で溶けゆくバスソルトや、様々な時代のアーティストによる「青」は「記憶の破片」と「その集合」というシーズンコンセプトへと導いた。色というレンズを通じて、日常は新たな目線を獲得し、創作を刺激し続ける。		コレクションの着想源となった品々(2019年秋冬「The Second Diary」)
		14	コレクションルック(2019年秋冬「The Second Diary」)
		15	コレクションルック(2019年秋冬「The Second Diary」)
		16	コレクションルック(2019年秋冬「The Second Diary」)
クラフト	コレクションの着想源となった、日本各地の名もなき職人たちによる手仕事と、それらをまとめたシャルロット・ベリアンによる展覧会書籍、黒河内家に伝わる家紋入りの丸谷焼大皿とそれらからインスピレーションを受け制作したコレクションを展示。伝統技法を学び、最新の技術との融合で現代に生み出された洋服は、歴史や作り手、使い手の記憶までもを宿す。		家紋入丸谷焼青粒大皿(2014年秋冬「Personal Memory」)
		18	コレクションルック(2014年秋冬「Personal Memory」)
			「加藤藤昇斎／笑龍」(昭和時代)(2020年秋冬「Embracing」)
		19	コレクションルック(2020年秋冬「Embracing」)
			はねぼんどり(昭和初期) 公益財団法人致道博物館蔵(2018年秋冬「Choice, Tradition, Creation」)
		20	コレクションルック(2018年秋冬「Choice, Tradition, Creation」)
			「シャルロット・ベリアン／選擇・傳統・創造」(1941年) GALLERY-SIGN 蔵(2018年秋冬「Choice, Tradition, Creation」)
		21	コレクションルック(2018年秋冬「Choice, Tradition, Creation」)
私小説	作家 朝吹真理子が2016年から雑誌「新潮」で行っていた連載「TIMELESS」の切り抜きと、その小説世界への共鳴と自身の日常を重ね合わせて生み出された2017年のコレクションが共に展示される。曖昧な記憶と確かな知覚に基づく服作りは、まるで1編の小説を編み上げるかのようであり、この極めてパーソナルな創作が、我々に個人的経験の投影を促す事で、独自の物語が生まれる。		「朝吹真理子 / TIMELESS」が掲載された雑誌「新潮」(新潮社)の切り抜き(2017年春夏、秋冬「Timeless」)
		23	コレクションルック(2017年春夏「Timeless」)
		24	コレクションルック(2017年秋冬「Timeless」)
		25	コレクションルック(2017年春夏「Timeless」)
夢	ヴィンテージ写真から空想を膨らませ、被写体となった人物の架空の性格や物語を想像し、それぞれに合う洋服をデザインするという手法で製作された2013年秋冬コレクション「Your Memory」のプロジェクトボードと同シーズンからのルックを含むコレクションを展示。写真という媒体を介した空想の跳躍は夢の世界への旅立ちに等しいと言える。		ヴィンテージの写真、デザイン画、ポストイット(2013年秋冬「Your Memory」)
		26	コレクションルック(2016年秋冬「Alchemist」)
		27	コレクションルック(2013年秋冬「Your Memory」)
		28	コレクションルック(2013年秋冬「Your Memory」)
テクスチャー	アーカイブから復刻され、本展のために再制作されたファブリック、風景や工場の写真と、刺繍、プリント、ジャガードのシルク生地3枚がレイヤーされたドレスを展示。ファブリックは白一色で織り上げる事で、様々な素材や糸が交差する複雑な織りの質感が鮮明に浮かび上がり、野田祐一郎による写真が、黒河内の視線の先に広がる豊かで繊細な世界を伝える。		6枚の写真(The Story より 撮影：野田祐一郎)
			3種類のオリジナルテキスタイル(本展のために製作)
旅	これまで黒河内が撮りためてきた膨大な量のスナップの一部を、時間軸をシャッフルし、直筆のメモと合わせて展示する。パウロ・コエリョが紡いだ少年の旅物語と自身の夢の中での旅を重ね合わせて制作された、2016年のコレクションルックとの並置で浮かび上がるのは、日常を小さな旅の連続として眺めるたおやかな視線である。		1204枚の写真(2011年春夏～2020年秋冬から 撮影：黒河内真衣子)
		30	コレクションルック(2016年春夏「Alchemist」)
		31	コレクションルック(2016年春夏「Alchemist」)
		32	コレクションルック(2016年秋冬「Alchemist」)

企画展（展示室1・2・3）

長野県立美術館グランドオープン記念
森と水と生きる

長野県は、県境に「日本アルプス」と称される標高2000メートル以上の山々がそびえ、豊かな森林と清流の雄大な自然に抱かれた、日本を代表する山岳県・森林県であり、その豊かな自然風土の中で、人々は暮らしを営み、文化芸術を育んできた。その長野県で、唯一の県立美術館のグランドオープン記念である本展では、自然と人間が共存する中で生み出されてきた、近代から現代までの絵画、彫刻、工芸、写真、インスタレーションなど、日本を代表する優れた美術作品を紹介し、私たちに精神的な癒しや恵みをもたらすだけでなく、猛威をふるって生活や人命をも脅かす存在となりうる自然と、美術とがどのように関わってきたかに焦点を当て、5つの章から構成される展示を行った。

- 会期 令和3年8月28日(土)から11月3日(水・祝)
(50日間)
※新型コロナウイルス感染拡大防止強化策に伴い、9月3日(金)から9月12日(日)臨時休館した。
- 会場 長野県立美術館(展示室1・2・3)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館
(共催)長野県教育委員会
(後援)長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業
- 観覧料 一般1,000(900)円、大学生及び75歳以上800(700)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館およびコレクション展との共通料金 一般1,500円、大学生及び75歳以上1,100円
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 20,860人(有料:12,711人 無料:8,149人)
- 図録(主要目次)
第1章 森と山—その姿と暮らし
第2章 森の幻影
第3章 水景—人々とその諸相
第4章 水の精霊
第5章 森と水—息づくものたち
- イベント ①アーティストトーク「森と水と生きる—自然と人間の共生」/講師:山口啓介・須田悦弘・大小島真木・松本透(当館館長)/日時:9月11日(土)14:00~/オンライン配信
②スライドトーク(担当学芸員)※
9月20日(月・祝)14:00~15:00/場所:レセプションルーム/参加人数:12人
10月9日(土)14:00~15:00/場所:ホール/参加人数:14人
10月16日(土)14:00~15:00/場所:レセプションルーム/参加人数:9人
10月23日(土)14:00~15:00/場所:レセプションルーム/参加人数:9人
10月30日(土)14:00~15:00/場所:レセプションルーム/参加人数:10人
※手話通訳付き
- 担当学芸員 田中正史、木内真由美、上沢修、鈴木幸野、松井正、古家満葉

Living in symbiosis with Forests and Water

森と水と生きる

長野県立美術館グランドオープン記念

2021 8.28(土) → 11.3(水・祝)

金・場/展示室1・2・3
観覧料/一般1,000(900)円
大学生及び75歳以上800(700)円
高校生以下又は18歳未満無料
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/毎月第1・3日曜日、9月3日(金)、10月10日(日)、11月3日(水・祝)
※休館日の前後日休館する場合があります。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

主催・長野県、長野県立美術館
共催・長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum
(〒388-0881 長野市南清水1-4-4)
Tel. 026-232-0852



作品リスト

・No.111 協力：香川県三豊市、栗島芸術家村、栗島ぼ〜い&が〜るの会

No.	前期	後期	作家名	作品名	制作年	技法・素材(形状・員数)	寸法(cm)	所蔵先
第1章 森と山——その姿と暮らし								
1			大下藤次郎	多摩川畔	1907(明治40)年	水彩・紙	48.8×69.7	島根県立石見美術館
2			大下藤次郎	西山畔	1909(明治42)年	水彩・紙	32.9×22.2	島根県立石見美術館
3			丸山晩霞	槍ヶ岳	不詳	水彩・紙	64.0×98.5	丸山晩霞記念館
4			丸山晩霞	初夏の志賀高原	1909(明治42)年	水彩・紙	67.0×101.0	長野県立美術館
5			吉田博	有明山	1920(大正9)年頃	油彩・カンヴァス	各149.5×67.0	長野県立美術館
6			村上華岳	松山雲煙	1925(大正14)年	絹本着色・額	46.4×140.0	東京国立近代美術館
7			冠松次郎	奥仙人谷の吊り橋 (黒部渓谷より)	1925(大正14)年	ゼラチンシルバープリント	47.9×35.0	公益社団法人日本山岳会 (東京都写真美術館寄託)
8			冠松次郎	剣の大滝を囲む大岩壁 (黒部渓谷より)	1926(大正15)年	ゼラチンシルバープリント	87.5×35.0	公益社団法人日本山岳会 (東京都写真美術館寄託)
9			冠松次郎	東谷落口上流のS字峽 (黒部渓谷より)	1930(昭和5)年	ゼラチンシルバープリント	46.7×37.9	公益社団法人日本山岳会 (東京都写真美術館寄託)
10			冠松次郎	蝶ヶ岳山頂から槍ヶ岳を望む (黒部渓谷より)	1932(昭和7)年	ゼラチンシルバープリント	38.7×53.3	公益社団法人日本山岳会 (東京都写真美術館寄託)
11			徳蒔三寿雄	暮れゆく笠ヶ岳、槍ヶ岳肩より	1924～1941 (大正13～昭和16)年	ゼラチンシルバープリント	28.3×38.4	個人蔵
12			徳蒔三寿雄	雲晴れる槍ヶ岳、槍ヶ岳肩より	1924～1941 (大正13～昭和16)年	ゼラチンシルバープリント	67.8×96.0	個人蔵
13			田淵行男	初冬の浅間 黒斑山の中腹より	1940(昭和15)年	ゼラチンシルバープリント	61.4×76.6	田淵行男記念館
14			田淵行男	暮れゆく常念	1973(昭和48)年	ゼラチンシルバープリント	87.5×117.5	田淵行男記念館
15			小山敬三	浅間山黎明	1959(昭和34)年	油彩・カンヴァス	80.4×100.3	小諸市立小山敬三美術館
16			梅原龍三郎	噴煙	1950～1953 (昭和25～28)年	アトランプ・紙	118.7×92.0	東京国立近代美術館
17			片岡球子	火山(浅間山)	1965(昭和40)年	麻布着色・額	260.0×161.0	神奈川県立近代美術館
18			奥田元宋	新雪一ノ倉	1992(平成4)年	紙本着色・額	178.0×221.0	奥田元宋・小由女美術館
19			小松均	富士山	1977(昭和52)年	紙本墨画淡彩・額	各95.0×367.0	愛知県美術館
20			富岡鉄斎	富士遠望・寒霞溪園	1905(明治38)年	紙本着色・六曲一双屏風	各154.7×359.6	京都市立近代美術館
21			野口里佳	フジヤマ#4	1997(平成9)年	発色現像方式印画	95.6×66.9	金沢21世紀美術館
22			野口里佳	フジヤマ#12	1999(平成11)年	発色現像方式印画	95.6×66.9	金沢21世紀美術館
23			アンセル・アダムス	月とハーフトーム、 ヨセミテ・ヴァレイ	1960年	ゼラチンシルバープリント	24.6×19.0	京都国立近代美術館(ギルバート・コレクション)
24			アンセル・アダムス	自画像、 モニュメント・ヴァレイ、ユタ	1958年	ゼラチンシルバープリント	33.6×24.2	京都国立近代美術館(ギルバート・コレクション)
25			濱谷浩	鳥追い 歌ってゆく鳥追い (雪国 桑取谷より)	1940(昭和15)年	ゼラチンシルバープリント	20.0×29.9	東京都写真美術館
26			ジョヴァンニ・セガ ンティーニ	アルプスの真昼	1892年	油彩・カンヴァス	86.0×80.0	大原美術館
27			フェルディナント・ ホドラー	木を伐る人	1910年	油彩・カンヴァス	130.8×100.7	大原美術館
28			加山又造	冬	1957(昭和32)年	紙本着色・額	128.5×191.5	東京国立近代美術館
29			岡鹿之助	山麓	1957(昭和32)年	油彩・カンヴァス	63.5×79.0	京都市立近代美術館
30			高山辰雄	瀧のあるいおり	2001(平成13)年	紙本着色・六曲一双屏風	各171.3×355.8	松本市美術館
31			畠山直哉	Blast #09419A	2002(平成14)年	ラムダプリント	100.0×150.0	作家蔵
32			柴田敏雄	グラントクーリー・ダム、 ワシントン州ダグラス郡	1996(平成8)年	ゼラチンシルバープリント	91.0×113.0	国立国際美術館
33			柴田敏雄	グラントクーリー・ダム、 ワシントン州ダグラス郡	1996(平成8)年	ゼラチンシルバープリント	91.0×113.0	国立国際美術館
34			山本紉	那智滝(落下する水)より	1991(平成3)年	ラムダプリント	172.0×100.0	作家蔵
35			山本紉	苗名の滝(落下する水)より	1994(平成6)年	ラムダプリント	172.0×100.0	作家蔵
第2章 森の幻影								
36			アンリ・ルソー	エデンの園のエヴァ	1906～1910年頃	油彩・カンヴァス	46.5×61.4	ポーラ美術館
37			河野通勢	アダムとイヴ	1914(大正3)年	油彩・厚紙	55.5×75.5	長野県立美術館
38			河野通勢	芸術の源泉	1916(大正5)年	インク・紙	18.8×29.5	長野県立美術館
39			村山槐多	尿する裸婦	1915(大正4)年	油彩・カンヴァス	80.3×60.6	長野県立美術館(信濃デ ッサン館コレクション)
40			萬鐵五郎	木の間風景	1918(大正7)年頃	油彩・カンヴァス	89.5×117.0	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
41			マックス・エルン スト	ニンフ・エコー	1936年	油彩・カンヴァス	46.5×55.5	新潟市美術館
42			ポール・デルヴォー	森	1948年	油彩・板	127.5×152.8	埼玉県立近代美術館
43			町田曲江	五十鈴の川上	1917(大正6)年	絹本着色・三曲一隻屏風	182.0×272.6	個人蔵(長野県立美術館 寄託)
44			石崎光瑤	熱国妍春	1918(大正7)年	絹本着色・六曲一双屏風	各175.7×372.0	京都国立近代美術館

No.	前期	後期	作家名	作品名	制作年	技法・素材(形状・員数)	寸法(cm)	所蔵先
45			トーマス・シュトゥー ルト	パラダイス03、デインツリー、オ ーストラリア1998	1998年	発色現象方式印画	185.4×266.0 (フレーム)	金沢21世紀美術館
46			トーマス・シュトゥー ルト	パラダイス16、屋久島、日本1999	1999年	発色現象方式印画	176.0×214.5 (フレーム)	金沢21世紀美術館
47			エミール・ベルナー ル	吟遊詩人に扮した自画像	1892年	油彩・カンヴァス	81.0×65.0	国立西洋美術館
48			岡本太郎	森の掟	1950(昭和25)年	油彩・カンヴァス	181.5×259.5	川崎市岡本太郎美術館
49			磯見輝夫	夜	1979(昭和54)年	木版・紙、二曲一隻屏風	70.0×120.0	東京オペラシティ アー トギャラリー
50			村瀬恭子	Watering Place	2008(平成20)年	油彩・色鉛筆・綿布	170.0×210.0	豊田市美術館
51			村瀬恭子	Puddles	2008(平成20)年	油彩・色鉛筆・綿布	190.0×230.0	個人蔵(豊田市美術館寄 託)
52			スズキコージ	HOLY TREE	2016(平成28)年	アクリル・カンヴァス	180.0×425.0	作家蔵
53			熊谷好博子	友禅染訪問着 樹叢	1972(昭和47)年	江戸友禅、絹	丈170.0/ 桁64.5	長野県立美術館
54			松井康成	重層象裂瓷大壺 山かげの灯	1981(平成56)年	陶器	高33.0/ 径33.0	長野県立美術館
第3章 水景へ——人々とその諸相								
55			ジョセフ・マロード・ ウィリアム・ターナー	風景、タンバリンをもつ女	1840～1850年頃	油彩・カンヴァス	88.5×118.0	栃木県立美術館
56			クロード・モネ	睡蓮	1907年	油彩・カンヴァス	90.0×93.0	アサヒビール 大山崎山荘美術館
57			奥村土牛	蓮池	1929(昭和4)年	絹本着色、額	134.8×142.8	東京都現代美術館
58			横山大観	洛中洛外雨十題 宇治川雷雨	1919(大正8)年	絹本着色、軸	50.0×70.3	株式会社常陽銀行
59			横山大観	洛中洛外雨十題 三条大橋雨	1919(大正8)年	絹本着色、軸	49.5×70.2	株式会社常陽銀行
60			横山大観	洛中洛外雨十題 辰巳栖夜雨	1919(大正8)年	絹本着色、軸	49.5×70.0	株式会社常陽銀行
61			横山大観	洛中洛外雨十題 八幡緑雨	1919(大正8)年	絹本着色、軸	50.9×70.3	滋賀県立美術館
62			アンセル・アダムス	白い枝、モノ湖、カリフォルニア	1950年	ゼラチンシルバープリント	49.6×39.0	京都国立近代美術館(ギ ルバート・コレクション)
63			アンセル・アダムス	奥ヨセミテの滝	1960年頃	ゼラチンシルバープリント	24.2×19.5	京都国立近代美術館(ギ ルバート・コレクション)
64			小川芋銭	江村六月・雲髻烟水	1935(昭和10)年	絹本淡彩、六曲一双屏風	各157.5×333.0	茨城県近代美術館
65			仲村進	山紫満水	1994(平成6)年	紙本着色、六曲一双屏風	各169.5×374.0	長野県立美術館
66			小坂芝田	雪景山水図	1911(明治44)年	絹本着色、軸	229.1×100.5	長野県立美術館
67			児玉果亭	雪景山水図	1905(明治38)年	絹本墨画、軸	170.5×85.9	長野県立美術館
68			カミュー・コロー	ヴィル＝ダヴレーの池 (洗濯女たちと水飼場に来る馬)	1847年	油彩・カンヴァス	85.0×100.0	栃木県立美術館
69			チャールズ・ワグ マン	海岸風景	19世紀後半	油彩・カンヴァス	39.0×51.0	栃木県立美術館
70			高橋由一	驟雨図	1877(明治10)年頃	油彩・カンヴァス(板貼)	45.5×76.2	栃木県立美術館
71			竹内栖鳳	漁村松濤	1917(大正6)年頃	絹本着色、軸	151.2×51.5	京都国立近代美術館
72			木村伊兵衛	漁村	1940～1941 (昭和15～16)年	ゼラチンシルバープリント	25.0×37.5	東京都写真美術館
73			濱谷浩	田植女(〈裏日本〉より)	1955(昭和30)年	ゼラチンシルバープリント	29.9×19.9	東京都写真美術館
74			木村伊兵衛	冬、秋田	1953(昭和28)年	ゼラチンシルバープリント	36.1×25.4	東京国立近代美術館
75			高山辰雄	砂丘	1936(昭和11)年	絹本着色、額	236.0×183.0	東京藝術大学
76			植田正治	パパとママとコドモたち (〈綴り方・私の家族〉より)	1949(昭和24)年	ゼラチンシルバープリント	25.5×25.5	東京都写真美術館
77			植田正治	ボクのわたしのお母さん (〈綴り方・私の家族〉より)	1950(昭和25)年	ゼラチンシルバープリント	23.6×36.3	東京都写真美術館
78			植田正治	妻のいる砂丘風景(Ⅲ)	1950(昭和25)年	ゼラチンシルバープリント	24.7×31.8	東京都写真美術館
79			植田正治	妻のいる砂丘風景(Ⅳ)	1950(昭和25)年	ゼラチンシルバープリント	22.0×23.8	東京都写真美術館
80			奈良原一高	緑なき島—軍艦島：軍艦島全景 (〈人間の土地〉より)	1954～1957 (昭和29～32)年	ゼラチンシルバープリント	21.7×33.0	東京都写真美術館
81			奈良原一高	緑なき島—軍艦島：立坑のリフト に乗る坑夫達(〈人間の土地〉より)	1954～1957 (昭和29～32)年	ゼラチンシルバープリント	33.0×21.9	東京都写真美術館
82			奈良原一高	緑なき島—軍艦島：夕陽の軍艦島 (〈人間の土地〉より)	1954～1957 (昭和29～32)年	ゼラチンシルバープリント	33.0×21.9	東京都写真美術館
83			奈良原一高	緑なき島—軍艦島：立坑のリフト に乗る坑夫達(〈人間の土地〉より)	1954～1957 (昭和29～32)年	ゼラチンシルバープリント	32.9×22.0	東京都写真美術館
84			奈良原一高	緑なき島—軍艦島：岩壁(ベトン)	1954～1957 (昭和29～32)年	ゼラチンシルバープリント	33.0×21.9	東京都写真美術館
85			奈良原一高	緑なき島—軍艦島：軍艦島全景	1954～1957 (昭和29～32)年	ゼラチンシルバープリント	22.0×33.0	東京都写真美術館
86			米田知子	アイスリンカー日本占領時代、南 満州鉄道の付属地だった炭坑のま ち、撫順(〈シーン〉より)*	2007(平成19)年	発色現象方式印画	76.0×96.0	東京都写真美術館
87			米田知子	帝政ロシア時代、四人が掘ったトン ネルの入口、“3人兄弟の岩”をな かめて、アレクサンドロフスク・サ ハリンスキー(〈サハリン島〉より)	2012(平成24)年	発色現象方式印画	64.7×62.8	東京都写真美術館
88			畠山直哉	陸前高田／2012年3月24日気仙町	2012(平成24)年	発色現象方式印画	38.0×47.0	作家蔵
89			山崎博	〈海をまねる太陽〉より	1978(昭和53)年	ゼラチンシルバープリント	21.0×31.4	東京都写真美術館
90			杉本博司	日本海 隠岐 I	1987(昭和62)年	ゼラチンシルバープリント	42.3×54.5	東京国立近代美術館

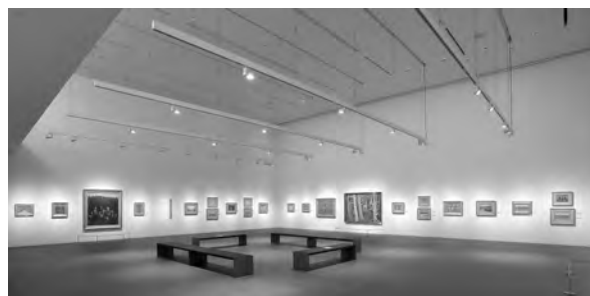
No	前期	後期	作家名	作品名	制作年	技法・素材(形状・員数)	寸法(cm)	所蔵先
第4章 水の精霊								
91			青木繁	わたつみのいろこの宮 〔重要文化財〕	1907(明治40)年	油彩・カンヴァス	181.5×70.0	石橋財団 アーティゾン美術館
92			ジョン・ウィリアム・ ウォーターハウス	フローラ	1914年頃	油彩・カンヴァス	102.5×69.4	郡山市立美術館
93			ポール・セリュジエ	森の中の4人のプルーネの少女	1892年	油彩・カンヴァス	92.0×73.0	国立西洋美術館
94			ポール・デルヴォー	水のニンフ(セイレン)	1937年	油彩・カンヴァス	103.0×120.0	姫路市立美術館
95			橋小夢	水妖	制作年不詳	絹本着色・軸	55.0×41.3	個人蔵
96			牧島如鳩	魚藍観音像	1952(昭和27)年	油彩・カンヴァス	136.8×205.5	(公財) 足利市民文化財団
97			松岡映丘	伊香保の沼	1925(大正14)年	絹本着色・軸	202.3×131.5	東京藝術大学
98			中村岳陵	婉賦水韻	1931(昭和6)年	紙本着色・六曲一隻屏風	153.0×368.1	静岡県立美術館
99			菱田春草	伏姫(常磐津)	1900(明治33)年	絹本着色・軸	146.6×67.5	長野県立美術館
100			山本麻友香	Blue Pond	2004(平成16)年	油彩・カンヴァス	162.0×237.3	府中市美術館 (寺田コレクション)
101-1			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
101-2			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
101-3			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
101-4			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
101-5			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
101-6			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
101-7			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
101-8			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
101-9			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
101-10			三岸好太郎	筆彩素描集 『蝶と貝殻』限定番号第51番	1934(昭和9)年	印刷・手彩色・紙	30.2×22.8	大川美術館
102			恩地孝四郎	ボエム No.8-1 蝶の季節(平井摺り)	1948(昭和23)年	マルチブロック・紙	43.5×32.2	大川美術館
103			瑛九	1. 波のたわむれ (銅版画集 I『波のたわむれ』より)	1954(昭和29)年	エッチング・紙	18.2×12.0	大川美術館
104			石田尚志	海の壁—生成する庭	2007(平成19)年	3チャンネル・ビデオ (カラー、サウンド)	6分(ループ)	作家蔵
第5章 森と水—息づくものたち								
105			名和晃平	PixCell-Deer #17	2009(平成21)年	ミクストメディア	200.0×170.0×150.0	東京都現代美術館
106			岡村桂三郎	龍—降臨17-1	2017(平成29)年	岩絵具・板	295.0×480.0×9.0	作家蔵
107			岡村桂三郎	龍—出現17-1	2017(平成29)年	岩絵具・板	230.0×660.0×9.0	作家蔵
108-1			須田悦弘	雑草	2021(令和3)年	木に彩色	—	—
108-2			須田悦弘	雑草	2021(令和3)年	木に彩色	—	—
108-3			須田悦弘	葉	2021(令和3)年	木に彩色	—	—
109			大岩オスカル	ガーデニング(マンハッタン)	2002(平成14)年	油彩・カンヴァス	227.0×555.0	東京国立近代美術館
110			山口啓介	コロナ禍の resilient、 2月11日から8月12日まで	2021(令和3)年	アクリル、水彩、顔料・紙	356.7×502.6	作家蔵
111			大小島真木	鯨の目 Eyes of whales	—	—	—	作家蔵
				海の血/Blood of the sea	2018(平成30)年	工業製品の余り革、アクリル絵具、綿布、糸、刺繍、オイルクレヨン、スプレーカラー、孔雀の羽、海によって運ばれた栗島の浜辺で拾ったプラスチック、漁師の網、銅金具、クッション	全長658.0	
				世界の家/House of the world	2018(平成30)年		全長735.0	
				クロニクル/chronicle	2019(平成31)年		全長1500.0	
112			大小島真木	Holobiont(ホロビオン)	2021(令和3)年	陽器、石膏、貝、糸、ビーズ	—	作家蔵
113			日高理恵子	空との距離 XIII	2017(平成29)年	岩絵具・麻紙	240.0×240.0	作家蔵
114			日高理恵子	空との距離 XIV	2017(平成29)年	岩絵具・麻紙	240.0×240.0	作家蔵

企画展（展示室1・2・3）

東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展

静謐な抒情性を湛えた風景画で今なお多くの人々の共感を得ている日本画家、東山魁夷。長野県および当館にゆかりの深い東山の、記念碑的大作である唐招提寺御影堂障壁画全68面を、唐招提寺御影堂内部の再現とともに展示した。当館所蔵のスケッチや下絵を併せて観覧でき、障壁画制作の過程をたどることができるような会場構成とした。また、東山魁夷館を有する当館独自の企画として、障壁画制作の過程で生まれた連作「白い馬の見える風景」や、水墨表現追求の過程が窺える《瀧江暮色》等を出品。唐招提寺御影堂障壁画を軸に、東山晩年期の多様な表現を総覧できる内容とした。

- 会期 令和3年11月19日（土）から令和4年1月16日（日）
（46日間）
- 会場 長野県立美術館（展示室1・2・3）
- 主催等 （主催）長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、SBC 信越放送、日本経済新聞社
（共催）長野県教育委員会
（後援）長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本 長野支社
- 観覧料 一般1,500（1,400）円、大学生1,300（1,200）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（ ）内は20名以上の団体料金
- 入館者数 61,757人（有料：51,889人 無料：9,868人）
- 図録（主要目次）
「東山魁夷—唐招提寺障壁画を巡って」尾崎正明
序章 唐招提寺と鑑真和尚
Ⅰ章 御影堂障壁画
Ⅱ章 御影堂障壁画への道程
東山魁夷略年譜
文献目録抄
出品作品リスト
- イベント ①スライドトーク／講師：鈴木幸野（当館学芸員）／日時：11月20日（土）15:00～16:00／場所：レセプションルーム／※参加人数：21人
②講演会「東山魁夷の水墨画と唐招提寺御影堂障壁画」／講師：鶴見香織（東京国立近代美術館 主任研究員）／日時：11月28日（日）14:00～15:30／場所：レセプションルーム／※参加人数：27人
③スライドトーク／講師：鈴木幸野（当館学芸員）／日時：12月26日（日）15:00～16:00／場所：レセプションルーム／※参加人数：23人
※手話通訳付き
- 担当学芸員 鈴木幸野、竹花藍子



出品 番号	作品名	制作年 (和暦)	(西暦)	材質技法	形状	寸法(縦×横 cm)		所蔵先
I 章	御影堂障壁画							
1	唐招提寺御影堂障壁画 山雲	昭和50年	1975	紙本彩色	襖(八面)、床貼付	a:192.7×672.1 c:159.4×245.6	b:177.5×376.4 d:311.0×667.5	唐招提寺
2	唐招提寺御影堂障壁画 濤声	昭和50年	1975	紙本彩色	襖(十六面)	a:178.4×376.7 d:178.4×377.2	b・c: 各178.4×279.0 e:192.7×672.1	唐招提寺
3	唐招提寺御影堂障壁画 黄山曉雲	昭和55年	1980	紙本墨画	襖(八面)	a:180.0×376.5	b:191.5×377.5	唐招提寺
4	唐招提寺御影堂障壁画 揚州薫風	昭和55年	1980	紙本墨画	襖(二十六面)	a:193.0×377.2 c・d: 各178.4×279.0 f・g・j: 各178.4×180.0 i:178.4×180.6	b:178.4×377.2 e:178.4×377.8 h:178.4×180.3	唐招提寺
5	唐招提寺御影堂障壁画 桂林月宵	昭和55年	1980	紙本墨画	襖(八面)	a:178.5×379.0	b:178.5×377.0	唐招提寺
6	鑑真和上坐像厨子絵 瑞光 試作	昭和55年	1980	紙本彩色	額	25.5×55.2		長野県立美術館 東山魁夷館
II 章	御影堂障壁画への道程							
《山雲》のためのスケッチ								
7	煙雨	昭和48年	1973	紙本彩色	額	36.2×44.3		長野県立美術館 東山魁夷館
8	流れる霧	昭和48年	1973	紙本彩色	額	31.3×44.4		長野県立美術館 東山魁夷館
9	瀧の音	昭和48年	1973	紙本彩色	額	33.2×46.2		長野県立美術館 東山魁夷館
10	山雲	昭和48年	1973	紙本彩色	額	33.1×46.1		長野県立美術館 東山魁夷館
11	霧深き谷	昭和48年	1973	紙本彩色	額	36.1×51.0		長野県立美術館 東山魁夷館
12	朝雲	昭和48年	1973	紙本彩色	額	33.1×46.1		長野県立美術館 東山魁夷館
13	深山の樹	昭和48年	1973	紙本彩色	額	33.4×46.0		長野県立美術館 東山魁夷館
14	緑の溪	昭和48年	1973	紙本彩色	額	33.1×46.0		長野県立美術館 東山魁夷館
《山雲》下図、割出図、試作								
15	山雲 小下図(二〇分の一)	昭和48年	1973	紙本彩色	額	a:20.3×39.2 c:21.5×106.4	b:21.6×106.3	長野県立美術館 東山魁夷館
16	山雲 中下図(五分の一)	昭和48年	1973	紙本彩色	額	a:40.5×136.3 c:60.7×131.7	b:38.0×130.8	長野県立美術館 東山魁夷館
17	山雲 割出図(五分の一)	昭和48年	1973	紙、透明シート、ペン	額	a:39.7×136.0 c:47.7×132.0	b:39.8×129.8	長野県立美術館 東山魁夷館
18	山雲 試作	昭和49年	1974	紙本彩色	額	a:37.2×132.0 c:31.4×49.2	b:34.5×74.2 d:56.7×129.3	長野県立美術館 東山魁夷館
《濤声》のためのスケッチ								
19	朝濤	昭和48年	1973	紙本彩色	額	33.3×55.0		長野県立美術館 東山魁夷館
20	波頭	昭和48年	1973	紙本彩色	額	31.4×51.6		長野県立美術館 東山魁夷館
21	渚にて	昭和48年	1973	紙本彩色	額	32.8×55.0		長野県立美術館 東山魁夷館
22	松濤	昭和48年	1973	紙本彩色	額	55.0×55.0		長野県立美術館 東山魁夷館
23	海風	昭和48年	1973	紙本彩色	額	38.0×55.0		長野県立美術館 東山魁夷館
24	潮騒	昭和48年	1973	紙本彩色	額	36.0×51.5		長野県立美術館 東山魁夷館
25	松と岩	昭和48年	1973	紙本彩色	額	33.2×46.1		長野県立美術館 東山魁夷館
26	渚の波紋	昭和48年	1973	紙本彩色	額	36.4×51.1		長野県立美術館 東山魁夷館
《濤声》下図、割出図、試作								
27	濤声 小下図(二〇分の一)	昭和48年	1973	紙本彩色	額	a:21.7×106.4	b:21.7×106.5	長野県立美術館 東山魁夷館
28	濤声 中下図(五分の一)	昭和48年	1973	紙本彩色	額	a:37.6×135.3 c:37.7×135.3	b:40.7×136.4	長野県立美術館 東山魁夷館
29	濤声 割出図(五分の一)	昭和48年	1973	紙、透明シート、ペン	額	a:39.6×137.3 c:39.8×135.0	b:39.7×135.7	長野県立美術館 東山魁夷館
30	濤声 試作	昭和49年	1974	紙本彩色	額	a:33.8×133.5 c:37.2×132.0	b:33.8×133.0	長野県立美術館 東山魁夷館
《揚州薫風》のためのスケッチ								
31	揚州所見	昭和51年	1976	紙本墨画	額	21.3×30.2		長野県立美術館 東山魁夷館
32	煙雨	昭和51年	1976	紙本墨画	額	27.0×35.3		長野県立美術館 東山魁夷館
33	瘦西湖	昭和51年	1976	紙本墨画	額	24.5×37.2		長野県立美術館 東山魁夷館
34	柳樹A	昭和51-52年	1976-77	紙本墨画	額	29.0×44.3		長野県立美術館 東山魁夷館
35	柳樹C	昭和51-52年	1976-77	紙本墨画	額	29.2×42.5		長野県立美術館 東山魁夷館
36	柳樹G	昭和51-52年	1976-77	紙本墨画	額	33.6×49.5		長野県立美術館 東山魁夷館
《桂林月宵》のためのスケッチ								
37	万山水明	昭和51年	1976	紙本墨画	額	32.3×44.5		長野県立美術館 東山魁夷館
38	桂林大観	昭和51年	1976	紙本墨画	額	33.0×42.6		長野県立美術館 東山魁夷館
39	桂林奇峰	昭和51年	1976	紙本墨画	額	26.0×36.7		長野県立美術館 東山魁夷館

出品 番号	作品名	制作年 (和暦)	(西暦)	材質技法	形状	寸法(縦×横 cm)	所蔵先
40	桂林の月	昭和51年	1976	紙本墨画	額	24.3×35.4	長野県立美術館 東山魁夷館
41	水光	昭和51年	1976	紙本墨画	額	25.5×36.0	長野県立美術館 東山魁夷館
42	離江漁火	昭和51年	1976	紙本墨画	額	26.7×37.0	長野県立美術館 東山魁夷館
《黄山曉雲》のためのスケッチ							
43	蓬莱三島	昭和53年	1978	紙本墨画	額	30.5×43.5	長野県立美術館 東山魁夷館
44	雲中層嶂	昭和53年	1978	紙本墨画	額	27.0×41.0	長野県立美術館 東山魁夷館
45	黄山雨収	昭和53年	1978	紙本墨画	額	29.0×41.3	長野県立美術館 東山魁夷館
46	白雲重疊	昭和53年	1978	紙本墨画	額	26.5×40.5	長野県立美術館 東山魁夷館
47	群れ立つ石峰	昭和53年	1978	紙本墨画	額	31.0×42.5	長野県立美術館 東山魁夷館
48	黄山旭日	昭和53年	1978	紙本墨画淡彩	額	30.5×43.5	長野県立美術館 東山魁夷館
49	仙境	昭和53年	1978	紙本墨画	額	31.8×42.8	長野県立美術館 東山魁夷館
50	暮靄	昭和53年	1978	紙本墨画	額	30.8×45.8	長野県立美術館 東山魁夷館
長野会場特別出品 御影堂障壁画をめぐる思索－東山魁夷館所蔵作品より							
白い馬の見える風景							
1	早春の丘(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	24.0×33.5	長野県立美術館 東山魁夷館
2	水辺の朝	昭和47年	1972	紙本彩色	額	33.2×46.2	長野県立美術館 東山魁夷館
3	水辺の朝(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	31.0×44.0	長野県立美術館 東山魁夷館
4	春を呼ぶ丘(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	33.0×46.0	長野県立美術館 東山魁夷館
5	草青む	昭和47年	1972	紙本彩色	額	43.0×65.0	長野県立美術館 東山魁夷館
6	草青む(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	22.5×33.5	長野県立美術館 東山魁夷館
7	夕明り(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	27.0×41.0	長野県立美術館 東山魁夷館
8	湖澄む(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	24.5×36.5	長野県立美術館 東山魁夷館
9	白馬の森	昭和47年	1972	紙本彩色	額	152.0×223.0	長野県立美術館 東山魁夷館
10	白馬の森(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	24.5×36.0	長野県立美術館 東山魁夷館
11	緑響く	昭和47年	1972	紙本彩色	額	84.0×116.0	長野県立美術館 東山魁夷館
12	緑響く(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	24.5×35.5	長野県立美術館 東山魁夷館
13	渚の白馬(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	25.5×36.5	長野県立美術館 東山魁夷館
14	森装う(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	31.0×44.0	長野県立美術館 東山魁夷館
15	芒野(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	25.0×36.0	長野県立美術館 東山魁夷館
16	樹霊(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	31.0×43.5	長野県立美術館 東山魁夷館
17	曠野(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	24.5×35.5	長野県立美術館 東山魁夷館
18	荒寥(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	31.0×44.0	長野県立美術館 東山魁夷館
19	綿雲(習作)	昭和47年	1972	紙本彩色	額	31.0×45.0	長野県立美術館 東山魁夷館
大和春秋							
20	室生の塔(スケッチ)	昭和49年	1974	紙本彩色	額	41.0×27.5	長野県立美術館 東山魁夷館
21	布留の森(スケッチ)	昭和48年	1973	紙本彩色	額	37.0×31.0	長野県立美術館 東山魁夷館
22	柿の木と白壁の家(習作)	昭和48年	1973	紙本彩色	額	27.0×35.5	長野県立美術館 東山魁夷館
23	秋思	昭和63年	1988	紙本彩色	額	146.0×120.0	長野県立美術館 東山魁夷館
24	夕静寂	昭和49年	1974	紙本彩色	額	227.0×158.0	長野県立美術館 東山魁夷館
25	桂林月夜	昭和51年	1976	紙本彩色	額	129.0×162.0	長野県立美術館 東山魁夷館
26	離江暮色	昭和53年	1978	紙本彩色	六曲一双	各177.5×363.0	長野県立美術館 東山魁夷館
27	黄山雨過	昭和53年	1978	紙本彩色	額	139.0×196.0	長野県立美術館 東山魁夷館

企画展（展示室1・2・3）

生誕100年 松澤宥

松澤宥(1922-2006)は、長野県諏訪郡下諏訪町に生まれ、同地を拠点に国内外に芸術を発信しつづけた、日本を代表するコンセプチュアル・アーティスト。2022年の松澤宥生誕100年にあたり、生涯をたどる回顧展を開催した。本展では、芸術家としての原点である建築や詩から、美術文化協会や読売アンデパンダン等に出品された絵画やオブジェ、1964年に「オブジェを消せ」という啓示を受ける前後より国内外で発表された言語による作品やパフォーマンスまで、松澤の多彩な作品や活動を資料や写真を交えて紹介した。また、同時代の批評家や作家が多く訪れた伝説のアトリエ「プサイの部屋」については、一部を再現するとともにVRで体験できる展示も行った。

■会期

令和4年2月2日(水)から3月21日(月)
(42日間)

■会場

長野県立美術館(展示室1・2・3)

■主催等

(主催)長野県、長野県信濃美術館
(共催)長野県教育委員会
(後援)長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
(協力)一般財団法人松澤宥プサイの部屋、信州大学工学部建築学科寺内研究室
(助成)文化庁 令和2年度第3次補正 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業(国内需要喚起型)

■観覧料

一般800(700)円、大学生および75歳以上600(500)円、高校生以下無料、その他割引制度
※()内は20名以上の団体料金

■入館者数

5344人(有料:3,206人 無料:2,138人)

■図録(主要目次)

第1章 建築、詩から絵画へ
第2章 1964「オブジェを消せ」——観念芸術に向かって
第3章 共同体幻想
第4章 言語と行為
第5章 再考「プサイの部屋」
エピローグ

資料編

富井玲子「見えないものを観るために——世界美術史から読み直す松澤宥のラジカリズム」、千葉成夫「来た、見た、生きた——松澤宥の思い出」、Column1 寺内美紀子「松澤と建築」、Column2 橘川英規「1951年の松澤宥：RATIの会の疾走、詩から総合芸術へ」、Column3 木内真由美「作品としての展示空間——松澤宥《ψガス室》はどのような作品だったのか」、Column4 嶋田美子「ひらかれている・核連合体——精神の革命運動としての」、Column5 古家満葉「松澤宥の「言語による美術」と「行為による美術」」、Column6 寺内美紀子「「プサイの部屋」再現にあつ

て」、Column7 木内真由美「松澤宥アトリエ「プサイの部屋」アーカイブ整理と展示」

■イベント

①～③は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無観客で開催し、後日、その模様を映像で配信した。

①【配信】記念講演会：見えないものを観るために——松澤宥の過去・現在・未来／講師：富井玲子(美術史家・「ボンジャ現想」主宰)／オンライン配信

②クロストーク：「オブジェを消せ」前夜——松澤宥の初期ドローイングとオブジェ／講師：千葉成夫(美術評論家)、梅津庸一(美術家・美術共同体「パーブルーム」主宰)／聞き手：木内真由美(当館学芸員)／オンライン配信

③鼎談：松澤宥の共同体幻想——〈ニルヴァーナ〉のころ／講師：田中孝道(美術家)×春原敏之(美術家) 聞き手：木内真由美(当館学芸員)／オンライン配信

【中止イベント】

④、⑤は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの開催は中止したため、開催予定時の情報を記す。

④松澤宥パフォーマンス映像上映会
2月22日(火)／午後2時2分～／ホール／定員：50名(当日先着順)

⑤担当学芸員によるスライドトーク(手話通訳つき)日程：2月27日(日)・3月13日(日)／午後2時2分～／レセプションルーム／定員：30名(当日先着順)

■担当学芸員 木内真由美、古家満葉



番号	作家／撮影者	作品／資料名	制作年／ 撮影年	技法、素材	サイズ	所蔵先
1-1	松澤有	《課題》	1943	インク、紙	38.8×54.9	個人蔵
1-2	松澤有	《課題》	1943	インク、紙	42.5×61.0	個人蔵
1-3	松澤有	《設計課題 工場付属女子挺身隊寄宿舎》	1944	鉛筆、墨、紙	53.7×77.4	個人蔵
1-4	松澤有	《工場集会場小屋組詳細図》	1945／ 1946	鉛筆、紙	76.7×56.4	個人蔵
1-5	松澤有	「光・風・夢に寄せて——美の果敢なさと廃墟(Ruins)に就ての浪漫的断章」	1946	インク、紙	39.8×55.0	個人蔵
1-6	松澤有	「純粋な風景」	1944	インク、紙	29.1×48.6 (見開き)	個人蔵
1-7	松澤有	「賈水夫」(「眼」(「BUOY」1-4)	1947.7	印刷、紙	20.8×15.0	個人蔵
1-8	松澤有	「僕と犠牲の牛」(「第一書」1)	1948.2	印刷、紙	20.6×28.0 (見開き)	個人蔵
1-9	松澤有	「首都にて」(「第一書」2)	1948.5	印刷、紙	19.6×29.0 (見開き)	個人蔵
1-10	松澤有	「地上の不滅」(「誕生」(「沼」(「都会」(「群集」(「群集」(「踊り」(「時間」(「模型よ、模倣よ」(「MANNEQUIN に就いて」(「廻る墓地」(「審判」)	1949	ガリ版、紙	各20.5×29.0	個人蔵
1-11	松澤有	「存在の tub」(「RAT」1)	1950.12	印刷、紙	19.4×19.7	個人蔵
1-12	松澤有	「島」(「RAT」2)	1951.1	印刷、紙	19.4×19.7	個人蔵
1-13	松澤有	「理性の犬」松澤有誤「IN A NEW ZONE IMPECCABLE」青木靖泰、松澤有「Phrase Ojbet 沈む地球」(「RAT」3)	1951.2	印刷、紙	19.4×19.7	個人蔵
1-14	松澤有作・演出	「詩劇 PSEUDO SPHERICAL SPACE 擬球面空間」	1951	印刷、紙	18.0×19.0	個人蔵
1-15		「1951・アバンギャルド・アート・ディスプレイ」展目録	1951	印刷、紙	36.4×16.6	個人蔵
1-16	松澤有	「アヴァンギャルド・アート・ディスプレイの展示に就て」	1951	インク、紙	各21.7×31.0	個人蔵
1-17		「1951・アバンギャルド・アート・ディスプレイ」出品者集合写真	1951	-	-	個人蔵
1-18		「第2回草間彌生新作個展」ポスター	1952	シルクスクリーン、紙	54.0×38.2	個人蔵
1-19		「第2回草間彌生新作個展」目録	1952	印刷、紙	31.1×43.5	個人蔵
1-20	松澤有	「HADES に就いて」(「第13回美術文化協会出品目録東京版」)	1953	印刷、紙	25.8×18.3	個人蔵
1-21	松澤有	《無題》	制作年不詳	パステル、油性塗料、紙	79.1×94.8	個人蔵
1-22	松澤有	《ハイデスの魚》	1952	-	-	個人蔵
1-23	松澤有	《少年のハイデス》	1952	-	-	個人蔵
1-24	松澤有	《ニル》	1952	-	-	個人蔵
1-25	松澤有	《ハイデスの首》	1953	-	-	個人蔵
1-26		「第13回美術文化協会出品目録京都版」目録	1953.5	印刷、紙	25.8×18.3	個人蔵
1-27	松澤有	「ハイデスの首」(「PIERRE」6)	1953	印刷、紙	25.9×18.2	個人蔵
1-28	松澤有	《テレパシーのための空間・時間》(「14回美展画集」)	1954	印刷、紙	21.0×15.0	個人蔵
1-29	松澤有	「0005」(「PIERRE」4)	1952	印刷、紙	25.3×17.7	個人蔵
1-30	松澤有	「いやらしい神に」(「天蓋」No.8)	1953.7	印刷、紙	24.4×18.2	個人蔵
1-31	松澤有	「女と機械と」	1952	インク、紙	35.4×25.7	個人蔵
1-32	松澤有	《シンボルボム No. 1》	1954	インク、紙	24.0×17.7	個人蔵
1-33	松澤有	《シンボルボム No. 2》	1954	インク、紙	23.9×17.7	個人蔵
1-34	松澤有	「Symbol Poem (1)」(「Symbol Poem (2)」(「PIERRE」7)	1954.3	印刷、紙	20.3×19.1	個人蔵
1-35	松澤有	《意識と物質に関するダイアグラム 陰陽》	1954	水彩、紙	65.7×55.5	個人蔵
1-36		「アルファ芸術陣結成展」ポスター	1955.1	シルクスクリーン、紙	39.0×54.3	個人蔵
1-37		「アルファ芸術陣結成展」目録	1955.1	印刷、紙	16.3×18.3	個人蔵
1-38		「アルファ芸術陣結成展」チケット	1955.1	印刷、紙	8.3×15.3	個人蔵
1-39		「アルファ芸術陣結成展」会場写真	1955	-	-	個人蔵
1-40	北原功／松澤有	「01010101」(「010101010」)	1955	-	-	個人蔵
1-41	松澤有	《無題》	制作年不詳	トタン板、写真感光剤	45.5×17.7	個人蔵
1-42	松澤有	《無題》	制作年不詳	トタン板、写真感光剤	60.0×42.0	個人蔵
1-43	松澤有	《ニルヴァーナの木》	1955	-	-	個人蔵
1-44		諏訪湖畔沿いの公園写真	1955	-	-	個人蔵
1-45		「近代的遊園地完成 諏訪湖畔」(「信濃毎日新聞」1955年7月4日付)	-	-	-	個人蔵
1-46		履歴書 草案	1955	タイプ印刷、紙	29.8×21.2	個人蔵
1-47		早稲田大学成績表	1955	印刷、紙	17.6×12.9	個人蔵
1-48		ウィスコンシン大学への留学許可を知らせる電報	1955	電報	14.8×20.8	個人蔵
1-49		瀧口修造からの推薦文 草案	1955	タイプ印刷、紙	29.8×21.2	個人蔵
1-50		今井兼二からの推薦文 草案	1955	タイプ印刷、紙	29.8×21.2	個人蔵
1-51		「Yutaka Matsuzawa Sketch One Man Show」会場写真	1955.9.5-8	-	-	個人蔵
1-52		「CALIGRAPHY DEMONSTRATION(カリグラフィーの実演)」The Evening Telegram	1955.10.7	-	-	個人蔵
1-53		「Japanese to Talk Art to SSC Tonight(今晚、SSC で日本人がアートを語る)」The Evening Telegram, Superior	1955.11.14	-	31.5×43.5	個人蔵
1-54		「A Tree Grows In Japan(日本に木が生えた)」The Peptomist	1956.1.20	-	-	個人蔵
1-55		アート教室内のアトリエにて	1955頃	-	-	個人蔵
1-56	松澤有	《ウィスコンシン州立大戦記念碑のためのスケッチ》	1955頃	鉛筆、紙	60.8×71.4	個人蔵
1-57		「留学中の松沢氏に設計を依頼 米ウィスコンシン州立大に大戦記念碑」(「信濃毎日新聞」1955年12月17日付)	1955	-	-	個人蔵
1-58		「JAPANESE ART(日本の美術)」The Evening Telegram	1956.5.26	-	-	個人蔵
1-59		コロンビア大学受入通知	1956	タイプ印刷、紙	27.8×21.8	個人蔵
1-60		「「造形芸術」通じて学ぶ—物質文明と東洋の精神の結合— アメリカ留学から帰つて 松沢諏訪実高教諭の話」(「南信日日新聞」1957年4月14日付)	1957	-	-	個人蔵
2-1	松澤有	《No.7 亀の夢》	1958	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	76.9×106.2	個人蔵
2-2	松澤有	《K.A. フライングソーサー》	1958頃	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	82.5×111.0	個人蔵
2-3	松澤有	《ブサイの鳥》	1959	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	108.0×76.0	個人蔵
2-4	松澤有	《ブサイの鳥1》	1959	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	76.0×108.0	個人蔵
2-5	松澤有	《ブサイの鳥1》	1959	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	77.2×109.3	個人蔵
2-6	松澤有	《ブサイの鳥》	1959	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	77.2×108.6	個人蔵
2-7	松澤有	《ブサイの鳥4》	1959	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	76.9×106.2	個人蔵
2-8	松澤有	《ブサイの鳥9》	1959	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	109.4×76.8	個人蔵
2-9	松澤有	《御幣マングラ5》	1959	パステル、クレヨン、蠟、かまどのスミ、灰、紙	108.0×79.0	個人蔵
2-10	松澤有	《胎内願望》	1960	写真、コラージュ、血、紙	105.0×76.0	個人蔵
2-11		《胎内願望》と松澤	1960頃	-	-	個人蔵
2-12	松澤有	《ブサイのオルガン》	1959	木、紙(印刷物の切り抜き)、糸、針金、枯葉ほか	53.5×99.0×110.0	個人蔵
2-13	松澤有	《パラサイコロジ—空間9》	1960	パステル、クレヨン、蠟、かまどの灰、灰、紙	81.0×81.0	個人蔵
2-14		「第13回読売アンデパンダン展」会場風景	1960	-	-	個人蔵

番号	作家／撮影者	作品／資料名	制作年／ 撮影年	技法、素材	サイズ	所蔵先
2-15	松澤有	《ブサイの意味－ハイゼンベルクの宇宙方程式によせて》	1960	パステルほか、紙	9点組 各84.0×84.0	個人蔵
2-16		「第13回読売アンデパンダン展」会場風景	1961	－	－	個人蔵
2-17	松澤有	《ブサイ函》	1961	印刷、紙	33.3×24.2	個人蔵
2-18	松澤有	《ブサイ函 YM》	1961	著色合板	91.0×91.0×91.0	個人蔵
2-19	松澤有	《ブサイ函 SM》	1961	著色合板	46.0×46.0×46.0	個人蔵
2-20	松澤有	《ブサイの意味》	1961	パステル、紙	75.1×74.9	個人蔵
2-21	松澤有	《のぞけブサイ亀を翼ある密軌を》	1962	木、紙、ガラス、金属、写真	91.5×85.5×96.0	個人蔵
2-22		「第14回読売アンデパンダン展」会場風景	1962	－	－	個人蔵
2-23		「第15回読売アンデパンダン展」会場風景	1963	－	－	個人蔵
2-24	松澤有	《ブサイの座敷》	1963	印刷、紙	35.1×25.8	個人蔵
2-25	松澤有	《ブサイの部屋からの27個の函》	1963	－	サイズ可変	個人蔵
2-26		「ブサイの部屋からの27個の函」(サブプリメント・ギャラリー、東京) 会場風景 1982	1982	－	－	個人蔵
2-27	松澤有	《日本建国史》	1961	木、本、木ネジ、石膏、骨	28.0×42.0×11.5 (サイズ可変)	個人蔵
2-28	松澤有	《パラサイ コロジイ 空間にて》	制作年不詳	パステル、クレヨン、 コラージュ、紙	75.5×107.6	個人蔵
2-29	松澤有	《別の容器の中別の作品について又切断について》	1963	印刷、紙	18.8×12.8	個人蔵
2-30		「ψによる松澤有個展」目録	1963	印刷、紙	19.2×13.4	個人蔵
2-31		「ψによる松澤有個展」会場風景	1963	－	－	個人蔵
2-32	松澤有	《非感覚絵画(假称)の端緒の発見に就いての簡単な報告》	1964	印刷、紙	35.4×25.0	個人蔵
2-33	松澤有	《ブサイの死体遺体》	1964	印刷、紙	38.4×26.1	個人蔵
2-34	松澤有	《非感覚絵画のための局部》	1964	パステル、コラージュ、紙	59.0×45.5	個人蔵
2-35	松澤有	《非感覚絵画のための紋章》	1964	パステル、油性塗料、 コラージュ、ホッチキス針、紙	64.1×94.8	個人蔵
2-36	松澤有	《非感覚絵画のための歯の爆発》	1964	水彩、コラージュ、紙	63.6×102.8	個人蔵
2-37	松澤有	《非感覚絵画のためのマンダラ》	1964	水彩、コラージュ、紙	102.8×73.9	個人蔵
2-38	松澤有	「ブサイの見えないユーモア」(『美術ジャーナル』No.51)	1964	－	－	個人蔵
2-39		「荒野におけるアンデパンダン'64展」広告 (『美術ジャーナル』No.51)	1964	－	－	個人蔵
2-40	池田龍雄	《12月9日0時のオリオン星座アルファ星》出品の手紙	1964	インク、紙	各23.0×17.7	個人蔵
2-41	松澤有	《あゝニルあゝ荒野におけるブサイの秘具体入水式原型展》	1964	印刷、紙	12.0×16.9	個人蔵
2-42	松澤有	《ブサイの部屋から一九から球へのお便り》	1960	水彩、色鉛筆、鉛筆、墨、 コラージュ、紙、布	245.0×212.0 247.0×156.0	個人蔵
2-43	松澤有	《あゝニルあゝ荒野におけるブサイの秘具体入水式》	1965	印刷、紙	36.6×26.0	個人蔵
2-44		《あゝニルあゝ荒野におけるブサイの秘具体入水式》	1965	印刷、紙	53.5×53.3	個人蔵
2-45	作者不詳	「松澤有(反文明)展」(内科画廊、1965年3月) 会場風景	1965	ゼラチン・シルバー・プリント	70.0×50.0×2.5	国立国際美術館
2-46	作者不詳	「松澤有(反文明)展」(内科画廊、1965年3月) 会場風景	1965	ゼラチン・シルバー・プリント	70.0×50.0×2.5	国立国際美術館
2-47	作者不詳	「松澤有(反文明)展」(内科画廊、1965年3月) 会場風景	1965	ゼラチン・シルバー・プリント	70.0×50.0×2.5	国立国際美術館
2-48	松澤有	《両界曼荼羅の構造による反文明の非感覚的遍満》	1965	印刷、紙	39.0×26.6	個人蔵
2-49	松澤有	《新救世主降誕告知》	1966	印刷、紙	20.0×40.4	個人蔵
2-50		「松澤有万物消滅式」(MAC・J) 会場風景	1966	－	－	個人蔵
2-51	松澤有	《人類よ消滅しよう行こう行こう》	1966	印刷、紙	25.2×25.1	個人蔵
2-52	松澤有	《反日本・今日の芸術展》	1965	印刷、紙	10.3×10.3	個人蔵
2-53	松澤有	《いろはカルタ観念展》	1966	印刷、紙	35.0×26.0	個人蔵
2-54	松澤有	《9の無のカンヴァスと9のブサイの椅子と9の超未来的方法による 松澤有展 V.1010》	1967	印刷、紙	39.1×30.4	個人蔵
2-55		「9の無のカンヴァスと9のブサイの椅子と9の超未来的方法による 松澤有展 V.1010」(京都アヅマギャラリー、京都) 会場風景	1967	－	－	個人蔵
2-56	松澤有	《無と無限 889 1010》	1967	インク、紙	9.2×5.5	個人蔵
2-57	松澤有	《白い球(変容絵画)》	1967	印刷、紙	29.6×21.1	個人蔵
2-58	松澤有	《根本絵画 白い円》	制作年不詳	インク、紙	21.9×21.9	個人蔵
2-59	松澤有	《白色円形根本絵画》	制作年不詳	コラージュ、紙	26.7×25.8	個人蔵
2-60	松澤有	《白色円形根本絵画》	制作年不詳	コラージュ、紙	25.3×25.6	個人蔵
2-61	松澤有	《白色円形根本絵画》	制作年不詳	コラージュ、紙	11.6×26.0	個人蔵
2-62	松澤有	《光と音と時に見せる?》《またひとつ別の絵画を》	1969	印刷、紙	25.3×25.6	個人蔵
2-63		「第9回現代日本美術展」(東京都美術館 東京) 展示プラン	1969	印刷、紙	11.6×26.0	個人蔵
2-64		「第9回現代日本美術展」(東京都美術館、東京) 会場写真	1969	－	－	個人蔵
3-1	松澤有	《すべての生物および無生物のための白紙絵画》	1967	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-2	松澤有	《湖に見せる根本絵画展》	1967	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-3	松澤有	《霧と雲に見せる絵画展》	1967	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-4	松澤有	《絵に見られる松沢有展》	1967	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-5	松澤有	《死に見せ乳房を見る根本絵画展》	1967	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-6	松澤有	《見ない絵画と見えない絵画展 -EXPO'70の反存在のための啓示-	1967	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-7	松澤有	《眠れるエネルギーに見せる絵(世界最後の絵画展)》	1968	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-8	松澤有	《芸術家一切消滅大宣言 43210アッピール》	1968	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-9	松澤有	《これが全人類所有可能な絵画だ》	1968	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-10	松澤有	《球をたずさえる歴訪展》	1968	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-11	松澤有	《電話メディアによる情報絵画はクールである》	1968	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-12	松澤有	《はがきに挿さった絵》	1968	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-13	松澤有	《奥山密儀執行》	1970	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-14	松澤有	《樹上小屋建下見》	1970	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-15	松澤有	《バリニバーナ・バーリヤーヤ体の》	1970	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-16	松澤有	《天の空へ向け両心臓を飛ばす儀執行》	1971	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-17	松澤有	《人類は滅亡することを予感》	1971	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-18	松澤有	《暗黒星雲計画・DNPとして》	1971	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-19	松澤有	《みなさんおはようござい》	1971	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-20	松澤有	《人類よ消滅しよう》	1971	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-21	松澤有	《信州泉水人音会に向けて》	1971	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-22	松澤有	《1961年より71年にわたる》	1971	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-23	松澤有	《197188及び前後》	1971	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-24	松澤有	《グ 事》	1971	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-25		「EXPOSE ⇄ トータルコミュニケーション」概念図	制作年不詳	インク、紙	25.7×36.4	個人蔵
3-26	松澤有	《お告げ》	1969	印刷、紙	25.8×18.1	個人蔵
3-27		「美術という芸術の終焉」(長野県信濃美術館、長野) ポスター	1969	オフセット、紙	52.0×36.3	個人蔵
3-28		「美術という芸術の終焉」(長野県信濃美術館、長野) 目録	1969	印刷、紙	25.3×18.0	個人蔵
3-29		「美術という芸術の終焉」(長野県信濃美術館、1969年) 会場・シンポジウム風景	1969	－	－	個人蔵
3-30	松澤有	《ブサイアート集合》	1969			個人蔵
3-31	松澤有	《フリーアート》	1969	印刷、紙	18.0×18.1	個人蔵
3-32	松澤有	《フリーコンミュニオンよ》	1970	印刷、紙	36.5×25.8	個人蔵
3-33	松澤有	《われ(ら)ニルヴァーナ》	制作年不詳	印刷、紙	25.8×18.2	個人蔵

番号	作家／撮影者	作品／資料名	制作年／ 撮影年	技法、素材	サイズ	所蔵先
3-34		「ニルヴァーナ 最終美術のために」(京都市美術館、京都)ポスター	1970	印刷、紙	25.8×36.3	個人蔵
3-35		「ニルヴァーナ 最終美術のために」(京都市美術館、京都)案内状	1970	印刷、紙	38.2×27.2	個人蔵
3-36		ニルヴァーナ 宿舎(京都市地蔵谷)にて	1970	-	-	個人蔵
3-37		「ニルヴァーナ 最終美術のために」機関紙 No.1	1970.4	印刷、紙	36.2×25.7	個人蔵
3-38	春原敏之	《この点を最終世界への点に ○○○○》	1970	印刷、紙	36.3×25.7	個人蔵
3-39	田中孝道	《交信彼岸》	1970	墨、インク、紙	25.7×36.3	個人蔵
3-40	瀧口修造	NIL・V・ANA=NILVANA	1970	印刷、ペン、紙	10.4×14.8	個人蔵
3-41	河原温	松澤宥氏に宛てた電報、1970年7月21日、I Am Still Alive (1970-2000) より	1970	電報	12.5×21.1	個人蔵
3-42		「Bulletin」20(ギルバート&ジョージ特集号)	1970	印刷、紙	29.6×21.0	個人蔵
3-43		「Bulletin」21(松澤宥特集号)	1970	印刷、紙	29.6×21.0	個人蔵
3-44	松澤宥	《上図の亀甲に》	1970	印刷、紙	36.4×25.9	個人蔵
3-45		ラヴェスティーンに宛てた領収書	1970	インク、紙	-	個人蔵
3-46	松澤宥	《あなたがこれを読んでいるこの瞬間》	1971	印刷、紙	25.9×18.2	個人蔵
3-47		「Sonsbeek'71」目録	1971	印刷、紙	21.0×9.8	個人蔵
3-48		“Bezoeker moet zelf aan Sonsbeek'71 deelnemen (訪問者は Sonsbeek'71に参加する必要があります)” HET PAROOL	1971.8.4	-	-	個人蔵
3-49		「松澤宥個展」(アート&プロジェクト、オランダ)会場風景	1971	-	-	個人蔵
3-50		「Bulletin」42(松澤宥特集号)	1971	印刷、紙	29.6×21.0	個人蔵
3-51	松澤宥	「Catechism Art(公案芸術)」	1973	印刷、紙	20.9×9.8	個人蔵
3-52		「Bulletin」84(松澤宥特集号)	1975	印刷、紙	29.6×21.0	個人蔵
3-53	松澤宥	《ジシイノメツボウチカシ》	1971	-	-	個人蔵
3-54		「最終美術への招待展」(長崎県立美術館、長崎)案内葉書	1971	印刷、紙	15.0×10.3	個人蔵
3-55		「最終美術への招待展」(長崎県立美術館、長崎)会場風景	1971	-	-	個人蔵
3-56	金子昭二	「白い思想、旅立ち宣言」	1971	印刷、紙	21.9×15.5	個人蔵
3-57		「白い時の会」イベント風景	1971	-	-	個人蔵
3-58		「音会のための初期微動」vol.2	1971	印刷、紙	25.7×18.2	個人蔵
3-59		「泉水入眠想台(音会)に向けて」	1971	印刷、紙	26.0×18.4	個人蔵
3-60		「音会」参加者集合写真	1971	-	-	個人蔵
3-61	安齊重男	《松澤宥 1978年9月 長野》	1978	ゼラチンシルバープリント	27.9×35.6	国立国際美術館
3-62	安齊重男	《松澤宥 1978年9月15日 下諏訪、長野》	1978	ゼラチンシルバープリント	25.4×20.4	国立国際美術館
3-63	松澤宥	《山式九放》	1971	印刷、紙	36.3×25.8	個人蔵
3-64		「泉水入眠想台—1972冬—」(「ズームイン信州」SBC 信越放送1972年2月19日放送取材動画より)	1972	カラー、モノラル	13'14"	SBC 信越放送
3-65		「雪のたより」1	1972	印刷、紙	35.8×25.1	個人蔵
3-66		「雪のたより」3	1972	印刷、紙	35.8×25.0	個人蔵
3-67		「雪の便」5	1972	-	-	個人蔵
3-68		「山式」イベント写真	1972	-	-	個人蔵
3-69		「ひらかれている」(長野県信濃美術館、長野)ポスター	1972	オフセット、紙	57.5×20.5	個人蔵
3-70		「ひらかれている」(長野県信濃美術館、長野)案内状	1972	印刷、紙	51.3×36.3	個人蔵
3-71		「ひらかれている」(長野県信濃美術館、長野)案内葉書	1972	印刷、紙	14.8×10.0	個人蔵
3-72	松澤宥	《わたしは三〇〇〇日》	1972	印刷、紙	25.8×18.2	個人蔵
3-73	撮影／羽永光利	「ひらかれている」(長野県信濃美術館、長野)会場風景	1972	-	-	個人蔵
3-74		「ひらかれている」(長野県信濃美術館、長野)パフォーマンス風景	1972	-	-	個人蔵
3-75		「カストロフィー・アート・ミラノ・東京同時展」(ビナール画廊)チラシ	1972	印刷、紙	21.5×30.8	個人蔵
3-76		「カストロフィー・アート・フロム・ザ・イースト」(サン・フェデーレ画廊、ミラノ)案内状	1972	印刷、紙	-	個人蔵
3-77	松澤宥	《危機儀その他》	1972	印刷、紙	29.9×40.2	個人蔵
3-78	松澤宥	《危機儀その他》	1972	印刷、紙	40.2×30.2	個人蔵
3-79		「CATASTROPHE ART FROM THE EAST」図録	1972	冊子	23.8×19.0	個人蔵
3-80		「TOWARDS NIRVANA TO The Catastrophe Art in Buenos Aires 展について」	1973	印刷、紙	36.3×25.7	個人蔵
3-81		「CAYC」	1975.4	印刷、紙	27.0×21.7	個人蔵
3-82	松澤宥	「世界蜂起」ラフプラン	1971	印刷、紙	36.4×25.7	個人蔵
3-83	松澤宥	「世界蜂起」要請文	1971	印刷、紙	25.7×36.3	個人蔵
3-84	松澤宥	「世界蜂起」要請文(英語)	1971	-	-	個人蔵
3-85	松澤宥	《わたしは今泉水入眠想台》	1971	印刷、紙	36.2×25.9	個人蔵
3-86	松澤宥	「第2回世界蜂起」要請文(日本語)	1972.10.10	印刷、紙	26.9×19.9	個人蔵
3-87	松澤宥	「第2回世界蜂起」要請文(英語)	1972.10.10	印刷、紙	30.0×20.9	個人蔵
3-88		「第2回世界蜂起」参加者名簿	1972	印刷、紙	各25.7×18.2	個人蔵
3-89	松澤宥	「第3回世界蜂起」要請文	1973	印刷、紙	-	個人蔵
3-90	松澤宥	《いまわたしはプサイの座敷に座し》	1973	印刷、紙	25.8×18.1	個人蔵
3-91		「'70 美学校生徒募集」ポスター	1970	シルクスクリーン、_紙	104.0×74.7	個人蔵
3-92		「美学校諏訪分校生徒募集」ポスター	1973	シルクスクリーン、_紙	78.8×54.5	個人蔵
3-93	デザイン／ 田中孝道	「最終美術思考工房」ポスター	1973	シルクスクリーン、_紙	39.6×54.5	個人蔵
3-94		「松澤宥 最終美術思考工房」案内	1970頃	印刷、紙	16.0×23.5	個人蔵
3-95		「最終美術思考研究室」71年度案内・カリキュラム	1971	印刷、紙	36.3×25.7	個人蔵
3-96		「最終美術思考工房」看板	制作年不詳	墨、木	30.6×7.2×1.0	個人蔵
3-97		美学校諏訪分校周辺地図	制作年不詳	印刷、紙	21.1×29.8	個人蔵
3-98	撮影／羽永光利	「最終美術思考工房」の生徒たちと松澤	1980	-	-	個人蔵
3-99		《九想の室》(サンパウロ・ビエンナーレ)展示資料	1977	-	-	個人蔵
3-100	松澤宥	《九想の室》	1977	印刷、紙	各42.3×42.3	個人蔵
3-101	芦沢泰偉	《地球音をきけ》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-102	池田龍雄	《梵天の塔》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	89.0×58.0	個人蔵
3-103	糸井貫二 撮影／羽永光利	《裸で異議申し立て》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	89.0×58.0	個人蔵
3-104	風倉匠	《カバラ1971》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	89.0×58.0	個人蔵
3-105	金子昭二 撮影／楠野裕司	《白い時の会の旅立ち》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-106	河津紘	《西に向けて九歩の触足行》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	89.0×58.0	個人蔵
3-107	クスノタカオ	《風の入り》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	89.0×58.0	個人蔵
3-108	栗山邦正	《星祭り》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-109	小林起一	《退化宴》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-110	松澤宥 撮影／羽永光利	《霧のプサイの部屋にて》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-111	宿沢育夫	《島儀論》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-112	ステラーク	《サスペンション イベント1番》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-113	春原敏之	《雪の中の○○○○式》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	89.0×58.0	個人蔵
3-114	赤土類	《魔為》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-115	田中孝道	《魔胎ストーン・エイジ行》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵

番号	作家／撮影者	作品／資料名	制作年／ 撮影年	技法、素材	サイズ	所蔵先
3-116	辻村和子 撮影／楠野裕司	《本牧草にて》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-117	藤原和通 撮影／楠野裕司	《エコー・ロケーション》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-118	古沢宅	《風化》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-119	水上旬	《古式汎儀礼派の儀》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	58.0×89.0	個人蔵
3-120	水谷勇夫 撮影／富塚良一	《玄海遊行》	1977	ゼラチン・シルバー・プリント	89.0×58.0	個人蔵
3-121		《九想の室》(サンパウロ・ビエンナーレ、ブラジル) インスタレーション会場風景	1977	-	-	個人蔵
3-122		パフォーマンス《九想の室》(サンパウロ・ビエンナーレ、ブラジル)	1977	-	-	個人蔵
4-1	撮影／羽永光利	パフォーマンス(御射山秘儀)(御射山奥社、長野)	1970	-	-	個人蔵
4-2	撮影／羽永光利	パフォーマンス(御射山秘儀)(御射山奥社、長野)	1970	-	-	個人蔵
4-3	撮影／羽永光利	パフォーマンス(御射山秘儀)(御射山奥社、長野)	1970	-	-	個人蔵
4-4	撮影／羽永光利	パフォーマンス(消滅の幟)(「第10回現代日本美術展 - 人間と自然 -」東京都美術館、東京)	1971	-	-	個人蔵
4-5	撮影／羽永光利	パフォーマンス(消滅の幟)(「第10回現代日本美術展 - 人間と自然 -」東京都美術館、東京)	1971	-	-	個人蔵
4-6	撮影／松澤久美子	パフォーマンス(消滅の幟)(「第10回現代日本美術展 - 人間と自然 -」東京都美術館、東京)	1971	-	-	個人蔵
4-7	松澤有 撮影／松澤久美子	パフォーマンス(消滅の幟)(「ユートピア&ヴィジョンズ 1871-1981」ストックホルム近代美術館、スウェーデン)	1971	-	-	個人蔵
4-8	松澤有 撮影／松澤久美子	パフォーマンス(消滅の幟)(「Sonsbeek'71」ソンスベーク、オランダ)	1971	-	-	個人蔵
4-9	松澤有 撮影／松澤久美子	パフォーマンス(人類消滅)(アート・ギャラリー・オブ・ニュー・サウス・ウェールズ、オーストラリア)	1984	-	-	個人蔵
4-10	松澤有 撮影／大住建	パフォーマンス(消滅の幟)(「Furk'Art'84」フルカ峠、スイス)	1984	-	-	個人蔵
4-11	松澤有 撮影／中村洋子	パフォーマンス(消滅の幟)(サンフランシスコ ランズ・エンド、アメリカ)	1983	-	-	個人蔵
4-12		パフォーマンス(消滅の幟)(ヘルシンキ、フィンランド)	1989	-	-	個人蔵
4-13	松澤有 撮影／大住建	パフォーマンス(消滅の幟)(アムステルダム、オランダ)	1990	-	-	個人蔵
4-14		“Matsuzawa büyüledi (松澤が魅了)” Visyon	1995.9.26	-	-	個人蔵
4-15	撮影／大住建	岡崎球子画廊でのパフォーマンス・展示記録(1983「ψの面とそのオリジン」／1984「壊色論Ⅱ」/1982「ψの部屋から27個の函」)	1982-84	シングル・チャンネル・ビデオ、カラー、モノラル	19'22"	個人蔵
4-16		イベント(消滅のピラ)(「旧作の引用による新作個展」銀座絵画館、東京)	1979	-	-	個人蔵
4-17	松澤有	パフォーマンス(人類消滅 消滅の床除幕式において)(ミデルブルフ、オランダ)	1980	-	-	個人蔵
4-18	松澤有	《私の死》	1970	印刷、パネル	91.0×91.0×3.2	個人蔵
4-19	撮影／松澤久美子	「第10回日本国際美術展 人間と物質」会場風景	1970	-	-	個人蔵
4-20	大辻清司	《松澤有のパフォーマンス(「人間と物質」展)》	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	26.4×39.5	東京国立近代美術館
4-21	大辻清司	《松澤有のパフォーマンス(「人間と物質」展)》	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	26.4×39.5	東京国立近代美術館
4-22	大辻清司	《松澤有のパフォーマンス(「人間と物質」展)》	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	26.4×39.5	東京国立近代美術館
4-23	大辻清司	《松澤有のパフォーマンス(「人間と物質」展)》	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	26.4×39.5	東京国立近代美術館
4-24	松澤有	《私の死》	1970	印刷、パネル	91.0×91.0×3.2	個人蔵
4-25	松澤有	パフォーマンス(天の空へ向けて両の心臓を飛ばす)	1971	-	-	個人蔵
4-26	松澤有	《この一枚の白き和紙の中に》	1976	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0	個人蔵
4-27	松澤有 撮影／中村洋子	パフォーマンス(この一枚の白き和紙の中に)(「第37回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」ヴェネツィア、イタリア)	1976	-	-	個人蔵
4-28	安藤重男	《松澤有 1976年11月23日 イタリア文化会館、東京》	1976	ゼラチン・シルバー・プリント	23.7×28.3	国立国際美術館
4-29	松澤有 撮影／長澤章生	パフォーマンス(スワン・ソング・マンダラ)(「現代美術の動向」東京都美術館、東京)	1984	-	-	個人蔵
4-30	松澤有 撮影／長澤章生	パフォーマンス(白鳥の歌)(「有密法」豊田市美術館、愛知)	2003.9.14. PM22:22:22	シングル・チャンネル・ビデオ、カラー、モノラル	9'57"	個人蔵
4-31	松澤有	パフォーマンス(DAS SINNKOMPLEX)(「5人の新人展」岡崎球子画廊、東京)	1982	-	-	個人蔵
4-32	松澤有	イベント(ピース・アート・アクション)(原爆ドーム、広島)	1982	-	-	個人蔵
4-33	松澤有	イベント(ピース・アート・アクション)(諏訪湖、長野)	1982	-	-	個人蔵
4-34	松澤有 撮影／大住建	パフォーマンス(我は観念・言語・真言に壊色の法衣を供養するなり)(諏訪湖、長野)	1984	-	-	個人蔵
4-35	松澤有 撮影／大住建	パフォーマンス(壊色論)(「バリー東京 現代美術交流展」)	1985	-	-	個人蔵
4-36	松澤有 撮影／大住建	パフォーマンス(壊色論)(「バリー東京 現代美術交流展」クリスチャン・シュノー ABCD 画廊、パリ、フランス)	1984	-	-	個人蔵
4-37	松澤有 撮影／松澤久美子	パフォーマンス(壊色論Ⅲ)(横浜市民ギャラリー、神奈川)	1984	-	-	個人蔵
4-38	松澤有 撮影／大住建	パフォーマンス(壊色論Ⅱ)(岡崎球子画廊、東京)	1984	-	-	個人蔵
4-39		「壊色論」目録	1984	印刷、紙	18.3×17.5	個人蔵
4-40	松澤有 撮影／大住建	パフォーマンス(海底)(東京都美術館、東京)	1984	-	-	個人蔵
4-41	松澤有 撮影／大住建	パフォーマンス(海底)(東京都美術館、東京)	1984	-	-	個人蔵
4-42	松澤有 撮影／松澤久美子	パフォーマンス(海底)(「プロセスと構築」ミュンヘン、ドイツ)	1985	-	-	個人蔵
4-43	松澤有 撮影／大住建	パフォーマンス(海底)(「第1回 JAPAN 牛窓国際芸術祭」、岡山)	1985	-	-	個人蔵
4-44	松澤有	《ローマにて(「海底」より)》	1985	シルクスクリーン、紙	各90.0×90.0	個人蔵
4-45		パフォーマンス(アフター・マン 人類以後)(サンフランシスコ近代美術館、アメリカ)	1987	-	-	個人蔵
4-46	松澤有	「量子芸術宣言 一」	1988	冊子	-	個人蔵
4-47	松澤有	「方便 九」	1990	冊子	-	個人蔵
4-48	松澤有	「量子芸術宣言」	1992	冊子	-	個人蔵
4-49		「量子芸術宣言 一」(岡崎球子画廊、東京) 会場風景	1988	-	-	個人蔵
4-50	松澤有	《量子芸術 序》	1994	シルクスクリーン、紙	各67.4×67.4	個人蔵
4-51	松澤有	ビジュアル・パフォーマンス(消滅の幟 水底・火底・卵)／レタティブパフォーマンス(1458字の数量的レタティブ)	1995.7.3. PM6:22	シングル・チャンネル・ビデオ、カラー、モノラル	25'32"	個人蔵
4-52	松澤有	《80年問題22番》	2002	フェルトペン、紙	各90.0×63.0	個人蔵
4-53	松澤有 撮影／長澤章生	パフォーマンス(80年問題22番)(「未完の世紀：20世紀美術がのこすもの」東京国立近代美術館、東京)	2002.2.2. PM22:22:22	シングル・チャンネル・ビデオ、カラー、モノラル	11'31"	個人蔵
5-1		ブサイの部屋(再現)	2022	-	-	個人蔵
5-2	松澤有	《虚空間状況探知センターにて》	1964	ゼラチン・シルバー・プリント、紙	24.8×31.3	個人蔵
5-3	松澤有	《実のブサイの部屋／ニルのブサイの部屋／虚のブサイの部屋》(「松澤有 ψの宇宙」)	1964	冊子	-	個人蔵
5-4		ブサイの部屋の前身にて	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	7.7×11.9/7.7×11.5	個人蔵
5-5	撮影／中嶋興	「外部空間探知センター」(「美術手帖」1969年6月号)	1969	冊子	-	個人蔵

番号	作家／撮影者	作品／資料名	制作年／ 撮影年	技法、素材	サイズ	所蔵先
5-6	羽永光利	《ブサイの部屋》	1969	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3	個人蔵
5-7	羽永光利	《ブサイの部屋》	1969	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3	個人蔵
5-8	羽永光利	《ブサイの部屋》	1969	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3	個人蔵
5-9	羽永光利	《ブサイの部屋》	1969	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3	個人蔵
5-10	ホンマタカシ	《his room 2018》	2022 (撮影2018)	ラムダ・プリント	各67.0×42.5	作家蔵
5-11	長沼宏昌	《ブサイの部屋》	2022 (撮影2018)	インクジェット・プリント	48.4×32.9	作家蔵
5-12		「松澤有展」目録	1969	印刷、紙	15.3×10.5	個人蔵
5-13	瀧口修造	《失題 松澤有に》	1969	インク、紙	37.8×26.5	個人蔵
5-14	松澤有	《虚空間状況探知センターにて》	1969	シルクスクリーン、紙	47.8×31.6	個人蔵
5-15	撮影／中嶋興	松澤有ポートレート	1969	ゼラチン・シルバー・プリント	各25.4×20.6	個人蔵
5-16	松澤有	《消滅の織》	1969	墨、布	1700.0×90.0	個人蔵
5-17	松澤有 撮影／羽永光利	パフォーマンス《霧のブサイ函の中で《世界改造に関するブサイ本》を開く秘儀(無へ)》(「松澤有展」青木画廊、東京)	1969	-	-	個人蔵
5-18	松澤有 撮影／羽永光利	パフォーマンス《ブサイの3花嫁》(野中ユリ、堀見允枝子、宮脇愛子) (「松澤有展」青木画廊、東京)	1969	-	-	個人蔵
5-19	松澤有	《世界改造に関するブサイ本の周辺》	1963	ミクストメディア	サイズ可変	個人蔵
5-20	瀧口修造	《リパティ・パスポート (松澤有のために)》	1971	デカルコマニー、トレーシング ペーパー、紙	19.0×26.3 (見開き)	個人蔵
5-21	瀧口修造	《ブサイの髯のために》	1963	水彩、インク、紙	14.0×9.0	個人蔵
5-22	瀧口修造	《音会によせて》	1963	色鉛筆、紙	5.5×9.0	個人蔵
5-23	撮影／羽永光利	瀧口修造と松澤有 (「第10回現代日本美術展—人間と自然—」東京都美術館、東京)	1971	-	-	個人蔵
5-24		瀧口作品と松澤	撮影年不詳	-	-	個人蔵
5-25	瀧口修造	《音会に寄せる》	1971	パينت・ドローイング、水彩、 コラージュ、紙	26.5×26.3	個人蔵
5-26	松澤有	《瀧口修造に捧げる観念絵画》	1979	印刷、紙	25.6×25.6	個人蔵
5-27	撮影／池田龍雄	瀧口修造3周忌の墓前に供えられた《Nine Mandalas》	1982	-	-	個人蔵
6-1	松澤有 撮影／長澤章生	パフォーマンス(22分22秒) (軽井沢セゾン現代美術館、長野)	2001.9.4.	シングル・チャンネル・ヴィデオ、 カラー、モノラル	22' 22"	個人蔵
6-2	松澤有	《ψ最後の旅へ》	制作年不詳	ペン、セロハン、マチ針	34.0×15.5	個人蔵
参考出品1		「RATI の会」入会申込書	1951頃	印刷、紙	19.4×9.2	個人蔵
参考出品2	安齊重男	松澤有(サプリメント・ギャラリー、東京)1982/10/9	1982.10.9	ゼラチン・シルバー・プリント	25.0×23.5	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品3	安齊重男	松澤有(サプリメント・ギャラリー、東京)1982/10/9	1982.10.9	ゼラチン・シルバー・プリント	28.6×24.5	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品4		「人間復興を求めて—ものをつくらない作家たちニルヴァーナ展 取材記」(「美術手帖」1970年1月号)	1971	冊子	-	個人蔵
参考出品5	撮影／松澤久美子	ギルバート&ジョージと松澤有	1971	-	-	個人蔵
参考出品6		「キャタストロフィー・アートに関係して」 (「現代詩手帖」1972 年11月号)	1972	冊子	-	個人蔵
参考出品7		「カタストロフィー・アート」(「美術手帖」1973年3月号)	1973	冊子	-	個人蔵
参考出品8		「第一回世界蜂起」(「美術手帖」1972年11月号)	1972	冊子	-	個人蔵
参考出品9		「世界蜂起1972-73」(「芸術倶楽部」1974年4月号)	1974	冊子	-	個人蔵
参考出品10	安齊重男	松澤有「70年代の日本——抗争から内なる葛藤へ」 (世田谷美術館、東京)	1993.3.17	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3×22.5	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品11	安齊重男	松澤有「戦後文化の軌跡 1945-1995」(目黒区美術館、東京)	1995.4.18	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3×24.3	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品12	安齊重男	松澤有「七人のイタリア作家と七人の日本作家——新しい認識へ の方法・美術への今日展」(イタリア文化会館、東京)	1976.11.23	ゼラチン・シルバー・プリント	23.2×30.1	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品13	安齊重男	松澤有「70年代の日本——抗争から内なる葛藤へ」 (世田谷美術館、東京)	1993.3.17	ゼラチン・シルバー・プリント	29.3×22.5	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品14	安齊重男	松澤有「戦後文化の軌跡 1945-1995」(目黒区美術館、東京)	1995.4.18	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5×24.0	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品15	安齊重男	松澤有、磯辺行久、水上央子(セゾン(青山)、東京)	2001.8.21	ゼラチン・シルバー・プリント	29.5×21.2	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品16	長沼宏昌	《PSI-ROOM 2018 ブサイの部屋》	2018	シングル・チャンネル・ヴィデオ、 カラー、モノラル	11'27"	作家蔵
参考出品17	安齊重男	松澤有(作家スタジオ、長野)	2001.7.7	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.6	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品18	安齊重男	松澤有(作家スタジオ、長野)	2001.7.7	ゼラチン・シルバー・プリント	35.6×43.0	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品19	安齊重男	松澤有(作家スタジオ、長野)	1978.9.15	ゼラチン・シルバー・プリント	24.1×32.5	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品20		松澤有(作家スタジオ、長野)	1978.9.15	ゼラチン・シルバー・プリント	23.1×31.5	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品21	安齊重男	松澤有(作家スタジオ、長野)	2001.7.7.	ゼラチン・シルバー・プリント	28.0×24.0	国立新美術館・ ANZAI フォトアー カイブ
参考出品22		『みつゑ』775	1969.8	冊子	-	個人蔵
参考出品23		『機関』113(松澤有 特集)	1982.9.	冊子	-	個人蔵

オープンギャラリー展示

美術館のある街・記憶・風景 「日常記憶地図」で見る50年

美術館を取り巻く社会に美術を介して積極的に関わる場である「オープンギャラリー」に、言語化や媒介的なコミュニケーションをテーマとする表現活動を行い、「日常記憶地図」というメソッドを展開するサトウアヤコを招へいた。

作品《日常記憶地図 長野編1950s-2020》では、美術館周辺地域に住み、年代もバラバラな9名の1950年代から2000年代までの、その人を通して見た街の記憶が並んだ。これは、「日常記憶地図」によって集められた語りの中から、サトウが注意深く場所の記憶だけを取り出したもの。各人の記憶の多くは、「善光寺」「城山公園」「権堂」など同じ場所について語られていて、読み進めるうちに、サトウが「日常記憶地図」を行った後、語りの中に出てきた場所を実際に訪ね歩く様を追体験し、歴史書にも載っていない、自分だけのこの街の姿を思い描くことができる。会場で想起された場所や風景の記憶についてカードに記入し、それを読むことができる《あなたの場所の記憶》という作品も同時に展示。

■会期

令和3年4月10日(土)から6月27日(日)
(69日間)

■会場

長野県立美術館(オープンギャラリー)

■主催等

(主催)長野県、長野県立美術館
(アーティスト)サトウアヤコ
(展示・グラフィックデザイン)高橋静香
(協力)日常記憶地図インタビューにご協力いただいた皆さま、小林竜太郎
(写真提供)長野市公文書館、清水隆史、内山温那、山口高治郎
(地図提供)昭文社、塔文社

■観覧料

無料

■作品リスト

《日常記憶地図 長野編 1950s-2020》2021年
《あなたの場所の記憶》2021年

■イベント

①アーティストトーク

日時：5月22日(土)13:30~15:00

講師：サトウアヤコ

場所：交流スペース

参加人数：18人

②「日常記憶地図」ワークショップ

講師：サトウアヤコ

場所：レセプションルーム

○長野市街地対象

日時：5月23日(日)13:30~16:30

参加人数：5人

○長野市街地以外対象

日時：6月12日(土)13:30~16:30

参加人数：5人

■担当学芸員 霜田英子、竹花藍子



■展示風景



■イベント風景



5月22日 アーティスト・トーク

5月23日 ワークショップ

6月12日 ワークショップ

オープンギャラリー展示

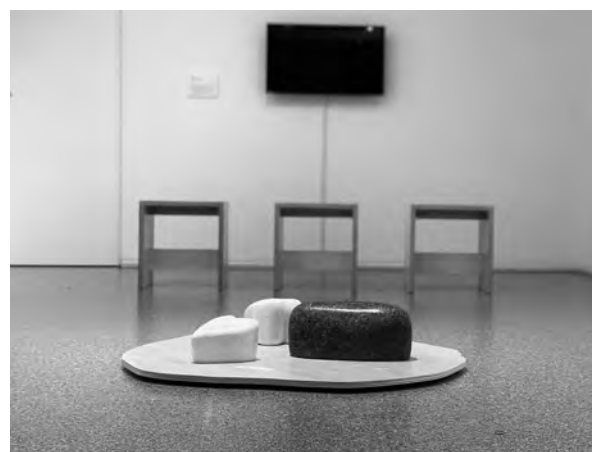
長野県立美術館 2021年度オープンギャラリー夏季展示

富長敦也 Love Stone Project-Nagano

県立美術館の建設工事の際、地上からおよそ6メートル掘ったあたりで、直径2メートル、高さ1.5メートル程度の3つの巨石が出てきたことから、彫刻家・富長敦也による「Love Stone Project-Nagano」が始まった。本館1階交流スペース外に設置した石は、2021年5月より来館者とともにヤスリで磨かれ、その姿を変えていった。

本展では、3つの巨石の発掘から、来館者とともに石を磨く「石磨きワークショップ」の開催にいたるまでの経過を振り返るとともに、富長が日本国内はもとより、世界を旅して、その土地で出会う人々と一緒に石を磨くプロジェクト「Love Stone Project」を紹介した。

- 会期 令和3年7月1日(木)から7月27日(火)
(24日間)
- 会場 長野県立美術館(オープンギャラリー)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館
- 観覧料 無料
- イベント Love Stone Project-Nagano
石磨きワークショップ
5月～10月の土日開催(計18日間)／参加費：無料／
参加人数：約1,800人
- 担当学芸員 青山由貴枝、塚本かな恵



No.	石の種類	産地	Love Stone Project 開催場所	寸法(cm)
1	能勢黒御影石	大阪府	大阪府池田市	15×32×21cm
2	大理石	イタリア	ギャラリーー總堂	10.5×16×17cm
3	大理石	イタリア	大阪府豊中市	6×22×17.5cm

No.	作品名	作者／編集者	制作年	素材	サイズ
4	じゃがいも通信	富長敦也／須賀亮平	2021年	ビデオ(カラー、サウンド)	25分1秒
5	Love Stone Project タイムラプス動画 (巨石発掘～石磨きまで)	富長敦也／長野県立美術館	2021年	ビデオ(カラー)	-

Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ

彫刻家・富長敦也が土と石が混ざり合った「皮」の部分を電動ヤスリ機等で削った後、本館1階交流スペース外に設置され、2021年5月から来館者とともにダイヤモンドペーパー（やすり）で磨いていく。

作家の制作を見るだけでなく、来館者が作家と一緒に石に触れて制作に参加することのできるプロジェクトを通して、石や人、美術館との出会いを提供した。

参加者：1801

No.	開催日	開催時間	ヤスリ番数	参加者数
1	5/1	10:00～15:00	80番	90
2	5/2	10:00～15:00	80番	102
3	5/3	10:00～15:00	80番	135
4	5/4	10:00～15:00	80番	164
5	5/5	10:00～15:00	80番	159
6	5/29	10:00～15:00	200番	131
7	5/30	10:00～15:00	200番	141
8	6/3	9:30～10:00	200番	5
9	6/13	16:00～17:00	200番	6
10	6/18	16:00～17:00	200番	3
11	6/26	10:00～15:00	400番	116
12	6/27	10:00～15:00	400番	120
13	7/17	10:00～14:00	800番	52
14	7/18	10:00～12:00	800番	31
15	7/19	10:00～12:00	800番	34
16	7/22	10:00～12:00	800番	50
17	7/23	10:00～12:00	800番	54
18	7/24	10:00～12:00	800番	61
19	7/25	10:00～12:00	800番	85
20	10/30	10:00～15:00	1500番	139
21	10/31	10:00～15:00	1500番	123

※6/3(木)は学校団体見学プログラムとして、6/13(日)・6/18(金)はアート・コミュニケータが石磨きをおこなった。

※新型コロナウイルス感染拡大防止策として、当日整理券制にて開催し、時間を20分間に区切ったうえで、1つの石に1組の参加とした。また、8/28(土)・29(日)、9/25(土)・26(日)は感染拡大により中止した。



オープンギャラリー展示

長野県立美術館 2021年度オープンギャラリー夏季展示

小松美羽 2021夏—祈りと交感—

埴科郡坂城町出身の若手芸術家・小松美羽(1984～)による作品を紹介した。

展示作品：13点＋ライブペインティング映像

小松美羽：長野県埴科郡坂城町生まれ。2004年女子美術大学短期大学部卒業。銅版画やアクリル画を手掛ける。2014年出雲大社に作品を奉納。翌年、「チェルシーフラワーショー」(ロンドン)に石原和幸(庭園デザイナー)とコラボで出品した有田焼狛犬作品が大英博物館へ収蔵される。2019年ヴェネチアビエンナーレ・シネマ部門にて台湾の HTC とコラボした VR 作品がノミネート。近年は東京と信州を拠点にアジア各国で個展、ライブペインティングを行い多方面の活動を展開している。

- 会期 令和3年7月29日(木)から8月24日(火)
(25日間)
- 会場 長野県立美術館(オープンギャラリー)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館、NBS 長野放送
- 入館者数 15,671名(無料)
- イベント ①ライブペインティング
日時：7月25日(日)14:00～15:30 / 場所：ホール / 参加人数：70人
②番組制作
放映日時：8月7日(土)10:45～11:15
「ふるさとを想い 世界に羽ばたく ～現代アーティスト 小松美羽～」
- 担当学芸員 霜田英子、茂原奈保子



2021 夏—祈りと交感—

小松美羽

2021.7.29[木] 8.24[火]

開館時間 9:00～17:00 休館日 毎週水曜日

入場無料

長野県立美術館
1F オープンギャラリー

〒380-0803 長野市森田本1-4-4 (美光会館内)

TEL 026-232-0052 <https://nagano.ac.museum>

主催 長野県、長野県立美術館、NBS 長野放送

No.	作品名	制作年	材料・技法	寸法(cm)
1	Pray for Prosperity 一幸せに生まれ、幸せに栄えるー	2016	アクリル・カンヴァス	162.0×130.0
2	灯し続け、歩き続け	2016	和紙・アクリル・墨・箔	100.5×190.0
3	生死	2005	紙、銅版画	99.5×60.0
4	覽死	2005	紙、銅版画	99.0×60.0
5	天地の守護獣 天地	2016	有田焼	(天)30.0×18.0×35.0 (地)32.0×21.0×35.0
6	四十九日	2005	紙、銅版画	50.0×80.0
7	炎暑厳寒の門番を守護する三頭	2021	アクリル・カンヴァス	194.2×259.4
8	ここが私のアナザースカイ 伊勢出雲	2021	アクリル・カンヴァス	73.0×60.7
9	宇宙と地球の調和を祈る	2021	アクリル・金箔・カンヴァス	194.5×259.5
10	地球と天の精粹を祈る	2021	アクリル・銀箔・カンヴァス	194.5×259.5
11	息吹の答え	2021	アクリル・金泥・カンヴァス	116.7×90.9
12	一対で一体の拒魔犬	2021	アクリル・金箔・カンヴァス アクリル・銀箔・カンヴァス	各70.8×60.8(2点1組)
13	ライブペインティング作品	2021	アクリル・カンヴァス ほか	各194.0×130.3(3点1組)

オープンギャラリー展示

長野県立美術館 2021年度オープンギャラリー夏季展示

中谷芙二子 Dynamic Earth

当館に常設された《霧の彫刻》を顕彰して、「霧のアーティスト」であり日本におけるビデオ・アートの先駆者として知られる中谷芙二子(1933-)の活動を紹介した。中谷は、1970年の大阪万博において初めて人口の霧でペプシ館のドーム全体を覆う「霧の彫刻」を発表して以来、環境によって変化する霧を用いた美術作品の制作に取り組んできた。その一方で、1972年に山口勝弘、かわなかのぶひろら有志と実験的映像グループである「ビデオひろば」を結成。1980年には原宿にビデオ・アート専門の「ビデオギャラリー SCAN」を開設するなど、日本のビデオ・アート界において重要な位置を占めてきた。本展では、これまでに制作された霧作品の記録映像と当館の常設する「霧の彫刻」の紹介に加え、中谷の初期作品と略年譜を展観し、その実践的な活動を概観していただく機会とした。

- 会期 令和3年8月27日(金)から10月3日(日)
(33日間)
※新型コロナウイルス感染拡大防止強化策に伴い、9月3日(金)から9月12日(日)臨時休館した。
- 会場 長野県立美術館(オープンギャラリー)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館
(協力)株式会社プロセスアート
- 観覧料 無料
- 入館者数 4,717人
- 担当学芸員 茂原奈保子、霜田英子、古家満葉
- リーフレット(主要目次)
 - ・「霧の彫刻 #47610 -Dynamic Earth Series I-」作品コンセプト
 - ・展示作品解説
 - ・《霧の彫刻》コンセプト
 - ・《霧の彫刻》常設作品リスト



No.	作品名	作者名	制作年	素材	サイズ	クレジット
1	卵の静力学	中谷芙二子	1973年	シングルチャンネル・ビデオ (モノクロ、サウンド)	11分	音楽：タージ・マハル旅行団
2	《霧の森》霧環境 #47660 ビデオ映像	-	1992年	シングルチャンネル・ビデオ (カラー、サウンド)	9分45秒	撮影：中谷芙二子
3	中谷芙二子《霧の彫刻》 + 田中泯「場踊り」	太田信吾	2021年	シングルチャンネル・ビデオ (カラー、サウンド)	18分39秒	映像ディレクション・撮影・編集：太田信吾 音楽：内橋和久「敦賀 verX」(KAAT 神奈川芸術劇場 プロデュース「未練の幽霊と怪物-挫波/敦賀-」 作・演出：岡田利規より) 撮影：与那覇政之、鈴木宏侑 制作：氏原大輔(Noble Savage) 制作応援：落合諒磨 協力：野村政之(長野県文化振興コーディネーター) 田中正史、霜田英子、松井正、古家満葉、茂原奈保子(以上、長野県立美術館)

公開制作 vol.1 源馬菜穂 絵とつながり

公開制作は、作家が一定期間美術館に通い、作品を制作の様子を公開し、作品展示を行う企画である。当館の新築オープンを機に新たに設けられた「オープンギャラリー」にて実施するプログラムとして今年度から新たに始まった。

初回となった今年度は、県内岡谷市を拠点とするペインターの源馬菜穂（1984-）を招聘した。会期を前半の制作期間、後半の展示期間に分け、それぞれの期間中に一回ずつイベントを開催した。

制作期間中、オープンギャラリーには作家が普段使用している画材や道具、什器等を持ち込みアトリエを設け、10日間にわたって滞在制作を行った。期間中は制作に集中できるように、来館者はガラス越しに作家の制作の様子を見学することを原則としたため、イベント「オープンアトリエ」ではアトリエを開放し、制作風景や作品をより近くで鑑賞したり、作家と交流したりすることができる機会を設けた。

後半の展示期間では、前半に制作した未完成の作品に加え、過去作品とアトリエの一部をあわせて展示した。制作中の作品と完成作品、そして制作に用いる道具を同時に紹介することで、来館者に作品をより深く理解していただくことを目指した。また展示期間中のイベントとして、作家のデモンストレーションのもと、水彩絵具で参加者の好きな風景を描くワークショップを開催した。参加者に作家の制作の手法を伝えることで、作家の視点（風景のとらえ方や絵具の扱い方など）を踏まえた作品制作を体験していただく機会となった。

- 会期 令和3年10月9日（土）から12月19日（日）
（63日間）
制作期間：10月9日（土）から11月23日（火・祝）
展示期間：11月27日（土）から12月19日（日）
- 会場 長野県立美術館（オープンギャラリー）
- 主催等 （主催）長野県、長野県立美術館
- 観覧料 無料
- 入館者数 13,089人
- イベント ①オープンアトリエ
日時：11月7日（日）13:30～15:30／参加人数：30人／場所：オープンギャラリー
②ワークショップ「水彩絵具であなたの好きな風景を描き、グリーティングカードを作ろう」
日時：12月5日（日）(1) 10:00～12:00 (2) 14:00～16:00／講師：源馬菜穂
／参加人数：(1) 11人 (2) 8人／場所：レセプションルーム
- 担当学芸員 茂原奈保子、霜田英子



制作風景



展示風景



11月7日 オープン・アトリエ



12月5日 ワークショップ

展示期間：展示作品リスト

1	公開制作の制作期間中(10月9日から11月23日)に制作した作品13点 ※完成前の状態			
以下、過去作品				
No.	作品名	制作年	素材	サイズ(mm)
2	散歩(秋)	2018	卵テンペラ絵具、色鉛筆、紙	シート：300×250
3	湿原	2020(2021加筆)	卵テンペラ絵具、油絵具、オイルパステル、カンヴァス	910×717
4	夜(緑の庭)	2020	卵テンペラ絵具、カンヴァス	1000×800
5	原っぱ(春)	2021	油絵具、オイルパステル、紙	シート：170×140
6	色づき(遊び)	2021	卵テンペラ絵具、パステル、紙	シート：480×370
7	日々Ⅰ	2021	卵テンペラ絵具、パステル、紙	シート：110×110
8	日々Ⅱ	2021	卵テンペラ絵具、パステル、紙	シート：125×125
9	散歩(夏から秋)	2021	卵テンペラ絵具、パステル、紙	シート：330×210
10	untitled	2021	卵テンペラ絵具、パステル、紙	シート：500×375
11	ゆくえ	2021	卵テンペラ絵具、パステル、カンヴァス	180×140
12	揺れる	2013-2021	卵テンペラ絵具、カンヴァス	227×158
13	秋	2021	卵テンペラ絵具、パステル、紙	シート：350×220
14	庭と音楽	2021	卵テンペラ絵具、パステル、紙	シート：450×330
15	日の終わりⅡ	2021	卵テンペラ絵具、オイルパステル、カンヴァス	460×335
16	日の終わりⅠ	2021	卵テンペラ絵具、油絵具、オイルパステル、カンヴァス	410×320
17	詩	2021	卵テンペラ絵具、パステル、紙	シート：275×195
18	花(チューリップ)	2021	卵テンペラ絵具、オイルパステル、カンヴァス	273×220
19	春の庭(スマイル)	2021	卵テンペラ絵具、油絵具、オイルパステル、紙	シート：250×215
20	音楽	2021	卵テンペラ絵具、パステル、オイルパステル、紙	シート：330×210

オープンギャラリー展示

長野県内アートプロジェクトアーカイヴス vol.1

木曽ペインティングス「木曽馬に引かれて善光寺」

長野県内アートプロジェクトアーカイヴスは、県内のアート活動の活況を紹介することを目的に今年度から新たに始まったプログラムである。

初回となった今年度は、2017年から木曽地域で実践されているアートプロジェクト「木曽ペインティングス」を取り上げた。同アートプロジェクトにて過去に開催された芸術祭の作品とアーカイヴ資料の展示に加え、中長期的なプロジェクトや次年度以降の計画について、写真や動画によって紹介した。木曽地域は長野県立美術館が位置する長野市から100kmほど南方に位置しているため、普段は現地に足を運ぶことが難しい方に活動を知っていただく機会となった。

- 会期 令和4年1月8日(土)から3月29日(火) (71日間)
- 会場 長野県立美術館 (オープンギャラリー)
- 主催等 (主催) 長野県、長野県立美術館
(協力) 木曽ペインティングス実行委員会
- 観覧料 無料
- イベント
「木祖村キャラバン 新春！ステージ！木祖村スタアはどこまでも」
同時開催：「こども獅子舞い」映像上映
日時：1月9日(日) 14:00～15:30 / 参加人数：50人／
場所：交流スペース
※2/26(土)に開催を予定していたアーティストトーク(登壇予定：岩熊力也(木曽ペインティングス代表、美術家)、近藤太郎(木曽在住アーティスト)、巢山和寛(住民代表、スタア)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
- 入館者数 8,325人
- 担当学芸員 茂原奈保子、霜田英子



展示風景



イベント風景

展示作品・資料リスト

	作品名	作家名	制作年	素材	サイズ
vol.1 宿場町と旅人とアートの至福な関係					
1	旗挙げプロジェクト	撮影・編集：山本聖子	2017	映像	2分55秒
2	のぼり旗	木曽町中学1年生	2021	-	-
3	コラボポスター	菊地風起人×地域の商店	2017	-	-
vol.2 けものみち					
4	木蘇皮プロジェクトパネル1	木蘇皮プロジェクト	2018	猪・鹿の毛皮、猪から作った膠(にかわ)、猪・鹿から作った墨、猪・狸・鹿の毛で作った筆	-
5	筆	木蘇皮プロジェクト	2018	狸の毛	-
6	コラボポスター	岩熊力也×地域の商店	2018	-	-
7	コラボポスター	菊地風起人×地域の商店	2018	-	-
8	木蘇皮プロジェクトパネル2	木蘇皮プロジェクト	2018	-	-
9	自然農勉強会パネル	木蘇皮プロジェクト	2020	-	-
10	鹿骨山水	岩熊力也	2018	鹿の頭蓋骨、墨	18.0×22.5×10.0cm
11	鹿骨山水	岩熊力也	2018	鹿の頭蓋骨、墨	10.5×22.8×11.0cm
12	猪骨山水	岩熊力也	2018	猪の頭蓋骨、墨	15.0×25.0×10.0cm
13	猪骨山水	岩熊力也	2018	猪の頭蓋骨、墨	13.5×20.5×9.0cm
vol.3 夜明けの家					
14	「藪画家」の旗	-	2019	-	17.8×63.5×12.0cm
15	「藪画家」の看板	-	2019	ヒノキ	34.5×20.0×16.8cm
16	ツバメ屋号看板	-	2019	-	79.0×57.0×2.5cm
vol.4 村のオハナシ					
17	境峠を登る	澤頭修自	1962	RC ペーパー、インクジェットプリント	54.0×43.0cm
18	山間の集落	澤頭修自	1964	RC ペーパー、インクジェットプリント	54.0×43.0cm
19	集団下校	澤頭修自	1962	RC ペーパー、インクジェットプリント	43.0×54.0cm
20	藪原祭り	澤頭修自	1978	RC ペーパー、インクジェットプリント	43.0×54.0cm
21	『水ぬるむころー奥木曽の少年時代』	著：澤頭修自 出版：信濃教育会出版部	2000	-	-
中長期プロジェクト					
22	スタア誕生プロジェクトミュージックビデオ	作詞・作曲：岩熊力也 撮影・編集：岩熊力也	2020	映像	45分12秒
23	木祖村ブルース 藪原編	作詞・作曲：菊地風起人 撮影・編集：岩熊力也	2020	映像	7分21秒
木祖村スタア誕生プロジェクトポスター					
24	ダーリン	-	-	-	-
25	スライディングベイビー	-	-	-	-
26	麻美の列車は止まらない	-	-	-	-
27	ふんわりキッス	-	-	-	-
28	世界の終わりとコーヒーと	-	-	-	-
29	ウィークデイスター	-	-	-	-
30	シビレル	-	-	-	-
31	発芽と腐敗	-	-	-	-
32	文明の残りかす	-	-	-	-
vol.5 三時の光／千年のすみか					
33	木曽の人々	岩熊力也	2021	ブラダン、天竺綿布、サイアノタイプ	-
34	木曽の人々	とびだせ！木曽町中3年生！ with 義家麻美	2021	ブラダン、クラフト紙、アクリル、水彩、色紙、ラッカースプレー、その他	-
35	木曽の人々	義家麻美	2021	ブラダン、クラフト紙、油性ペン、ボスカ	-
36	木曽の人々	河面理栄	2021	ブラダン、クラフト紙、アクリル	-
37	ヤングマン(裸バージョン)	菊地風起人	2021	ブラダン、クラフト紙、アクリル	-
38	三時の光と場	裕雅 JV(浅井裕雄、橋本雅好、齋藤あずさ、中村実希、川北明莉、近藤有香、曽根彩希)	2021	木曽地域の古民家の建具、写真	220×300×300cm
39	のぼり旗	木曽地域の人々、 芸術祭参加アーティスト	2021 / 2017	-	-
40	灯籠	木祖小学校3・6年生	2021	シルクスクリーン、他	-

アートラボ2021第Ⅰ期

光島貴之展 でこ・ぼこ・ながの

2021年度の第Ⅰ期展覧会では、光島貴之を紹介した。

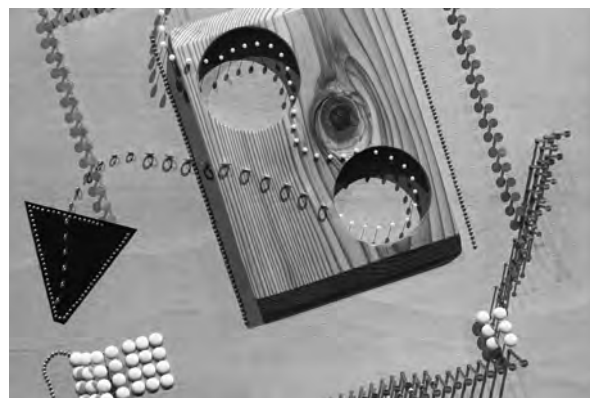
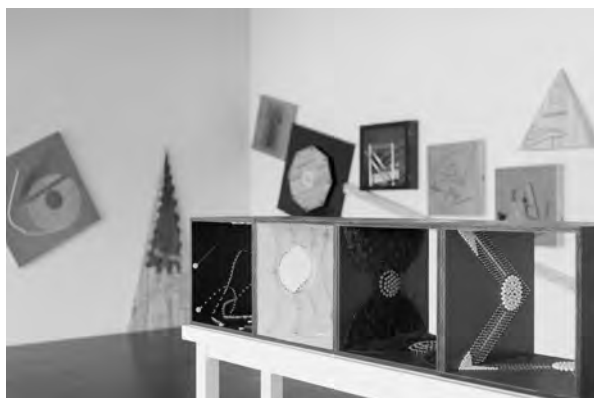
2019年にアートラボで展示するためのふれる美術作品の依頼を受けた光島は、2度長野への取材旅行を実施。建築中の美術館や善光寺の他、周辺の商店や喫茶店、協会などを訪れ、戸隠にも足を延ばし作品を制作した。全盲である作家が手のひらや足の裏で、音や風で感じた長野の風景を、作品を通して体験し、視覚以外の感覚も使った鑑賞を来場者へ提供した。

- 会期 令和3年8月28日(土)から10月26日(火)
※新型コロナウイルス感染拡大により、次のとおり会期を変更して開催した。
令和3年10月8日(金)から令和4年1月11日(火)(77日間)
※新型コロナウイルス感染拡大により、1月11日はアートラボを休室とした。
- 会場 長野県立美術館(アートラボ)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館
- 観覧料 無料
- 入館者数 1,441人
- 担当学芸員 青山由貴枝

	作品名	制作年	素材	サイズ(mm)
1	まち歩き—善光寺参道から信濃美術館へ	2021	木製パネル、ミクストメディア	200×1020×17
2	触覚でめぐる360度	2021	木製パネル、ミクストメディア	40×40×160



光島貴之「まち歩き—善光寺参道から信濃美術館へ」撮影 Shinichi Kanai



アートラボ2021第Ⅱ期

西村陽平展 彫刻を見ると、耳を澄ます

2021年度の第Ⅱ期展覧会では、西村陽平を紹介した。

西村は、「見えていても、触らなければわからないもの」を主題とし、身近にあったものに、焼成という陶芸のプロセスを加えることで、形を変え、素材の違いを際立たせる作品を制作した。視覚ではわからなかった作品の温度や質感、素材の新しい肌触りを体験する機会を提供した。

- 会期 令和4年1月15日(土)から4月19日(火)
※新型コロナウイルス感染拡大により、次のとおり会期を変更し、触れずに鑑賞する展覧会として開催した。
令和4年3月11日(金)から令和4年7月26日(火)
- 会場 長野県立美術館(アートラボ)
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館
- 観覧料 無料
- 入館者数 890人(3月11日から3月31日まで)
- 担当学芸員 青山由貴枝

	作品名	制作年	素材	サイズ(mm)
1	缶コーヒー	2021	アルミ缶、アルミ板	32.4×30.5×1.5
2	缶ビール	2021	アルミ缶、アルミ板	32.5×30.5×1.8
3	ペットボトル1	2021	ペットボトル、鉛	40.3×32.5×3.1
4	ペットボトル2(タカラ本みりん)	2021	ペットボトル、鉛	53.2×45.4×4.1
5	彫刻に耳を澄ます	2021	粘土、電球、ラジオ	83×43×43、 86×44×44(2点1組)
6	カップと石の関係一溶ける石	2021	石、カップ	39.8×32.5×17.9
7	カップと石の関係一叫ぶ石	2021	石、カップ	28.3×26.4×19.5



アートラボ2021第Ⅱ期
西村陽平展
彫刻を見ると、耳を澄ます

長野県立美術館名品選 第Ⅰ期

今年度は「名品選」と称して、収蔵品の中から選りすぐりの作品約140点を三期にわたって展示した。洋画、日本画、工芸等様々なジャンルの「名品」たちが一堂に会するまたとない機会となった。

第Ⅰ期は、グランドオープン後最初のコレクション展を祝して、当館の言わば「顔」となる43点が並ぶ内容となった。日本画の大家、菱田春草の《羅浮仙》や日本における洋画の先駆的存在である川上冬崖の《ナポレオン》といった、県内出身作家の作品は勿論のこと、河野通勢《裾花川の河柳》、川瀬巴水《木曾の須原》等信州の風景を捉えた作品も紹介した。

- 会期 令和3年8月28日(土)から10月26日(火)
(43日間)
※新型コロナウイルス感染拡大防止強化策に伴い、9月3日(金)から9月12日(日)臨時休館した。
- 会場 長野県立美術館(コレクション展示室)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生・75歳以上500(400)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 18,164人(有料:12,834人 無料:5,330人)
- イベント ギャラリートーク／8月28日(土)新型コロナウイルス感染拡大により中止／9月18日(土)新型コロナウイルス感染拡大により中止／10月16日(土)※参加人数:7人
※手話通訳付き
- 担当学芸員 池田淳史



No.	作者	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室1					
1	川上冬崖	ナポレオン	不詳	水彩・紙	60.4×58.2
2	岡村政子	鼓の少女	1890(明治23)年	石版・紙	42.0×32.5
3	中村不折	西洋婦人像	1904(明治37)年頃	油彩・カンヴァス	80.4×53.9
4	河野通勢	裾花川の河柳	1915(大正4)年	油彩・カンヴァス	91.0×116.7
5	満谷国四郎	野尻湖	1919(大正8)年	油彩・カンヴァス	60.6×72.8
6	石井柏亭	野尻湖	1954(昭和29)年	油彩・カンヴァス	60.6×72.7
7	白井文平	屋上のパーティ	1926(大正15)年	油彩・カンヴァス	117.3×147.5
8	神津港人	溪流三女人像	1930(昭和5)年	油彩・カンヴァス	130.0×97.0
9	島崎鶏二	弓	1940(昭和15)年	油彩・カンヴァス	193.5×105.0
10	中川紀元	散華	1962(昭和37)年	油彩・カンヴァス	144.0×90.9
11	荻原礫山	坑夫	1907(明治40)年	ブロンズ	46.3×45.2×35.4
12	中原悌二郎	若きカフカス人	1919(大正8)年	ブロンズ	42.0×20.2×23.5
13	瀬戸團治	静立	1961(昭和36)年	ブロンズ	177.0×39.5×37.5
14	小糸源太郎	山粧ふ	1956(昭和31)年	油彩・カンヴァス	85.0×99.5
15	梅原龍三郎	浅間山	1957(昭和32)年	油彩／グワッシュ・紙	72.2×90.9
16	小堀進	山	1961(昭和36)年	水彩・紙	65.0×104.0
17	不破章	木曾路の宿場(三留野)	1968(昭和43)年	水彩・紙	77.5×112.5
18	小山周次	松本城	1957(昭和32)年	水彩・紙	38.2×56.0

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室2					
19	池上秀畝	四季花鳥	1918(大正7)年	紙本・彩色、軸装	各239.4×103.5
20	矢沢弦月	新秋 山・里・海	1920(大正9)年	絹本・彩色、軸装	215.0×100.5 / 215.0×115.0 / 216.5×100.5
21	荒木十畝	木曾鞍馬橋図	1904(明治37)年	絹本・彩色、軸装	139.0×66.0
22	小坂芝田	深遠	1908(明治41)年	絹本・彩色、軸装	230.3×99.7
23	長井雲坪	秋山群猿図	1890(明治23)年	絹本・彩色、軸装	171.5×85.4
24	奥村土牛	白日(ひまわり)	1949(昭和24)年	絹本・彩色、額装	110.5×140.3
25	佐竹蓬平	莊周胡蝶夢	1804~1807 (文化元~4)年頃	絹本・彩色、軸装	126.2×45.3
26	西郷孤月	主の救い	1901(明治34)年頃	絹本・彩色、軸装	92.8×48.5
27	菱田春草	羅浮仙	1901(明治34)年頃	絹本・彩色、軸装	124.5×69.5
28	菊池契月	立女	1924(大正13)年	絹本・彩色、額装	154.5×170.5
29	江崎孝坪	手向け	1946(昭和21)年	紙本・彩色、額装	225.0×160.5
30	熊谷好博子	友禅染訪問着・海の譜	1980(昭和55)年	江戸友禅・絹	丈182.0 衿66.0
31	宮入行平	太刀	1970(昭和45)年	刀	刃長75.8
32	川村驥山	詠信州山水	1960(昭和35)年	紙本・墨書、額装	各140.0×70.0
33	北原三佳	鍍銅花瓶	1964(昭和39)年	鍍金	高30.0 径29.0
34	川瀬巴水	木曾の須原(『日本風景選集』より)	1925(大正14)年	木版・紙	20.8×28.5
35	伊東深水	浅間山麓の春(『信濃十景』より)	1948(昭和23)年	木版・紙	25.0×36.0
36	池田満寿夫	化粧する女	1964(昭和39)年	ドライポイント・ルーレット・エッチング・紙	36.2×33.5
37	ハリー・K. シゲタ	渦巻	1930(昭和5)年	モノクロームプリント	50.5×34.6
38	村山槐多	猫を抱ける裸婦	1916(大正5)年	木炭・紙	61.4×46.5
39	松本竣介	ニコライ堂	1941(昭和16)年	鉛筆・木炭・紙	38.0×45.4
40	野見山暁治	もっとと遠くへ行こう	2016(平成28)年	油彩・カンヴァス	各163.0×180.0
41	草間彌生	No. PZ	1960(昭和35)年	油彩・カンヴァス	269.2×177.8
42	藤松博	人	1962(昭和37)年	油彩・カンヴァス	160.0×130.9
43	滝沢具幸	アラベスク	1988(昭和63)年	紙本・彩色、額装	206.0×264.0

長野県立美術館名品選 第II期

林俊衛《出獄の日の〇氏》や菊池契月《光明皇后》といった人物画の秀作、そして安井曾太郎、金山平三ら洋画の大家による秋冬の信州を描いた風景画を展示した。

- 会期 令和3年10月28日(木)から令和4年1月11日(火)
(59日間)
- 会場 長野県立美術館(コレクション展示室)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生・75歳以上500(400)円、
高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 40,395人(有料:28,641人 無料:11,754人)
- イベント ギャラリートーク／11月20日(土)参加人数:9人／
12月18日(土)※参加人数:8人
※手話通訳付き
- 担当学芸員 池田淳史



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室1					
1	川上冬崖	ヒポクラテス	不詳	紙本・墨画	38.0×28.0
2	林俊衛	出獄の日の〇氏	1919(大正8)年	油彩・カンヴァス	45.5×38.0
3	有島生馬	某氏像	1936(昭和11)年	油彩・カンヴァス	60.6×45.5
4	石井柏亭	画室小集	1949(昭和24)年	油彩・カンヴァス	110.7×160.8
5	清水多嘉示	ピラ・ファルギェール	1923~27 (大正12~昭和2)年頃	油彩・カンヴァス	65.2×50.0
6	金山平三	結氷	1931(昭和6)年	油彩・カンヴァス	60.8×91.0
7	倉田白羊	冬景色	1937(昭和12)年	油彩・カンヴァス	72.5×60.0
8	安井曾太郎	秋の霞沢岳	1938(昭和13)年	油彩・カンヴァス	53.7×69.0
9	中村善策	白秋	1972(昭和47)年	油彩・カンヴァス	112.1×145.5
10	小林和作	秋山(北アルプス山中)	1964(昭和39)年	油彩・カンヴァス	65.1×100.0
11	寺瀬黙山	律僧像	1920(大正9)年	木	117.5×34.0×38.3
12	菊池一雄	ギリシャの男	1937(昭和12)年	ブロンズ	32.5×17.3×22.0
13	中村七十	若き女	1936(昭和11)年	ブロンズ	160.5×48.0×32.0
14	向井潤吉	叢の中の家(戸隠中社にて)	1961(昭和36)年	油彩・カンヴァス	91.0×116.7
15	須山計一	遠山の湯立祭	1967(昭和42)年	油彩・カンヴァス	73.0×91.5
16	足立源一郎	春の穂高(長塙にて)	1960(昭和35)年頃	油彩・カンヴァス	50.0×60.7
17	辻永	凍解	1964(昭和39)年	油彩・カンヴァス	77.0×101.5
18	田村一男	暁色	1977(昭和52)年	油彩・カンヴァス	89.6×145.5

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室2					
19	鈴木芙蓉	冬夏花鳥	1790(寛政2)年	絹本・彩色、屏風 (六曲一双)	各155.5×349.5
20	富岡永洗	雪月花美人図	不詳	絹本・彩色、軸装 (三幅対)	各129.5×56.8
21	菊池契月	寂光院	1902(明治35)年	絹本・彩色、軸装	219.5×145.0
22	伊東深水	都鳥	1954(昭和29)年	絹本・彩色、額装	80.0×86.0
23	町田曲江	迦膩色迦王	1960(昭和35)年	絹本・彩色、額装	119.0×92.0
24	菊池契月	光明皇后	1944(昭和19)年	絹本・彩色、軸装	142.0×57.5
25	児玉果亭	深山大沢	1902(明治35)年	絹本・墨画、軸装	169.7×83.8
26	赤羽雪邦	米国風景	1914(大正3)年	絹本・彩色、軸装	140.8×60.3
27	山浦真雄	短刀	1850(嘉永3)年	刀	刃長25.0
28	杉浦非水	激爆を想ふ	1936(昭和11)年	紙本・彩色、額装	51.5×36.0
29	伊藤孝之	白馬山頂より立山遠望	1932(昭和7)年	木版・紙	23.9×36.5
30	河野通勢	被服廠	1923(大正12)年	銅版・紙	9.0×12.0
31	石井柏亭	木場	1914(大正3)年	木版・紙	24.0×17.5
32	池上秀畝	秋雨	1932(昭和7)年	絹本・彩色、額装	161.0×177.5
33	長谷川青澄	月(石山)	1990(平成2)年	紙本・彩色、額装	185.0×138.0
34	小山周次	南瓜と甘藷	1946(昭和21)年	水彩・紙	33.0×52.5
35	山本鼎	白菜と赤蕪	1937(昭和12)年	油彩・カンヴァス	38.0×45.3
36	戸張孤雁	女の面部	不詳	ブロンズ	19.5×16.5×10.1
37	戸張孤雁	箆笥の前(化粧)	1913(大正2)年	木版・紙	49.0×36.0
38	村山槐多	千曲川風景	1913(大正2)年	木炭・紙	45.3×60.4
39	関根正二	自画像	1916(大正5)年	インク・紙	27.0×21.0
40	曾宮一念	焼岳山頂	1963(昭和38)年	油彩・カンヴァス	60.6×90.9
41	小山敬三	紅浅間	1982(昭和57)年	水彩・紙	48.6×90.0
42	藤本東一良	上昇気流	1965(昭和40)年	油彩・カンヴァス	146.5×113.0
43	中島千波	白虹	1972(昭和47)年	紙本・彩色、額装	175.0×220.0
44	倉島重友	謳	1992(平成4)年	紙本・彩色、額装	170.0×214.5
45	松井康成	練上玻璃光大壺「輪廻転生」	2000(平成12)年	陶器	高37.6 径40.6
46	池田満寿夫	ブダベストからの自画像	1968(昭和43)年	リトグラフ・紙	57.2×46.0
47	オノサト・トシノブ	61-A	1961(昭和36)年	リトグラフ・紙	31.0×49.0

長野県立美術館名品選 第Ⅲ期

菱田春草《伏姫(常盤津)》や春草と横山大観、西郷孤月の合作など、日本美術院の精鋭たちの絵画が並んだ。また、荻原碌山、村山槐多ら夭折の芸術家たちによる、強烈な個性が発揮された作品も紹介した。

- 会期 令和4年1月13日(木)から3月15日(火)
(55日間)
- 会場 長野県立美術館(コレクション展示室)
- 観覧料 一般700(600)円、大学生・75歳以上500(400)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 20,933人(有料:16,052人 無料:4,881人)
- イベント ギャラリートーク／1月15日(土)新型コロナウイルス感染拡大により中止／2月19日(土)※新型コロナウイルス感染拡大により中止
※手話通訳付き
- 担当学芸員 池田淳史



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室1					
1	島霞谷	婦女図	1865~68(慶応元~4)年頃	油彩・布	50.9×39.2
2	川上冬崖	西画指南後篇図	1875(明治8)年	木版・紙	22.5×15.0
3	河野通勢	飛ぶ事を欲する人々	1915(大正4)年	インク・紙	19.0×29.0
4	須山計一	労働者	1930(昭和5)年	油彩・カンヴァス	116.7×91.0
5	矢崎重信	まりつき	1937(昭和12)年	油彩・カンヴァス	130.3×162.1
6	ルイス・ニシザワ	我が母の夢	1950(昭和25)年	混合技法・布・ファイバーボード	61.0×92.0
7	高田誠	湖畔秋色	1938(昭和13)年	油彩・カンヴァス	112.1×145.5
8	横井弘三	天工礼讃	1946(昭和21)年	油彩・紙・屏風(六曲一隻)	169.0×345.0
9	荻原碌山	女	1910(明治43)年	ブロンズ	98.5×49.0×50.0
10	石井鶴三	風 試作	不詳	ブロンズ	78.2×46.2×41.3
11	丸山晚霞	初夏の志賀高原	1909(明治42)年	水彩・紙	67.0×101.0
12	吉田博	有明山	1920(大正9)年	油彩・カンヴァス	各149.5×67.0
13	吉田博	剣山の朝 (『日本アルプス十二題』より)	1926(大正15)年	木版・紙	37.0×24.9
14	小山敬三	暮れゆく浅間	1968(昭和43)年	油彩・カンヴァス	145.5×97.0
15	中村直人	暁の浅間	1973(昭和48)年	グアッシュ・紙	112.1×145.8

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室2					
16	中村不折	高士図	不詳	絹本・彩色、屏風 (六曲一双)	各168.7×341.5
17	菱田春草	伏姫(常磐津)	1900(明治33)年	絹本・彩色、軸装	146.6×67.5
18	菱田春草／横山大観	乳糜供養・釈迦と魔女	1903(明治36)年頃	絹本・彩色、軸装(対幅)	各132.5×55.8
19	西郷孤月／菱田春草 ／横山大観	月夜山水	1901(明治34)年頃	絹本・彩色、軸装	129.5×53.0
20	西郷孤月	月下飛鷺	1901(明治34)年頃	絹本・彩色、軸装	123.7×48.2
21	木村武山	慈母観世音	1930(昭和5)年	絹本・彩色、軸装	186.5×85.0
22	菱田春草	老子	1893(明治26)年	紙本・彩色、額装	93.3×135.7
23	伊東深水	御代田の春	1948(昭和23)年	絹本・彩色、軸装	60.0×72.0
24	仲村進	山紫満水	1994(平成6)年	紙本・彩色、屏風 (六曲一双)	各169.5×374.0
25	川舩水棹	日蓮	1942(昭和17)年	紙本・彩色、額装	174.2×167.1
26	白鳥映雪	浄粧	1948(昭和23)年	紙本・彩色、額装	141.5×119.2
27	笠松紫浪	花吹雪(上林温泉)	1939(昭和14)年	木版・紙	24.0×36.1
28	藤島武二	杏花	1933(昭和8)年	油彩・カンヴァス	45.5×53.1
29	刑部人	娥捨枝垂桜	1977(昭和52)年	油彩・カンヴァス	80.5×100.0
30	中村琢二	伊那谷の春	1979(昭和54)年	油彩・カンヴァス	91.0×117.0
31	村山槐多	田端の崖	1914(大正3)年	水彩・紙	35.0×25.6
32	村山槐多	尿する裸僧	1915(大正4)年	油彩・カンヴァス	80.3×60.6
33	石井鶴三	村山槐多デスマスク	1919(大正8)年	ブロンズ	27.5×21.0×13.0
34	野田英夫	汽車のある風景	1937(昭和12)年	油彩・カンヴァス	44.5×37.8
35	白井文平	ウッドストックの国吉家	1934(昭和9)年	油彩・カンヴァス	56.0×76.8
36	高橋節郎	赤いカーテン	不詳	漆	71.4×59.2
37	小口正二	夜明けの譜	1992(平成4)年	彫漆	80.2×65.3
38	比田井天来	唐詩六首屏風	1931(昭和6)年	紙本・墨書、屏風 (六曲一双)	各193.4×372.0
39	杉田禾堂	青銅三足香炉	1955(昭和30)年	鍍金	高14.0 径11.0
40	松井康成	三層象裂瓷大鉢「白い炎」	1977(昭和52)年	陶芸	高27.5 径38.5
41	池田満寿夫	真昼の人々	1955(昭和30)年	油彩・カンヴァス	88.4×117.0
42	池田満寿夫	女・動物たち	1960(昭和35)年	ドライポイント／ アクアチント・紙	23.7×18.0

第Ⅰ期

《緑響く》と《水辺の朝》、《山霊》や《春兆》、《静かな町》を中心に、「京洛四季」シリーズの習作15点、ドイツ・オーストリア旅行で心惹かれた「窓」をテーマにした小品の連作スケッチを紹介した。

- 会期 令和3年4月15日(木)から6月1日(火)
(42日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、
高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- イベント ギャラリートーク
4月17日(土) 参加人数：23人／5月8日(土) ※参加人数：20人
※手話通訳付き
- 入館者数 17,291人(有料：12,305人、無料：4,986人)
- 担当学芸員 上沢修



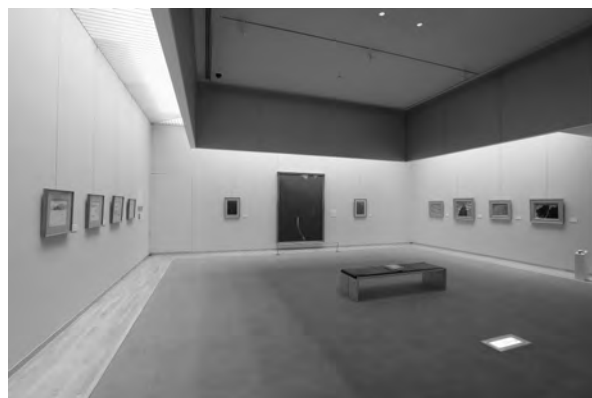
No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
連作「京洛四季」							
1	春静	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.0×46.0	京都市 鷹ヶ峰
2	曙	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.0×46.0	京都市 比叡山
3	花明り	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	58.0×47.6	京都市 円山公園
4	行く春	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.0×37.5	京都市 祇王寺
5	夏に入る	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.5×51.5	京都府 大山崎町
6	夕涼	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.0×58.0	京都市 修学院離宮西浜
7	青い峡	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	30.0×31.0	京都市 周山街道
8	年経る樹	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.0×50.9	京都市 青蓮院
9	山霊(下図)	1987	79		紙本鉛筆	126.0×183.5	長野県-岐阜県 安房峠
10	山霊	1987	79	本制作	紙本彩色	124.4×184.0	長野県-岐阜県 安房峠
11	池澄む	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.5×46.5	京都市 天竜寺
12	夏深む	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.0×51.0	京都市 勧修寺
13	月篋	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.2×51.2	京都市 嵯峨野
14	初紅葉	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	32.8×45.3	京都市 大徳寺高桐院
15	照紅葉	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	35.9×50.5	京都市 梅尾高山寺石水院
16	谿紅葉	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	31.0×44.0	京都市 芹生峠
17	秋寂び	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.0×46.0	京都市 光悦寺
18	牡丹図	1927	19	本制作	絹本彩色	82.5×113.8	東京都 新宿区 下落合
19	緑響く	1982	74	本制作	紙本彩色	84.0×116.0	茅野市 蓼科高原
20	水辺の朝	1972	64	本制作	紙本彩色	33.2×46.2	ドイツ北部 オイティン
ドイツ・オーストリアの旅 スケッチ「窓」							
21	古道具屋の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.5×33.5	ドイツ リューベック
22	ホルシュテン門の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.0×44.5	ドイツ リューベック
23	揺れる窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.0×44.5	ドイツ リューベック
24	花のある窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	19.5×28.0	ドイツ
25	デューラーの家より	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	34.0×47.0	ドイツ ニュールンベルク
26	春兆 小下図 A	1982	74	改組第14回日展のための準備作	紙本彩色	12.0×16.0	デンマーク コペンハーゲン

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
27	春兆	1982	74	本制作	紙本彩色	130.0×180.0	デンマーク コペンハーゲン
28	春兆 小下図 B	1982	74	改組第14回日展のための準備作	紙本彩色	25.2×34.9	デンマーク コペンハーゲン
29	祭りの日	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.0×44.0	ドイツ フライブルク
30	フライブルクにて	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	41.5×27.7	ドイツ フライブルク
31	穀倉	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	33.6×46.6	ドイツ ディンケルスビュール
32	ネルトリンゲンの町	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	37.2×27.0	ドイツ ネルトリンゲン
33	静かな町	1971	63	本制作	紙本彩色	92.0×75.0	ドイツ ヴィムブヘン
34	夕かげ	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	41.5×27.5	ドイツ
35	家並	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.7×44.7	ドイツ
36	木組みの家	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	33.6×46.6	ドイツ
37	憩いの窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.6×41.0	ドイツ ローテンブルク
38	絵のある窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	42.0×28.0	ドイツ ヘルヒテスガーデン
39	野の花	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.6×32.5	ドイツ オーバー・ゼー
40	ティロルの窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.6×33.5	オーストリア ザンクト・アントン
41	描かれた壁	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	28.0×42.0	オーストリア ロイテ
42	鐘楼の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	42.0×28.0	オーストリア
43	緑の園	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	21.5×41.0	
44	塔の影	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.5×44.5	
45	優雅な窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	41.5×27.6	
46	ホテル ドイチェス・ ハウス スケッチ	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.3×44.8	
第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」							
47	天山遙か	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	25.8×40.0	中国 西域
48	草原放牧	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	34.0×46.8	中国 西域
49	セリム湖月夜	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	24.5×36.6	中国 西域
50	パオの子供	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	37.7×47.8	中国 西域
51	カザフ族の少女達	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	32.5×31.0	中国 西域
52	帰路につく人々	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	32.5×36.6	中国 西域
53	高昌城址	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	29.7×40.4	中国 西域
54	廃墟の晝	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	29.2×41.8	中国 西域
55	廃墟の夕	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	28.6×41.3	中国 西域
56	廃墟の幻想A	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	31.0×30.5	中国 西域
57	廃墟の幻想B	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	29.8×36.5	中国 西域
58	廃墟の幻想C	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	31.5×42.9	中国 西域
59	天山の印象A	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	26.3×41.2	中国 西域
60	天山の印象B	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	34.7×44.8	中国 西域

第Ⅱ期

《瀧江暮色》や《桂林月夜》、《黄山雨過》、《夕静寂》といった魁夷畢生の大作「唐招提寺御影堂障壁画」の準備作や関連作品及び戦前の初期時代に描いたスケッチをご覧いただいた。

- 会期 令和3年6月3日(木)から7月27日(火)
(48日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、
高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 14,991人(有料：11,298人、無料：3,693人)
- イベント ギャラリートーク
6月12日(土)参加人数：30人
7月10日(土)※参加人数：38人
※手話通訳付き
- 担当学芸員 上沢修



No.	作品名	制作年	制作 年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
第一期唐招提寺御影堂障壁画準備作							
1	雲湧く嶺	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本彩色	46.0×68.8	
2	深い谿	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本彩色	45.8×55.6	
3	緑峽	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本彩色	33.0×46.3	
4	潮声	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本彩色	31.0×51.2	
5	荒磯	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本彩色	36.0×51.0	
6	浜に寄せる波	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本彩色	31.8×43.6	
7	青濤	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本彩色	45.6×55.0	
8	潮満つ	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本彩色	33.0×46.0	
9	夕静寂 スケッチ	1974	66	改組第6回日展のための準備作	紙本彩色	46.0×33.0	長野県一岐阜県 奥穂高
10	夕静寂	1974	66	本制作	紙本彩色	227.0×158.0	長野県一岐阜県 奥穂高
11	夕静寂 小下図	1974	66	改組第6回日展のための準備作	紙本彩色	43.0×30.0	長野県一岐阜県 奥穂高
第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作							
12	太湖帆影	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	21.0×31.0	中国 太湖
13	太湖の朝	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	26.0×37.2	中国 太湖
14	瀧江の朝	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	25.0×35.2	中国 瀧江
15	瀧江千里	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	27.7×38.0	中国 瀧江
16	桂林月夜	1976	68	本制作	紙本彩色	129.0×162.0	中国 桂林
17	陽朔奇観	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	26.2×34.8	中国 桂林

No.	作品名	制作年	制作 年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
18	桂林山水	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」習作	紙本墨画	39.5×99.5	中国 桂林
19	瀟江暮色	1978	70	本制作	紙本彩色	177.5×363.0	中国 桂林
20	蕪湖の古塔	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	27.5×40.5	中国 黄山
21	山霧幽玄	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	27.3×40.5	中国 黄山
22	奇峰松韻	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	31.5×47.5	中国 黄山
23	黄山雨過 大下図	1978	70	改組第10回日展のための準備作	コンテ、紙	139.5×197.5	中国 黄山
25	黄山雨過	1978	70	本制作	紙本彩色	139.0×196.0	中国 黄山
24	黄山夕影	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	26.1×41.5	中国 黄山
26	雲翔る	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	37.0×48.5	中国 黄山
27	草青む	1972	64	本制作	紙本彩色	43.0×65.0	デンマーク ヒレロード
28	祭りの夜	1929	21	本制作	絹本彩色	54.8×72.0	東京都 靖国神社
ヨーロッパ風景 ムード留学ー							
29	ゲーテのガルテンハウス	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	33.5×43.2	ドイツ ワイマール
30	ワイマールにて	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	39.4×33.6	ドイツ ワイマール
31	ベルリンの街	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	33.0×44.0	ドイツ ベルリン
32	レーダー門	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	30.7×21.9	ドイツ ローテンブルク
33	ゲオルクの泉	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	30.3×21.8	ドイツ ローテンブルク
34	夕影 (南ドイツバイエルン地方)	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	44.5×33.1	ドイツ南部
35	黎明 (南ドイツバイエルン地方)	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	47.0×33.5	ドイツ バイエルン地方
36	キューザの町	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	17.9×23.4	イタリア キューザ
37	ジュネーヴにて	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	25.5×34.5	スイス ジュネーヴ
38	ジュネーヴの街角	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	43.8×30.5	スイス ジュネーヴ
39	モンブラン遠望	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	25.0×35.2	フランス シャモニー
40	モンマルトルにて	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	30.7×41.0	パリ モンマルトル
東北・信州の旅							
41	雪国	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.1×35.8	
42	雪国の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.2×35.7	
43	横手にて	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	30.5×38.7	秋田県 横手
44	雪の山村	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	28.8×34.7	
45	寒風	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.5×36.5	
46	冬の海辺	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	26.7×35.7	
47	薄暮	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	18.5×23.5	
48	長野の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.5×37.0	長野市
49	雨の日	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	32.2×24.5	長野市
50	塩名田の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.0×36.5	佐久市
51	街道の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	26.0×38.5	長野県
52	小諸の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.5×37.0	小諸市
53	夏の日	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	26.0×37.2	長野県

第Ⅲ期

連作「白い馬の見える風景」から《白馬の森》と15点の習作、飯山市の希望湖を描いた《静映》、また、《沼》や《沼の静寂》、《緑の窓》など夏の爽やかな風景を描いた作品をご紹介します。

- 会期 令和3年7月29日(木)から10月5日(火)
(52日間)
※新型コロナウイルス感染拡大防止強化策に伴い、9月3日(金)から9月12日(日)臨時休館した。
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 7月29日(木)から8月27日(金)
一般500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、
高校生以下無料
8月28日(土)から10月5日(火)
一般700(600)円、大学生・75歳以上500(400)円、
高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 19,121人(有料：14,414人、無料：4,707人)
- イベント ギャラリートーク
8月14日(土)参加人数：30人
9月11日(土)※新型コロナウイルス感染拡大により中止
※手話通訳付き
- 担当学芸員 上沢修



No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
白い馬の見える風景							
1	早春の丘	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	24.0×33.5	山梨県 御坂町 河口湖町 御坂峠
2	水辺の朝	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	31.0×44.0	ドイツ北部 オイティン
3	春を呼ぶ丘	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	33.0×46.0	北海道
4	草青む	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	22.5×33.5	デンマーク ヒレロード
5	夕明り	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	27.0×41.0	長野県 下諏訪町 八島湿原
6	湖澄む	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	24.5×36.5	ドイツ オーバー・ゼー
7	緑響く	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	24.5×35.5	長野県 茅野市 蓼科高原
8	渚の白馬	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	25.5×36.5	石川県 千里浜海岸
9	森装う	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	31.0×44.0	長野県 長野市
10	白馬の森 小下図	1972	64	改組第4回日展のための準備作	紙本彩色	22.7×33.9	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
11	白馬の森	1972	64	本制作	紙本彩色	152.0×223.0	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
12	白馬の森	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	24.5×36.0	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
13	芒野	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	25.0×36.0	ヨーロッパ
14	樹霊	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	31.0×43.5	山梨県
15	曠野	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	24.5×35.5	山梨県
16	荒寥	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	31.0×44.0	山梨県 御坂 河口湖町 御坂峠
17	綿雲	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本彩色	31.0×45.0	山梨県
18	沼	1993	85	本制作	麻布彩色	92.0×120.0	長野県 戸隠
19	静映	1982	74	本制作	紙本彩色	42.7×85.7	長野県 飯山市 希望湖
20	沼の静寂	1983	75	本制作	紙本彩色	81.0×116.0	オーストリア インスブルック

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
ドイツ・オーストリアの旅							
21	窓明り	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	24.0×34.0	ドイツ リューベック
22	霧の町	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	33.0×46.0	ドイツ リューベック
23	朝の聖堂	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	46.4×32.5	ドイツ リンブルク
24	夕べの聖堂	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	34.5×47.0	ドイツ リンブルク
25	ツェレの家	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	33.4×41.5	ドイツ ツェレ
26	ニュールンベルクの窓	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	33.0×46.0	ドイツ ニュールンベルク
27	晩鐘	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	38.0×55.0	ドイツ フライブルク
28	石の窓	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	31.0×44.3	ドイツ ネルトリンゲン
29	石の窓	1971	63	本制作	紙本彩色	114.0×166.0	ドイツ ネルトリンゲン
30	静かな町	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	44.0×36.3	ドイツ ヴィムプヘン
31	狭い空	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	44.5×31.7	ドイツ バンベルク
32	古都遠望	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	31.7×47.7	ドイツ ヴィムプヘン
33	緑のハイデルベルク	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	33.5×46.5	ドイツ ハイデルベルク
34	赤い屋根	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	34.5×49.5	ドイツ ローテンブルク
35	ローテンブルクの門	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	44.5×31.4	ドイツ ローテンブルク
36	泉	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	44.6×32.0	ドイツ ローテンブルク
37	みづうみ	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	39.3×49.4	ドイツ オーバー・ゼー
38	青きドナウ	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	33.1×46.2	オーストリア メルク
39	坂道の家	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	33.5×46.0	オーストリア クレームス
40	森の幻想	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	31.0×44.0	オーストリア
41	緑の窓	1983	75	本制作	紙本彩色	73.0×92.0	ドイツ ラムサウ
コンコルド広場の椅子							
42	コンコルド広場の椅子 表紙	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
43	コンコルド広場の椅子 1	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
44	コンコルド広場の椅子 2	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
45	コンコルド広場の椅子 3	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
46	コンコルド広場の椅子 4	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
47	コンコルド広場の椅子 5	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
48	コンコルド広場の椅子 6	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
49	コンコルド広場の椅子 7	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
50	コンコルド広場の椅子 8	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
51	コンコルド広場の椅子 9	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
52	コンコルド広場の椅子 10	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
53	コンコルド広場の椅子 11	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
54	コンコルド広場の椅子 12	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
55	コンコルド広場の椅子 13	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
56	コンコルド広場の椅子 14	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
57	コンコルド広場の椅子 15	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
58	コンコルド広場の椅子 16	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
59	コンコルド広場の椅子 17	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ
60	コンコルド広場の椅子 18	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本彩色	43.0×36.5	フランス パリ

第Ⅳ期

東京美術学校時代に制作した《柿生の里》や《山谿秋色》の初期作品と、本制作の《夕紅》や《紅翳》、《紅葉の谷》など秋色の風景を象徴的に描いた作品を展観した。

- 会期 令和3年10月7日(木)から12月7日(火)
(54日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般700(600)円、大学生・75歳以上500(400)円、
高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 31,683人(有料:22,165人、無料:9,518人)
- イベント ギャラリートーク
10月9日(土)参加人数:10人
11月13日(土)※参加人数:23人
※手話通訳付き
- 担当学芸員 上沢修



No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
北欧風景							
1	山かげの湖	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	26.0×36.5	ノルウェー
2	ウプサラ風景	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	22.8×36.8	スウェーデン ウプサラ
3	白夜	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	36.5×49.0	スウェーデン ノルディングロー
4	フィヨルドの滝	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	30.0×44.5	ノルウェー
5	海に入る滝	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	36.1×48.4	ノルウェー
6	ベルゲンの家	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	27.8×41.0	ノルウェー
7	雪原譜	1962	54	北欧風景習作	紙本彩色	27.5×37.5	ノルウェー ハルダンゲル高原
8	ノルウェーの春	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	36.9×49.5	ノルウェー ヴルヴィック
9	森のささやき	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	27.5×37.4	デンマーク フレーデンスボー
10	山谿秋色	1932	24	本制作	紙本彩色	232.2×151.2	長野県 志賀高原
11	フレデリク城を望む	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	36.0×50.5	デンマーク ヒレロード
12	樹魂	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	36.0×49.2	デンマーク
13	フレーデンスボーの森	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	38.3×52.8	デンマーク フレーデンスボー
14	エルシノアの街	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	25.0×37.0	デンマーク エルシノア
15	倉庫	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	28.2×37.2	デンマーク コペンハーゲン
16	内庭	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	32.5×44.5	デンマーク リーベ
17	古い壁	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	26.5×38.0	デンマーク
18	古き町にて	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	25.7×37.2	デンマーク
19	湖上の城	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	25.4×35.3	デンマーク
20	柿生の里	1928	20	本制作	絹本彩色	36.5×56.5	神奈川県 川崎市 麻生区
21	紅葉の谷	1952	44	本制作	紙本彩色	57.5×51.5	
22	紅翳	1958	50	本制作	紙本彩色	63.3×87.3	群馬県 伊香保町
23	夕紅(下図)				紙本鉛筆	78.0×115.0	
24	夕紅	1996	88	本制作	麻布彩色	81.0×116.0	デンマーク

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
ドイツ・オーストリアの旅 スケッチ「窓」							
25	ステンドグラス	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	26.5×26.8	ドイツ ヴィーンハウゼン
26	町角	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.0×35.0	ドイツ ヴィムブヘン
27	憩いの窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.6×41.0	ドイツ ローテンブルク
28	窓	1971	63	本制作	紙本彩色	130.0×195.0	ドイツ ローテンブルク
29	青い窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.6×35.6	ドイツ
30	古いガラス絵	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	37.6×26.6	ドイツ ツェレ
31	ホテル・太陽	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	44.6×31.6	ドイツ ヴィムブヘン
32	鐘のある窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.5×38.0	ドイツ
33	リュースハイムにて	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	26.0×40.5	ドイツ リュースハイム
34	バンベルクにて	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.6×44.5	ドイツ バンベルク
35	聖堂の中	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	44.5×28.0	ドイツ ディンケルスビュール
36	人形芝居の小屋	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.5×33.5	ドイツ
37	ローテンブルクの泉	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.6×44.0	ドイツ ローテンブルク
38	酒場の看板	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	25.0×34.0	オーストリア
39	白馬亭	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.5×40.6	オーストリア メルン
40	骨董屋	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.5×42.0	オーストリア
41	裏窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	41.6×27.6	オーストリア
42	ザルツブルクの看板	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.6×35.5	オーストリア ザルツブルク
43	ミラベル宮廷園	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.5×35.5	オーストリア ザルツブルク
44	午後の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.5×41.5	オーストリア オーベルンドルフ
45	並ぶ窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	36.0×42.5	オーストリア
46	明るい壁	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.4×35.5	オーストリア ルスト
47	居酒屋	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.2×33.0	オーストリア デュルンシュタイン
48	酒場のしるし	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.0×24.6	オーストリア クレームス
第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」							
49	競馬場に向う人々	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	32.6×45.0	中国 西域
50	男女の馬競べ	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	25.5×33.2	中国 西域
51	セリム湖にて	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	28.5×41.0	中国 西域
52	セリム湖畔	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	33.6×41.4	中国 西域
53	ぶどう棚の下で	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	28.7×34.5	中国 西域
54	古城遠望	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	28.7×42.0	中国 西域
55	交河城址	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	32.0×43.5	中国 西域
56	黄昏	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	33.5×46.6	中国 西域
57	火焰山	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	25.0×39.8	中国 西域
58	家路	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	29.5×42.0	中国 西域
59	ホータン所見	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	36.5×46.5	中国 西域
60	砂漠を往く	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本墨画	31.0×43.0	中国 西域
61	夕映	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遙か」スケッチ	紙本彩色	29.2×41.8	中国 西域

第Ⅴ期

東山ブルーを代表する《静唱》や絶作《夕星》をはじめ、《行く秋》や《木枯らし舞う》など、東山晩年の心象風景を描いた秀作を展示します。また、「北欧風景」及び「京洛四季」シリーズからスケッチ、習作をご覧いただいた。

- 会期 令和3年12月16日(木)から令和4年2月8日(火)
(43日間)
※東山魁夷館設備点検のため、12月9日(木)から12月14日(火)臨時休館した。
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般700(600)円、大学生・75歳以上500(400)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 22,343人(有料：16,860人、無料：5,483人)
- イベント ギャラリートーク
12月11日(土)臨時休館により中止
1月8日(土)※参加人数：45人
※手話通訳付き
- 担当学芸員 上沢修



No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
北欧風景							
1	極北の湖	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	26.8×36.8	ノルウェー
2	ラブランドにて	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	26.8×37.8	スウェーデン ラブランド
3	白樺の丘	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	24.5×33.5	スウェーデン レトヴィック
4	波止場の家	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	29.4×41.9	ノルウェー
5	ハルダンゲル高原	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	36.9×49.0	ノルウェー ハルダンゲル高原
6	早春のディアハーヴェン	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	36.4×49.3	デンマーク ディアハーヴェン
7	青い沼	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	36.2×49.0	デンマーク
8	運河沿いの街	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	26.5×36.5	デンマーク
9	コペンハーゲンの街	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	28.0×40.9	デンマーク コペンハーゲン
10	リーベの家	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	26.3×37.0	デンマーク
11	さざなみ	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	34.0×46.0	フィンランド プンカハルユ
12	白夜光	1962	54	北欧風景習作	紙本彩色	35.0×51.0	フィンランド クオピオ
13	二つの月	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	45.5×37.6	フィンランド ヘルシンキ
14	ヴィラットの運河	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	26.3×36.8	フィンランド ヴィラット
15	夏の道	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本彩色	26.7×45.7	フィンランド ヴィラット
16	静唱 スケッチ A	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本鉛筆	25.7×38.0	フランス パリ ソー公園
17	静唱 スケッチ B	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本鉛筆	25.7×37.7	フランス パリ ソー公園
18	静唱 スケッチ C	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本鉛筆	37.5×54.0	フランス パリ ソー公園
19	静唱 小下図	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本彩色	32.0×48.0	フランス パリ ソー公園
20	静唱(下図)	1981	73		紙本鉛筆	140.0×202.5	フランス パリ ソー公園
21	静唱	1981	73	本制作	紙本彩色	140.0×203.0	フランス パリ ソー公園
22	木枯らし舞う	1997	89	本制作	麻布彩色	81.0×116.0	ドイツ北部
23	聖夜	1994	86	本制作	麻布彩色	89.0×130.0	ドイツ南部

No.	作品名	制作年	制作 年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
皇室の仕事							
24	萬緑新 小下図	1961	53	吹上御所御用命画のための準備作	紙本彩色	28.5×25.3	福島県 猪苗代町 翁島
25	朝明けの潮(下図) A	1967	59	皇居宮殿壁画色分け下図	紙本彩色	39.0×144.0	
26	朝明けの潮(下図) B	1967	59	皇居宮殿壁画色分け下図	紙本彩色	39.0×144.0	
27	悠紀地方屏風絵 試作 春夏図・秋冬図	1990	82	大嘗祭大饗の儀に用いられた作の ための準備作	紙本彩色	各42.0×76.5	
28	行く秋(下図)	1990	82		紙本鉛筆	114.0×162.0	ドイツ北部
29	行く秋	1990	82	本制作	紙本彩色	114.0×162.0	ドイツ北部
30	行く秋 習作	1990	82	改組第22回日展のための準備作	紙本彩色	33.5×47.0	ドイツ北部
31	深秋	1942頃	34	本制作	絹本彩色	122.0×26.6	
32	金太郎	1949	41	本制作	色紙・水彩	27.3×24.2	
33	夕星(下図)	1999	90		紙本鉛筆	80.2×101.2	長野市 花岡平霊園
34	夕星	1999	90	本制作	麻布彩色	66.0×100.0	長野市 花岡平霊園
中国風景							
35	頤和園にて	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	37.0×28.0	中国 北京
36	承徳の春	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	25.0×35.2	中国 承徳
37	町角	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	36.3×29.5	中国
38	喇嘛塔	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	43.1×31.2	中国 承徳
39	古北口にて	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	37.0×28.5	中国 承徳
40	長城を望む	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	28.0×36.8	中国 承徳
41	承徳所見 A	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	23.5×32.5	中国 承徳
42	承徳所見 B	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	23.5×33.0	中国 承徳
43	承徳所見 C	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	33.0×23.5	中国 承徳
44	承徳所見 D	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	19.4×31.5	中国 承徳
45	承徳所見 E	1943	35	中国風景スケッチ	紙本彩色	23.8×33.0	中国 承徳
京洛四季							
46	一力	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	30.7×44.0	京都市 祇園
47	宵山	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	32.0×45.2	京都市 鉾町
48	千灯会	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	32.5×45.0	京都市 化野念仏寺
49	二条城の石垣	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	24.5×41.5	京都市 二条城
50	蔦もみじ	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	27.0×41.0	京都市 大河内山荘
51	街道の家	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	31.0×44.0	京都市 鳥羽街道
52	深雪	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	26.6×40.8	京都市 東山
53	雪の石庭	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	31.0×44.0	京都市 竜安寺
54	雪降る町	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	45.5×33.2	京都市 京の町
55	北山初雪	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	41.5×58.0	京都市 周山街道
56	雪の後	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	38.0×55.5	京都市 中川付近
57	年暮る	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	38.4×55.0	京都市 京の町

第Ⅵ期

信州の冬景をあたたかな眼差しで描いた《静晨》《霧氷の譜》、連作「大和春秋」のスケッチ、習作18点と本制作《秋思》など古都奈良の美しい自然の風景を描いた名品を一堂に展示した。

- 会期 令和4年2月10日(木)から4月12日(火)
(54日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 一般700(600)円、大学生・75歳以上500(400)円、
高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 11,194人(有料:8,234人、無料:2,960人)
- イベント ギャラリートーク
2月12日(土)新型コロナウイルス感染拡大により中止
3月12日(土)※新型コロナウイルス感染拡大により中止
※手話通訳付き
- 担当学芸員 上沢修



No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
大和春秋							
1	朝の塔	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	28.0×41.5	奈良県 興福寺
2	吉野の春	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	31.0×44.0	奈良県 吉野
3	春日野朝霧	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	30.5×43.5	奈良県 春日野
4	古陵薄明	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	23.0×33.5	奈良県 箸墓
5	室生の塔	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	41.0×27.5	奈良県 室生寺
6	霧の朝	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	26.0×40.0	奈良県 春日大社
7	萱生にて	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	41.5×27.7	奈良県 萱生
8	飛火野	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	28.0×42.0	奈良県 飛火野
9	布留の森	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	37.0×31.0	奈良県 天理市 布留
10	秋思	1988	80	本制作	麻布彩色	146.0×120.0	奈良県 天理市
11	夕べの塔	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	27.0×41.0	奈良県 興福寺
12	松と月	1973-1985	65-77	大和春秋スケッチ	紙本彩色	33.5×46.5	奈良県
13	唐招提寺月明	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本彩色	41.0×33.0	奈良県 唐招提寺
14	赤目晩秋	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本彩色	41.0×27.5	三重県 名張市
15	石佛	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本彩色	27.0×41.0	奈良県
16	柿の木と白壁の家	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本彩色	27.0×35.5	奈良県
17	酒造りの家	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本彩色	25.0×35.0	奈良県 三輪山
18	雪の春日野	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本彩色	31.0×44.0	奈良県 春日野
19	室生暮雪	1973-1985	65-77	大和春秋習作	紙本彩色	44.0×31.0	奈良県 室生寺
20	静晨	1994	86	本制作	麻布彩色	65.0×92.0	長野市 芋井
21	霧氷の譜 小下図 A	1985	77	改組第17回日展のための準備作	紙本彩色	21.8×32.0	ドイツ北部 乗鞍山頂
22	霧氷の譜 小下図 B	1985	77	改組第17回日展のための準備作	紙本彩色	21.0×31.0	ドイツ北部 乗鞍山頂
23	霧氷の譜(下図)				紙本鉛筆	129.7×183.8	ドイツ北部 乗鞍山頂
24	霧氷の譜	1985	77	本制作	紙本彩色	130.0×185.0	ドイツ北部 乗鞍山頂
25	倉庫	1963	55	本制作	紙本彩色	53.4×72.5	デンマーク コペンハーゲン
26	沼の静寂	1970	62		紙本彩色	24.7×35.5	長野県 志賀高原
27	冬の旅(下図)				紙本鉛筆	109.4×162.0	秋田県 鹿角市 湯瀬

No.	作品名	制作年	制作 年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
28	冬の旅	1989	81	本制作	紙本彩色	110.0×162.0	秋田県 鹿角市 湯瀬
29	冬の旅 小下図	1989	81	改組第21回日展のための準備作	紙本彩色	23.5×35.0	秋田県 鹿角市 湯瀬
30	矢車草				水彩、色紙	21.8×14.8	
31	春野				水彩、色紙	27.2×24.1	
32	自画像	1923	15	油彩	油彩、 カンヴァス	33.0×23.0	
33	六甲裏山にて	1923	15	スケッチ	紙本彩色	43.0×61.0	兵庫県 神戸市
34	海辺にて(伊豆)	1933-35	25-27	スケッチ	紙本彩色	36.0×54.0	静岡県 伊豆
35	訪春(甲州にて)	1933-35	25-27	スケッチ	紙本彩色	27.7×36.0	山梨県
36	夕映(十国峠富士)	1935-45	27-37	スケッチ	紙本彩色	25.6×35.4	神奈川県 箱根
37	湖畔の冬(河口湖)	1941	33	スケッチ	紙本彩色	21.0×16.5	山梨県 河口湖
京洛四季							
38	土塀	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	27.0×41.0	京都市 天竜寺
39	松尾神社にて	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	31.0×44.2	京都市 嵐山
40	三宝院唐門	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	33.0×46.0	京都市 醍醐寺
41	寺の塀	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	27.0×41.0	京都市 大徳寺
42	壬生狂言	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	26.2×35.4	京都市 壬生寺
43	祇園まつり	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	27.0×36.0	京都市 山鉾巡行
44	あだし野	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	36.0×51.0	京都市 化野念仏寺
45	伏見の酒倉	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	27.0×46.0	京都市 伏見
46	東福寺庭	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	33.0×41.0	京都市 東福寺
47	門	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	44.0×36.0	京都市 常照皇寺
48	魚鐸	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	27.0×41.0	京都市 海宝寺
49	砂紋	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	27.0×41.0	京都市 大徳寺大仙院
50	散り紅葉	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	31.0×44.5	京都市 光悦寺
51	京の民家	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	28.4×51.0	京都市 伏見
52	古道具屋	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	27.0×41.5	京都市 西陣
53	あぶり餅	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	33.0×39.0	京都市 今宮神社
54	桂の敷石	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	40.9×27.1	京都市 桂離宮
55	桂離宮書院	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	31.9×46.0	京都市 桂離宮
56	三玄院露地	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	31.0×44.0	京都市 大徳寺
57	龍安寺塀	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	40.8×51.5	京都市 龍安寺
58	冬の庭	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	33.0×46.0	京都市 修学院離宮
59	修学院雪庭	1964-1966	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本彩色	31.5×44.9	京都市 修学院離宮

佐久の風景と生命の輝き 長野県立美術館交流名品展

交流展は、県内各地域の美術館とともに企画・立案し実施する展覧会である。当館のコレクションをより多くの方に公開すること、県内地域の中核となる美術館と共催することで美術館や学芸員どうしの相互連携を深めることを目的としている。また、展覧会では共催館の特色を打ち出し、地縁ある作家たちの作品を中心に展示することで、地域の魅力を再発見する機会としてもらうことを目指している。

本年度は小海町高原美術館との共同開催で、松原湖に取材した高田誠の『湖畔秋色』など佐久地域を描いた風景画と、長野県にゆかりの深い作家による人物表現を中心に、近代の名品から現代美術まで多様な作品を出品した。また、小海町高原美術館からは同館所蔵の島岡達三作品を出品いただき、当館の松井康成作品とともに人間国宝による工芸作品を紹介した。

- 会期 令和3年9月11日(土)から11月7日(日) (46日間)
火曜日、祝日の翌日休館
※新型コロナウイルス感染拡大防止強化策に伴い、9月11日(土)、9月12日(日)は臨時休館した。
- 会場 小海町高原美術館
■主催等 (主催)小海町高原美術館
(共催)長野県、長野県立美術館
(後援)信濃毎日新聞社、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn
長野朝日放送、FM 長野、ハケ岳ミュージアム・リング
- 観覧料 一般500(400)円、小海町民250円、身体障害者250円、レストラン共通券600円、高校生以下及び18歳未満無料
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 1487名(有料 1068人、無料 419人)
- イベント
- ・オープニングセレモニー／日時：9月11日(土)10:00～
※臨時休館に伴い中止／展示解説講師：田中正史(当館学芸課長)／場所：小海町高原美術館／参加費：無料
 - ・講演会「近代美術のなかの『風景』」／講師：松本透(当館館長)／日時：9月25日(土)14:00～／会場：小海町高原美術館 映像室／参加費：無料・要予約／参加人数：19人
 - ・ギャラリートーク／講師：竹花藍子(当館学芸員)／日時：9月18日(土)・10月16日(土)14:00～(9月18日は感染症対策のため中止)／会場：小海町高原美術館 展示室／参加費：無料／参加人数：22人
 - ・ガイドツアー／講師：中嶋実(小海町高原美術館学芸員)／日時：9月23日(木・祝)・10月2日(土)・10月23日(土)・11月3日(水・祝)14:00～(9月23日は感染症対策のため中止)／会場：小海町高原美術館／参加費：無料／参加人数：10月2日7人、10月23日9人、11月3日23人
- 担当学芸員 竹花藍子、茂原奈保子、霜田英子



No.	作者	作品名	制作年	材料・技法	寸法(cm)	所蔵先
1	中村不折	裸婦立像	1903-04 (明治36-37)年	油彩・カンヴァス	80.4×59.6	長野県立美術館
2	河野通勢	自画像	1918(大正7)年	油彩・ カンヴァスボード	34.5×26.0	長野県立美術館
3	河野通勢	三人の乞食	1916(大正5)年	油彩・カンヴァス	65.0×91.0	長野県立美術館
4	中川紀元	猫と女	1921(大正10)年	油彩・カンヴァス	147.0×61.5	長野県立美術館寄託
5	島崎鶴二	麻衣	1934(昭和9)年	油彩・カンヴァス	128.5×97.0	長野県立美術館
6	須山計一	労働者	1930(昭和5)年	油彩・カンヴァス	116.7×91.0	長野県立美術館

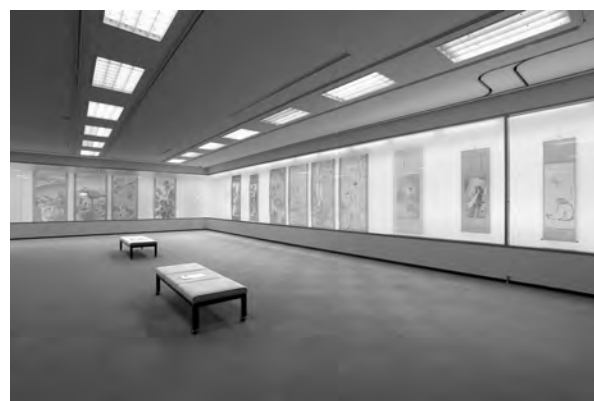
7	林 俊衛	或る詩人の肖像 (辻潤氏像)	1932(昭和7)年	油彩・カンヴァス	90.5×65.5	長野県立美術館
8	石井柏亭	パイプの男	1958(昭和33)年	油彩・カンヴァス	80.3×65.1	長野県立美術館
9	白井文平	夏の午後	1928(昭和3)年	油彩・カンヴァス	127.2×152.2	長野県立美術館
10	菊池契月	早苗	1934(昭和9)年	紙本・彩色	172.0×77.0	長野県立美術館
11	白鳥映雪	浄粧	1948(昭和23)年	紙本・彩色	141.5×119.2	長野県立美術館
12	中島千波	眠 '89-8	1989(平成元)年	紙本・彩色	165.0×220.0	長野県立美術館
13	倉島重友	遠い音	1990(平成2)年	紙本・彩色	170.0×214.5	長野県立美術館
14	ハリー・K. シゲタ	動	1930(昭和5)年	モノクロームプリント	35.0×42.8	長野県立美術館
15	薺囀	You & Me	1976(昭和51)年	シルクスクリーン・紙	69.8×50.0	長野県立美術館
16	神津港人	自画像	1917(大正6)年	油彩・カンヴァス	61.0×50.0	長野県立美術館
17	神津港人	自画像	1966(昭和41)年	油彩・カンヴァス	60.7×50.0	長野県立美術館
18	神津港人	静物的に配置せる裸体画	1935(昭和10)年	油彩・カンヴァス	(右)190.0×67.5 (中)190.0×139.3 (左)190.0×67.5	長野県立美術館
19	荻原碌山	女	1910(明治43)年	ブロンズ	H 98.0	長野県立美術館
20	石井鶴三	風試作	1956(昭和31)年	ブロンズ	H78.3	長野県立美術館
21	城田孝一郎	ひさこと花をもつ杜の人	1957(昭和32)年	木	H102.0× W31.0× D39.0	長野県立美術館
22	日向 裕	雲降る段丘	1964(昭和39)年	油彩・カンヴァス	112.0×112.0	長野県立美術館
23	中村研一	八ヶ岳	1959(昭和34)年	油彩・カンヴァス	45.5×53.0	長野県立美術館
24	荻原孝一	天狗岳		油彩・カンヴァス	112.4×144.7	長野県立美術館
25	田村一男	八ヶ岳初冬	1978(昭和53)年	油彩・カンヴァス	89.4×145.5	長野県立美術館
26	高田 誠	湖畔秋色	1938(昭和13)年	油彩・カンヴァス	112.1×145.5	長野県立美術館
27	川瀬巴水	信州松原湖	1941(昭和16)年	木版・紙	24.3×36.5	長野県立美術館
28	刑部 人	千曲川鳥瞰図	1970(昭和45)年	油彩・カンヴァス	80.5×100.0	長野県立美術館
29	岡田三郎助	千ヶ滝	1935(昭和10)年	油彩・カンヴァス	40.2×60.2	長野県立美術館
30	不破 章	川上	1972(昭和47)年	水彩・紙	38.3×57.0	長野県立美術館
31	不破 章	信濃川上	1972(昭和47)年	水彩・紙	38.2×57.0	長野県立美術館
32	不破 章	千曲川(小海羽黒下)	1972(昭和47)年	水彩・紙	38.3×56.7	長野県立美術館
33	不破 章	湯ノ丸高原	1970(昭和45)年	水彩・紙	38.1×56.6	長野県立美術館
34	不破 章	上田市神科	1967(昭和42)年	水彩・紙	38.0×57.3	長野県立美術館
35	不破 章	信州田中(本海野)	1975(昭和50)年	水彩・紙	38.2×56.5	長野県立美術館
36	不破 章	軽井沢	1971(昭和46)年	水彩・紙	38.5×56.9	長野県立美術館
37	不破 章	軽井沢	1971(昭和46)年	水彩・紙	38.4×57.0	長野県立美術館
38	片桐白登	凍林	1987(昭和62)年	紙本・彩色	130.0×162.0	長野県立美術館
39	伊東深水	信濃十景 小諸路の暮雪	1948(昭和23)年	木版・紙	25.8×36.3	長野県立美術館
40	有島生馬	春の浅間山	1946(昭和21)年	油彩・カンヴァス	61.0×72.5	長野県立美術館
41	小山敬三	暮れゆく浅間	1968(昭和43)年	油彩・カンヴァス	145.5×97.0	長野県立美術館
42	横井弘三	浅間山風景	1949(昭和24)年頃	油彩・カンヴァス	72.8×91.0	長野県立美術館
43	中村直人	暁の浅間	1973(昭和48)年	ガッシュ・紙	112.1×145.8	長野県立美術館
44	草間彌生	ドッツ・オブセッション 水玉で幸福いっぱい	2009(平成21)年	ミクストメディア	携帯10.5×5.0 箱 H14.0×W14.0×D15.0	長野県立美術館
45	草間彌生	私の犬のリンリン	2009(平成21)年	ミクストメディア	携帯10.2×5.1 容器H27.0×W10.0×D20.3	長野県立美術館
46	草間彌生	宇宙へ行くときのハンド バッグ	2009(平成21)年	ミクストメディア	携帯11.0×6.0	長野県立美術館
47	池田満寿夫	陶芸「アテネ」	1983(昭和58)年	陶器	H32.0	長野県立美術館
48	池田満寿夫	レリーフ「寓話」	1989(平成元)年	ブロンズ	H81.6×W78.3×D5.9	長野県立美術館
49	飯田昭二	自己投影 1	2007(平成19)年	ミクストメディア(鳥カ ゴ、石膏による球、鏡)	30×30×H30	長野県立美術館
50	飯田昭二	自己投影 2	2007(平成19)年	ミクストメディア(鳥カ ゴ、ハイヒール、鏡)	37×37×H37	長野県立美術館
51	馬場哲晃	Freqtric Drums	2004-07 (平成16-19)年	ミクストメディア	直径25	長野県立美術館
52	水野英男	鉄軸輪花鉢	2003(平成15)年	陶器	高29.0/径30.0	長野県立美術館
53	武田成功	紫峰連山	不詳	ガラス	43.0×43.0×16.8	長野県立美術館
54	松井康成	練上銅羅鉢「輪響」	1975(昭和50)年	陶器	高12.5/径45.0	長野県立美術館
55	松井康成	練上玻璃光大壺	2001(平成13)年	陶器	高39.0/径40.0	長野県立美術館
56	杉田禾堂	青銅三足香炉	1955(昭和30)年	鍍金	高14.0/径11.0	長野県立美術館
57	島岡達三	窯変縄文象嵌壺	不詳	陶器	高18.5/径15.0	小海町高原美術館
58	島岡達三	塩釉縄文象嵌皿	不詳	陶器	高9.5/径47.0	小海町高原美術館

2021年度長野県立美術館移動展 in 伊那文

～県美コレクション展がまるごとやってくる～

1966(昭和41)年の開館以来、長野県信濃美術館では郷土にゆかりのある美術家たちの作品と、美しい信州の自然を描いた風景画を中心に収集・公開してきた。これらのコレクションをより多くの方に鑑賞してもらうため、1979(昭和54)年から県内各地で「移動展」を開催している。本館が新築された今年度からは、公募会場に加えて長野県伊那文化会館にて毎年開催することとなった。今回は、県立美術館グランドオープンに伴い開催されたコレクション展「名品選」第Ⅰ期の内容を、ほぼそのまま持っていった。当館の言わば「顔」となる41点が並ぶ豪華な内容となった。日本画の大家、菱田春草や日本における洋画の先駆的存在である川上冬崖、近代彫刻のパイオニア荻原碌山ら信州出身作家の作品に加え、緑豊かな信州の自然を捉えた風景画群、そして近年新たに収蔵した信濃デッサン館コレクションも展示した。

- 会場 長野県伊那文化会館 美術展示ホール
- 会期 令和3年11月2日(火)から11月28日(日) (24日間)
月曜休館
- 主催等 (主催)長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館
(共催)伊那市、伊那市教育委員会、長野県教育委員会
- 観覧料 一般500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、
高校生以下無料、その他割引制度
※()内は20名以上の団体料金
- 入館者数 1263人(有料:963人 無料:300人)
- イベント
 - ・オープニングセレモニー
日時:11月2日(火)9:00～9:30
参加人数:15人
 - ・ギャラリートーク①
日時:11月3日(水・祝)14:00～14:30
参加人数:15人
 - ・ギャラリートーク②
日時:11月13日(土)14:00～14:30
参加人数:11人
- 担当学芸員 池田淳史



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
1	川上冬崖	ナポレオン	不詳	水彩・紙	60.4×58.2
2	岡村政子	鼓の少女	1890(明治23)年	石版・紙	42.0×32.5
3	中村不折	西洋婦人像	1904(明治37)年頃	油彩・カンヴァス	80.4×53.9
4	荻原礫山	坑夫	1907(明治40)年	ブロンズ	46.3×45.2×35.4
5	白井文平	屋上のパーティ	1926(大正15)年	油彩・カンヴァス	117.3×147.5
6	ハリー・K. シゲタ	渦巻	1930(昭和5)年	モノクロームプリント	50.5×34.6
7	池田満寿夫	化粧する女	1964(昭和39)年	ドライポイント・ルーレット・ エッチング・紙	36.2×33.5
8	河野通勢	裾花川の河柳	1915(大正4)年	油彩・カンヴァス	91.0×116.7
9	満谷国四郎	野尻湖	1919(大正8)年	油彩・カンヴァス	60.6×72.8
10	石井柏亭	野尻湖	1954(昭和29)年	油彩・カンヴァス	60.6×72.7
11	小糸源太郎	山粧ふ	1956(昭和31)年	油彩・カンヴァス	85.0×99.5
12	梅原龍三郎	浅間山	1957(昭和32)年	油彩／グワッシュ・紙	72.2×90.9
13	小堀進	山	1961(昭和36)年	水彩・紙	65.0×104.0
14	不破章	木曾路の宿場(三留野)	1968(昭和43)年	水彩・紙	77.5×112.5
15	小山周次	松本城	1957(昭和32)年	水彩・紙	38.2×56.0
16	川瀬巴水	木曾の須原(『日本風景選集』より)	1925(大正14)年	木版・紙	20.8×28.5
17	伊東深水	浅間山麓の春(『信濃十景』より)	1948(昭和23)年	木版・紙	25.0×36.0
18	村山槐多	猫を抱ける裸婦	1916(大正5)年	木炭・紙	61.4×46.5
19	松本竣介	ニコライ堂	1941(昭和16)年	鉛筆・木炭・紙	38.0×45.4
20	中原悌二郎	若きカフカス人	1919(大正8)年	ブロンズ	42.0×20.2×23.5
21	菊池契月	立女	1924(大正13)年	絹本・彩色、額装	154.5×170.5
22	江崎孝坪	手向け	1946(昭和21)年	紙本・彩色、額装	225.0×160.5
23	奥村土牛	白日(ひまわり)	1949(昭和24)年	絹本・彩色、額装	110.5×140.3
24	佐竹蓬平	莊周胡蝶夢	1804～1807 (文化元～4)年頃	絹本・彩色、軸装	126.2×45.3
25	西郷孤月	主の救い	1901(明治34)年頃	絹本・彩色、軸装	92.8×48.5
26	菱田春草	羅浮仙	1901(明治34)年頃	絹本・彩色、軸装	124.5×69.5
27	池上秀畝	四季花鳥	1918(大正7)年	紙本・彩色、軸装	各239.4×103.5
28	荒木十畝	木曾鞍馬橋図	1904(明治37)年	絹本・彩色、軸装	139.0×66.0
29	長井雲坪	秋山群猿図	1890(明治23)年	絹本・彩色、軸装	171.5×85.4
30	小坂芝田	深遠	1908(明治41)年	絹本・彩色、軸装	230.3×99.7
31	矢沢弦月	新秋 山・里・海	1920(大正9)年	絹本・彩色、軸装	215.0×100.5／ 215.0×115.0／ 216.5×100.5
32	川村驥山	詠信州山水	1960(昭和35)年	紙本・墨書、額装	各140.0×70.0
33	北原三佳	鍔銅花瓶	1964(昭和39)年	鍔金	高30.0 径29.0
34	宮入行平	太刀	1970(昭和45)年	刀	刃長75.8
35	熊谷好博子	友禪染訪問着・海の譜	1980(昭和55)年	江戸友禪・絹	丈182.0 桁66.0
36	神津港人	溪流三女人像	1930(昭和5)年	油彩・カンヴァス	130.0×97.0
37	島崎鷗二	弓	1940(昭和15)年	油彩・カンヴァス	193.5×105.0
38	中川紀元	散華	1962(昭和37)年	油彩・カンヴァス	144.0×90.9
39	草間彌生	No. PZ	1960(昭和35)年	油彩・カンヴァス	269.2×177.8
40	藤松博	人	1962(昭和37)年	油彩・カンヴァス	160.0×130.9
41	滝沢具幸	アラベスク	1988(昭和63)年	紙本・彩色、額装	206.0×264.0

2021年度長野県立美術館移動展

～南信州ふるさとアート紀行～

長野県立美術館のコレクションをより多くの県民に鑑賞していただくため、県内市町村で開催する移動展覧会。第43回を迎えた今年度は、下伊那郡下條村で展覧会を開催した。本展では、開催地を中心とした南信州のアート紀行と題して、当地の美しく、豊かな自然を描いた風景や菱田春草、須山計一、滝沢具幸など地元ゆかりの作家が描いた絵画を中心に、アートを通じて地元南信州の魅力を広く知っていただく機会とした。

- 会場 あしたむらんど下條
- 会期 令和3年11月27日(土)から12月12日(日)
(16日間)、無休
- 主催 長野県、長野県立美術館、下條村、下條村教育委員会
- 観覧料 無料
- 入館者数 287人
- イベント
 - ・ギャラリートーク
日時：11月27日(土) 14:00～15:00
参加人数：10人
 - ・講演会
日時：11月28日(日) 11:00～12:00
参加人数：6人
- 担当学芸員 上沢修



No.	分類	作者名	作品名	製作年	技法材質	法量(cm)
Ⅰ. ふるさと南信州の美しき自然						
1	油彩画	藤本東一良	伊那の春	1979(昭和54)年	油彩・カンヴァス	90.9×116.7
2	油彩画	辻村八五郎	赤石讃仰(飯田高原)	1979(昭和54)年	油彩・カンヴァス	90.9×116.7
3	油彩画	須山計一	峠のむら	1956(昭和31)年	油彩・カンヴァス	91.0×116.7
4	水彩画	不破章	天龍平岡	1970(昭和45)年	水彩・紙	38.0×56.7
5	水彩画	矢崎重信	『信濃の子供』原画20柿もぎ	1943(昭和18)年	水彩・紙	38.5×28.5
6	油彩画	中村琢二	伊那谷の春	1979(昭和54)年	油彩・カンヴァス	91.0×117.0
7	油彩画	須山計一	伊那谷初夏	1943(昭和18)年	油彩・カンヴァス	72.7×90.9
8	油彩画	田村一男	春日城址春日	1984(昭和59)年	油彩・カンヴァス	89.4×145.5
9	油彩画	中村琢二	木曽路	1964(昭和39)年	油彩・カンヴァス	116.5×91.5
10	油彩画	小山敬三	牧尾ダム晩夏	1964(昭和39)年	油彩・カンヴァス	79.0×98.5
11	油彩画	篠原昭登	御岳	1994(平成6)年	油彩・カンヴァス	91.0×72.8
Ⅱ. 南信州ゆかりの芸術家						
12	日本画	菱田春草	老子	1893(明治26)年	紙本・彩色	93.3×135.7
13	彫刻	城田孝一郎	ひきこと花をもつ杜の人	2001(平成13)年	木	高102.0×横31.0×奥行39.0
14	油彩画	横井弘三	浅間山風景	1949(昭和24)年	油彩・カンヴァス	72.8×91.0
15	版画	オノサト・トシノブ	63-A	1963(昭和38)年	リトグラフ・紙	24.2×34.2
16	日本画	福與悦夫	晨明(川中島)		紙本・彩色	91.8×100.8
17	日本画	滝沢具幸	荒原記	2013(平成25)年	紙本彩色	73.0×116.9
18	日本画	菱田春草	月下群鷺	1901(明治34)年	絹本・彩色	113.1×50.0
19	日本画	菱田春草	海辺の松林	1908(明治41)年	絹本・彩色	105.5×41.3
20	日本画	鈴木芙蓉	秋景山水図	1790(寛政2)年	絹本・墨画	128.5×27.7
21	日本画	片桐白登	凍林	1987(昭和62)年	紙本・彩色	130.0×162.0
22	工芸	熊谷好博子	友禅染訪問着・樹叢	1980(昭和55)年	江戸友禅	丈:170.5 / 桁:64.5
23	工芸	水野英男	鉄釉輪花鉢	2003(平成15)年	陶器	高29.0 / 径30.0

交流事業

1 善光寺平アートライン推進協議会

善光寺平アートライン推進協議会は、善光寺平の美術館及び芸術文化施設により2009年1月に発足し、相互交流・情報交換・研究などを通して、施設の活性化・充実化や質の向上を図り、このゾーンへの誘客を引き出し、善光寺平全体の芸術文化の長期的な発展を目的としている。2016年度より長野県立美術館に事務局が置かれている。

加盟館(順不同)

【長野市】 北野美術館／水野美術館／長野県立美術館

【須坂市】 豪商の館 田中本家博物館／笠鉾開館ドリームホール／須坂版画美術館／世界の民俗人形博物館／須坂クラシック美術館／旧小田切家住宅

【小布施町】 おぶせミュージアム・中島千波館／高井鴻山記念館／北斎館／日本のあかり博物館

【高山村】 一茶ゆかりの里 一茶館

1. 善光寺平アートライン推進協議会 研修会

参加者：24

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	8/13	善光寺アートライン推進協議会研修会 長野県立美術館「対話型鑑賞研修会」 対話型鑑賞について／館内見学 講師：伊達隆洋(京都芸術大学アート・プロデュース学科 准教授) 担当：霜田英子、大西葵	善光寺平アートライン協議会加盟館 職員／アート・コミュニケータ	24



アートライン研修会の様子



清泉女学院大学との連携事業の様子①



清泉女学院大学との連携事業の様子②

2 県内大学等との連携事業

清泉女学院大学3年生の学芸員課程履修者を対象として、ワークショップの立案から実施に至るまでのプロセスを学ぶプロジェクトを実施。当館主催イベント「こどもアートラボ」内での実施を目標に、学生自らが考えワークショップの実現に向けて進めていった。また、長野美術専門学校への出張講座及び講師協力にも対応した。

1. 清泉女学院大学との連携事業

参加者：34

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	9/10	第1回 ガイダンス 長野県立美術館について、ワークショップのつくりかた 講師：大西葵、青山由貴枝 会場：長野県立美術館(オンライン配信) 担当：大西葵	清泉女学院大学 3年生、教員	17
2	12/9	第2回 企画発表会 各班が考えてきた企画の発表 講師：大西葵、青山由貴枝 会場：清泉女学院大学 上野キャンパス 担当：大西葵	清泉女学院大学 3年生、教員	17

※新型コロナウイルス感染症の影響により、2022年1月に実施予定の授業(第3回)は延期とした。

2. 大学・専門学校等への出張講座および講師協力

参加者：94

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	12/6	クリエイティブワーク総論「専門と一般」 専門と一般をキーワードに美術館での鑑賞活動や鑑賞効果について講義 会場：長野美術専門学校(オンライン配信) 担当：青山由貴枝	専門学校生、教員	94

3 インクルーシブ・プロジェクト

美術館がだれでも安心してアートと出会う場所になることを目指すプロジェクト。障がいのある方がより安心して美術館に訪れることができるよう、休館日に開館し、展覧会を鑑賞することができる「障がいのある方のための特別鑑賞日」の開催。特別鑑賞日開催に伴い、館内スタッフのインクルーシブスキル向上を図るため事前研修を実施した。

1. 館職員を対象としたインクルーシブ研修会の実施

参加者：69

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/15 8/1	「あいサポーター研修」 障がいの種別や障がい者の生活について 講師：水澤幸子 (長野県健康福祉部障がい者支援課) 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝	職員、 アート・コミュニ ケータ、 博物館実習生	47
2	12/6	「福祉で学ぶ！訪問講座」 身体障がい、視覚障がいについて 講師：広沢里枝子(長野大学 非常勤講師) 川崎昭二(長野県社会福祉協議会) 会場：長野県立美術館(ホール) 担当：青山由貴枝	職員、 アート・コミュニ ケータ	22

2. 障がいのある方のための特別鑑賞日

参加者：159

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	8/4	障がいのある方のための特別鑑賞日(プレ開催) 館紹介や展覧会の簡単な解説をおこなうワンポ イントトークや、ひらくツール体験コーナーを設置 会場：全館 担当：青山由貴枝、塚本かな恵、大西葵	障がいのある方と 付添 (県内各障がい者 協会へ参加依頼)	58
2	12/15	障がいのある方のための特別鑑賞日 館紹介や展覧会の簡単な解説をおこなうワンポ イントトークや、ひらくツール体験コーナーを設置 会場：全館 担当：青山由貴枝、大西葵	障がいのある方と 付添	101

3. トークフリーデー

声の大きさを気にせずに、展覧会を楽しみ、作品をみて感じたことを話ながら作品鑑賞を楽しむ「トークフリーデー」を次のとおり年2回設定し、来館者のより深い作品鑑賞を促す機会とした。

日程：5月5日(水・祝)「こどもの日」

11月3日(水・祝)「文化の日」

※開催時間は開館時間に準ずる

※参加者は展覧会来場者数に準ずる



インクルーシブ研修会の様子



障がいのある方のための特別鑑賞日①



障がいのある方のための特別鑑賞日②



障がいのある方のための特別鑑賞日③



障がいのある方のための特別鑑賞日④

学習事業

1 スクールプログラム

県内外の小・中・高等学校、特別支援学校を対象とした学校団体鑑賞の受入は、「自由鑑賞」「ガイドツアー」「たてもとのツアー」の3つのプログラムで計168校(児童生徒7,015名)が参加した。

また、信州大学附属病院 院内学級への出張講座を1回実施し、教員研修として県内の教員の研究会等からの講師依頼を6回、美術館主催研修を1回実施、貸出教材「長野版アートゲーム」は昨年度から引き続き、30校の学校へ貸出した。



1. 学校団体鑑賞の受入

自由鑑賞

受け入れ人数：5832

No.	来館日	学校名/学年	児童 生徒	引率 教員	合計
1	4/10	長野県岩村田高等学校 美術部 1～3年	5	1	6
2	4/20	長野市立城山小学校 6年	34	2	36
3	4/20	つくば開成学園高等学校 長野学習センター	20	2	22
4	4/22	安曇野市立豊科南中学校 3年	105	9	114
5	4/22	長野市立城山小学校 5年	26	1	27
6	4/23	長野県長野ろう学校 中学部2年	7	2	9
7	4/23	長野市立城山小学校 6年	34	3	37
8	4/26	長野市立城山小学校 特別支援学級	2	1	3
9	4/26	長野市立城山小学校 5年	26	1	27
10	4/27	長野市立城山小学校 5年	27	1	28
11	4/27	長野清泉女学院高等学校 美術部 1～3年	9	1	10
12	5/3	長野県須賀高等学校 1～3年	15	1	16
13	5/5	長野西高等学校 写真班	8	1	9
14	5/10	学校法人いづな学園 グリーン・ヒルズ小学校 1～6年	22	5	27
15	5/11	長野市立北部中学校 1年	202	1	203
16	5/14	飯綱町立牟礼小学校 4年	47	4	51
17	5/21	佐久市立田口小学校 5年	39	3	42
18	5/21	富士市立吉原第一中学校 3年	32	2	34
19	5/27	長野県長野工業高等学校 2年	40	3	43
20	5/28	佐久市立田口小学校 4年	32	4	36
21	5/29	長野朝鮮初中級学校 中1～3	17	4	21
22	6/1	益子町立益子中学校 3年	102	8	110
23	6/3	学校法人いづな学園 グリーン・ヒルズ中学校 1～3年	4	1	5
24	6/11	エクセラン高等学校 3年	7	1	8
25	6/22	長野市立城山小学校 3年	34	3	37
26	6/24	長野市立城山小学校 3年	31	2	33
27	6/24	長野市立三輪小学校 5年	65	3	68
28	7/2	上三川町立明治中学校 3年	104	10	114
29	7/2	長野市立豊野東小学校 4年	27	3	30
30	7/16	中野市立豊田中学校 3年	26	4	30
31	7/16	小諸市立東小学校 4年	62	65	127
32	7/19	長野県長野養護学校 高等部 2年	15	4	19
33	7/19	長野県長野養護学校 高等部 1年	13	4	17
34	7/20	茅野市立永明小学校 6年	33	1	34
35	7/29	富山県立富山いづみ高等学校2年	70	4	74
36	7/30	長野県長野ろう学校 中1～高3	7	2	9
37	8/6	長野県篠ノ井高等学校 1～3年	10	1	11
38	9/17	宮田村立宮田小学校 4年	101	8	109
39	9/27	須坂市立豊洲小学校 4年	25	2	27
40	9/27	小川町立小川小学校 4年	12	2	14
41	9/27	長野清泉女学院高等学校 3年	25	1	26
42	9/28	長野市立川中島小学校 5年	117	7	124
43	9/30	長野市立長野中学校 3年	5	1	6
44	10/1	長野市立城東小学校、長野ろう学校 1年	59	6	65
45	10/1	千曲市立上山田小学校 5年	35	3	38
46	10/1	飯綱町立三水小学校 3年	26	3	29
47	10/1	富士見町立本郷小学校 4年	38	5	43

No.	来館日	学校名/学年	児童 生徒	引率 教員	合計
48	10/1	長野市立長野中学校 1年	69	10	79
49	10/2	豊野高等専修学校 1～3年	12	2	14
50	10/4	佐久市立望月小学校 4年	55	4	59
51	10/5	信州中央高等学校 2～3年	7	3	10
52	10/8	長野市立三本柳小学校 2年	114	7	121
53	10/8	才教学園中学校 3年	30	4	34
54	10/9	小田原市立国府津中学校 3年	101	9	110
55	10/11	安曇野市立明南小学校 4年	36	3	39
56	10/11	飯田市立三穂小学校 4年	9	2	11
57	10/12	飯田市立伊賀良小学校 4年	147	9	156
58	10/14	北杜市立長坂小学校 6年	55	7	62
59	10/15	安曇野市立明南小学校 5年	38	2	40
60	10/15	東御市立東部中学校特別支援学級	12	3	15
61	10/15	長野県寿台養護学校 松ろうキャンパス 高等部 2年	3	3	6
62	10/15	上田市立清明小学校 4年	45	4	49
63	10/18	上田市立堀川小学校 4年	26	2	28
64	10/19	群馬県高山村立高山小学校 6年	26	6	32
65	10/19	長野市立柳原小学校 5年	66	4	70
66	10/19	岐阜県高山市立北稜中学校 3年	29	3	32
67	10/21	長野市立若槻小学校 5年	75	5	80
68	10/21	松本市立山辺中学校 3年	100	8	108
69	10/22	大町市立仁科台中学校 3年	37	3	40
70	10/22	泰阜村立泰阜中学校 3年	15	5	20
71	10/24	信濃町立信濃小中学校 美術部	24	2	26
72	10/24	高崎市立倉渕中学校 3年	24	5	29
73	10/25	長野市立城山小学校 6年	31	2	33
74	10/26	長野市立城山小学校 6年	30	1	31
75	10/26	小布施町立栗ヶ丘小学校 5年	104	7	111
76	10/28	富山市立城山中学校 3年	28	2	30
77	10/28	上田市立中塩田小学校 4年	80	5	85
78	10/28	木曽町立福島小学校 5年	39	5	44
79	11/1	長野市立豊野中学校 特別支援学級1～3年	5	3	8
80	11/1	長野市立朝陽小学校 特別支援学級1～6年	19	8	27
81	11/1	長野市立三陽中学校 特別支援学級1～3年	18	5	23
82	11/1	長野市立南部小学校 特別支援学級1～6年	12	8	20
83	11/1	つくば開成学園高等学校 岡谷学習センター 3年	4	2	6
84	11/2	長野市立信里小学校 5年	8	2	10
85	11/5	長野清泉女学院高等学校 2年	113	10	123
86	11/5	玉村町立南小学校 6年	28	2	30
87	11/9	飯山市立戸狩小学校 4年	17	2	19
88	11/9	八千代町立八千代第一中学校 3年	68	6	74
89	11/9	高山村立高山小学校 4年	58	4	62
90	11/9	長野県坂城高等学校 1年	3	2	5
91	11/11	下諏訪町立下諏訪南小学校 4年	88	6	94
92	11/11	長野市立通明小学校 5年	63	4	67
93	11/11	群馬県立渋川女子高等学校1年	39	2	41
94	11/11	長野市立通明小学校 5年	60	4	64
95	11/12	飯島町立飯島小学校 4年	51	6	57
96	11/12	長野県上田千曲高等学校 建築科3年	37	2	39

No.	来館日	学校名／学年	児童・ 生徒	引率 教員	合計
97	11/15	中野市立平野小学校 5年	63	4	67
98	11/16	高崎市立倉渚中学校 2年	14	3	17
99	11/16	駒ヶ根市立赤穂南小学校 4年	61	5	66
100	11/16	大町市立大町北小学校 6年	53	8	61
101	11/18	大町市立大町東小学校 4年	27	3	30
102	11/18	千曲市立屋代小学校 5年	33	2	35
103	11/19	千曲市立屋代小学校 5年	34	2	36
104	11/19	東御市立北御牧小学校 4年	33	3	36
105	11/19	長野吉田高等学校 1年	90	5	95
106	11/19	長野県稲荷山養護学校 中学部 1年、3年	7	5	12
107	11/22	飯山市立東小学校 4年	14	2	16
108	11/22	佐久市立青沼小学校 4年	6	2	8
109	11/25	小諸市立野岸小学校 4年	44	3	47
110	11/26	長野県安曇養護学校 高等部 あつみ野分教室 3年	6	2	8
111	11/26	長野県稲荷山養護学校高等部 3年	15	8	23
112	11/26	飯山市立木島小学校 4年	18	2	20

ガイドツアー

No.	来館日	学校名／学年	児童・ 生徒	引率 教員	合計
1	6/4	長野清泉女学院高等学校 2年	22	2	24
2	6/7	長野清泉女学院高等学校 1年	49	5	54
3	6/14	長野清泉女学院高等学校 1年	47	5	52
4	6/15	長野県岡谷工業高等学校 2年	39	2	41
5	6/22	長野県屋代高等学校 附属中学校 1年	77	5	82
6	6/25	長野日本大学小学校 3年	43	2	45
7	7/1	長野県若槻養護学校 小学部	3	6	9
8	7/2	長野県長野西高等学校 中条校 2年	18	2	20
9	7/5	野沢温泉村立野沢温泉小学校 4年	23	2	25
10	7/8	長野県長野商業高等学校 1年	16	2	18
11	7/13	長野県稲荷山養護学校 高等部 2年	34	18	52
12	7/15	長野県盲学校 中等部・高等部	12	15	27
13	8/10	長野県長野商業高等学校 美術部	7	1	8
14	9/16	長野市立戸隠小学校 2年	14	2	16
15	9/27	小川村立小川小学校 4年	12	2	14
16	9/30	辰野町立川島小学校 3～5年	4	2	6
17	10/5	長野市立城山小学校 3年	33	3	36
18	10/7	長野市立城山小学校 3年	30	2	32
19	10/12	上田市立菅平小学校 4年	13	2	15
20	10/18	上田市立西内小学校 3～4年	5	2	7

たてものツアー

受け入れ人数：21

No.	来館日	学校名／学年	児童・ 生徒	引率 教員	合計
1	6/11	地球環境高等学校	8	3	11
2	6/18	長野市立西条小学校 3年	8	2	10

No.	来館日	学校名／学年	児童・ 生徒	引率 教員	合計
113	11/26	小谷村立小谷小学校 4年	24	2	26
114	11/29	長野県上田千曲高等学校 建築科 2年	35	2	37
115	11/30	長野県諏訪市立中州小学校 4年	117	8	125
116	12/3	(三輪小学校内)三輪中間教室	6	6	12
117	12/3	才教学園中学校 1年	30	4	34
118	12/4	長野清泉女学院高等学校 3年	43	4	47
119	12/7	長野市立青木島小学校 5年	95	5	100
120	12/9	長野市立昭和小学校 6年	117	6	123
121	12/9	地球環境高等学校 1～3年	25	5	30
122	12/10	富山県商業教育振興会1～2年	7	2	9
123	12/17	長野養護学校 高等部 すざか分教室 1年	10	5	15
124	12/21	長野市立鍋谷田小学校 6年	30	2	32
125	12/24	東御市立和光小学校 4年	54	4	58
126	1/15	福岡県立太宰府高等学校	6	1	7
127	2/22	長野市立城山小学校 5年	41	1	42
128	2/25	長野市立城山小学校 5年	40	2	42
129	3/25	女子美術大学附属中学校	124	11	135

受け入れ人数：1162

No.	来館日	学校名／学年	児童・ 生徒	引率 教員	合計
21	10/21	天龍村立天龍小学校 6年	3	2	5
22	10/29	長野市立若槻小学校 3年	68	4	72
23	11/1	立科町立立科小学校 6年	54	11	65
24	11/2	上田市立西小学校 特別支援学級1～6年	34	5	39
25	11/8	長野市立城東小学校 6年	50	2	52
26	11/9	南牧村立南牧北小学校 4年	13	2	15
27	11/12	佐久市立岩村田小学校 4年	26	2	28
28	11/12	飯山市立泉台小学校 6年	9	2	11
29	11/25	長野市立城山小学校 4年	26	2	28
30	11/29	箕輪町立箕輪北小学校 4年	58	5	63
31	12/2	長野市立城山小学校 3年	31	2	33
32	12/6	長野市立城東小学校 6年	47	3	50
33	12/6	長野日本大学小学校 4年	42	2	44
34	12/7	長野市立城山小学校 3年	31	3	34
35	12/16	小布施町立小布施中学校 特別支援学級1～3年	5	2	7
36	12/23	長野県飯山養護学校 高等部2年	14	10	24
37	12/23	長野県稲荷山養護学校 高等部 更科分教室 1年	7	2	9



2. 盲・ろう・特別支援学校等への出張講座

参加者：14

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	12/3	信州大学附属病院 院内学級 「もぎって魁夷！カラフルホースをつくろう」(造形体験) 担当：青山由貴枝、大西葵	小中 教員	14

※新型コロナウイルス感染症の影響により、県立こども病院院内学級への出張講座は中止した。

3. 学校教職員の研修会等の開催および協力

参加者：121

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/22	千曲市立屋代小学校(キャリアアップ研修) Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップを体験 会場：長野県立美術館(交流スペース外) 担当：青山由貴枝	教員	2
2	7/29	令和3年度 長野上水内中学校美術科教科研究会 県立美術館の紹介／学芸員の仕事について解説／館内見学 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝、大西葵	教員	30
3	8/4 12/15	長野養護学校(キャリアアップ研修) 障がいのある方のための特別鑑賞日スタッフを体験 会場：長野県立美術館 担当：青山由貴枝、大西葵、塚本かな恵	教員	1
4	8/5	北安曇美術研究会 県立美術館の紹介／「長野版アートゲーム」を使用した鑑賞方法／館内見学 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝、大西葵	教員	4
5	8/9	令和3年度 長野市国工美術研究委員会研究会 ICTを活用した鑑賞事例紹介／館内見学 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝、大西葵	教員	13
6	8/12	長野県立美術館「ティーチャーズ・デイ 対話型鑑賞研修会」 対話型鑑賞について／館内見学 講師：伊達隆洋(京都芸術大学アート・プロデュース学科) 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝、大西葵	教員	20
7	11/30	長野市私立保育協会 主任保育士・青年部合同研修会 県立美術館の紹介／「長野版アートゲーム」を使用した鑑賞方法／造形体験／館内見学 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝、大西葵	保育士	51

4. 鑑賞教材「長野版アートゲーム」の貸出

貸出数：30件

No.	貸出先	教師用	生徒用
1	佐久市立沢野中学校	1	6
2	阿南第二中学校	2	6
3	下諏訪町立下諏訪中学校	1	8
4	佐久市立浅科中学校	1	6
5	清泉女学院大学	1	4
6	長野市立篠ノ井東小学校	1	6
7	信州大学医学部附属病院院内学級	1	2
8	須坂市立井上小学校	0	6
9	長野市立三輪小学校	1	6
10	長野清泉女学院中学・高等学校	1	6
11	坂城町立坂城中学校	0	1
12	阿智村立阿智中学校	1	8
13	岡谷市立岡谷北部中学校	1	7
14	小諸市立芦原中学校	0	4
15	安曇野市立豊野北中学校	1	10
16	辰野町立川島小学校	3	3
17	茅野市立東部中学校	1	9
18	長野県立松本美須々丘高等学校	1	6
19	つくば開成学園高等学校 長野学習センター	1	1
20	長野清泉女学院中学・高等学校	0	9
21	中川村立中川中学校	1	6
22	箕輪町立箕輪中学校	2	12
23	中野市立平野小学校	1	8
24	佐久市立泉小学校	1	20
25	明星大学	1	1
26	千曲市立屋代小学校	2	14
27	長野市立湯谷小学校	1	6
28	長野市立豊野中学校	1	7
29	長野市立真島小学校	1	7
30	岡谷市立上原小学校	2	4



院内学級



教員研修会の様子①



教員研修会の様子②



教員研修会の様子③

2 鑑賞プログラムの開催

子どもから大人までを対象に、コレクションや展覧会をテーマにした毎月1回の体験プログラム「こどもアートラボ」や、新しくなった県立美術館をめぐる「たてものツアー」を開催し、美術館に初めて訪れる方が、アートに親しむための機会とした。

1. こどもアートラボ

参加者：452

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/8	こどもアートラボ① 「未来へつなぐ！私の〇〇〇！」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、塚本かな恵、大西葵	子どもから 大人まで	60
2	6/12	こどもアートラボ② 「たじけん監修 布引牛をつくろう」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、塚本かな恵、大西葵	子どもから 大人まで	60
3	7/10	こどもアートラボ③ 「建築家・宮崎浩に挑戦！木端でつくろう美術館」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、塚本かな恵、大西葵	子どもから 大人まで	71
4	8/14	こどもアートラボ④ 「自分だけのオリジナルハンガーをつくろう」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、塚本かな恵、大西葵	子どもから 大人まで	51
5	11/13	こどもアートラボ⑦ 「まねっこ魁夷！スタンプバッグをつくろう」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、大西葵	子どもから 大人まで	49
6	12/11	こどもアートラボ⑧ 「ちぎって魁夷！カラフルホースをつくろう」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、大西葵	子どもから 大人まで	81
7	1/8	こどもアートラボ⑨ 「松井康成に挑戦！練上手でお皿をつくろう」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、大西葵	子どもから 大人まで	80

※「こどもアートラボ」9/11(土)、10/9(土)、2022年2/12(土)、3/12(土)は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

2. たてものツアー

参加者：15

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	6/12	たてものツアー① 県立美術館の建築に使われた素材や、特徴などの解説を聞きながら館内をめぐるツアー 担当：青山由貴枝	子どもから 大人まで	8
2	8/14	たてものツアー② 県立美術館の建築に使われた素材や、特徴などの解説を聞きながら館内をめぐるツアー 担当：青山由貴枝	子どもから 大人まで	7

※「たてものツアー」10/9(土)、12/11(土)、2022年2/12(土)は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、「おやこでトーク」、「ベビーカーツアー」は中止した。



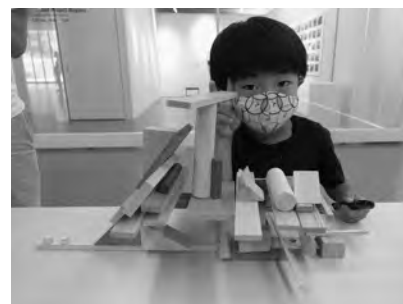
こどもアートラボ①



こどもアートラボ②



こどもアートラボ③



こどもアートラボ④



たてものツアー

3 アート・コミュニケーター

アートを介してさまざまなコミュニケーション活動をおこなう人々「アート・コミュニケーター(AC)」とともに、美術館を「出会いと学びの場」とする事業。

本年度は、2020年度に募集したアート・コミュニケーター1期生34名が美術館に通いながら、館主催プログラムへの参加や、日々の活動の中から生まれたAC自主企画などを積極的におこなった。

館内活動の拠点は、本館2階のアート・コミュニケータールームを使用するが、コロナ禍の本年度は、美術館とAC、AC同士をつなぐツールとして、メーリングリストや専用掲示板のほかに、オンライン会議システム zoom ミーティングを使用し、情報共有の機能を充実させた。

1. 館主催プログラムへの参加

No.	開催日	事業内容	回数	AC	一般参加者数
1	4/2 4/3	企画展「ふれてみて」レクチャー 「触れ方マスター」 ふれる美術作品の鑑賞方法や注意点のレクチャー講座を実施。担当学芸員の解説を聞きながら、作品の触り方を体験。	2回	14	0
2	5月 ～1月	鑑賞プログラム「こどもアートラボ」事前準備 子どもから大人までを対象とした造形体験の事前準備に参加。	8回	49	0
3	5月 ～1月	鑑賞プログラム「こどもアートラボ」 子どもから大人までを対象とし、コレクションや展覧会をテーマに造形体験を開催。当日スタッフとして活動。	7回	25	452
4	5月 ～10月	Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ 彫刻家・富長敦也による、3つの巨石を来館者とともに磨く「石磨きワークショップ」に参加	21回	60	1801
5	6/13 6/18	Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ ACで磨こうデイ AC限定の「石磨きワークショップ」を実施	2回	9	0
6	6/12 8/14	鑑賞プログラム「たてものツアー」 県立美術館の建築に使われた素材や、特徴などの解説を聞きながら館内を巡るツアーに誘導スタッフとして参加。	2回	2	15
7	8/19～ 22	企画展「森と水と生きる」作家作品展示作業 「クジラ作品を展示室に浮かべたい！」 出品作家・大小島真木の作品の展示作業スタッフとして参加	4回	13	0
8	7/15 8/1 12/6	障がいのある方のための特別鑑賞日スキルアップ研修 講義やアイマスク体験等を通して、障がいの種別や、障がいのある方の生活を学んだ。	3回	22	0
9	8/4 12/15	障がいのある方のための特別鑑賞日 休館日に開館し障がいのある方が安心して展覧会を鑑賞することができる特別鑑賞日にスタッフとして参加	2回	14	159
10	11/9	企画展「森と水と生きる」作家作品撤収作業 「大小島真木さんとクジラを海に返そう！」 出品作家・大小島真木の作品の撤収作業スタッフとして参加	1回	11	0
合計				219	2427

2. AC企画プログラムの開催

No.	開催日	事業内容	回数	AC	一般参加者数
1	9月 ～11月	“Soil Full World” 土で描こう！事前準備 土を使用したワークショップ開催に向けて、試作品づくり等の事前準備を実施	5回	27	0
2	11/27	“Soil Full World” 土で描こう！ 子どもから大人までを対象とし、さまざまな土を用意して、絵を描くワークショップを開催	1回	11	33
3	1/22	ゆる～い！AC新年会(オンライン) AC全員に呼びかけ、オンライン会議システム zoom ミーティングを使用して近況報告や情報交換会を開催	1回	16	0
合計				54	33



アートライブラリー

1 統計

	展覧会カタログ	図書	雑誌(年報・紀要等含む)
購入	7	230	157
寄贈	407	102	292
計	414	332	449

※総受入数は1189冊

利用統計

	入室者(人)	図書出納利用者(人)	出納図書(冊)	レファレンス(件)	複写(件)
4月	3303	0	0	5	6
5月	3884	1	1	11	5
6月	3051	0	0	8	5
7月	3409	4	7	6	3
8月	2610	0	0	3	0
9月	—	—	—	—	—
10月	2400	3	24	10	4
11月	2950	2	4	11	4
12月	1780	3	4	4	0
1月	1624	0	0	4	1
2月	—	—	—	—	—
3月	—	—	—	—	—
	25011人	13人	40冊	62件	28件

※新型コロナウイルス対策のため、8月21日から9月30日、2022年1月13日から3月31日まで休室
 ※12月16日から27日まで蔵書点検のため休室

2 アートライブラリーについて

長野県立美術館リニューアルに伴い、アートライブラリーが新設され令和3年4月10日に開室した。

アートライブラリーは、美術に関する図書資料情報の収集、整理、保存、提供が主な業務である。一般に公開されたアートライブラリーは、一般の利用者、外部の研究者に対し、図書資料の提供、閲覧、レファレンス、複写サービス業務、研究利用の支援を行う。

3 図書資料の収集

(1) 図録・図書

県内美術館・博物館の図録の収集、及び美術館収蔵作家に関する図録収集。

展覧会や作家研究等に必要な図録を購入及び寄贈により収集。

アートライブラリーに配架の図書を重点的に購入。

展覧会や作家研究に必要なものを購入。

(2) 雑誌

購入による閲覧用雑誌：和雑誌・14タイトル、洋雑誌・3タイトル

閲覧用寄贈和雑誌・3タイトル。

所蔵雑誌のバックナンバーや欠号の補充。

4 図書資料の整理

(1) 図書・図録のバーコードラベル作成

形状

館名	長野県立美術館
色	コバルトブルー 館名は白抜き
バーコード色	白地に黒印刷

※資料番号およびチェックデジット(C/D)3はじまり 2桁目は0

長野県立美術館と館名改称のため、館名改称分のバーコードラベルを作成。

規格等

①	種類	NW-7
②	チェックデジット	モジュラス 10 / ウェイト 2・1 / 分割
③	サイズ	横40mm × 縦22mm
④	先頭番号	3
⑤	資料番号の桁数	チェックデジットを入れて10桁
⑥	バーの高さ	9mm

※昨年度の「長野県信濃美術館」館報 No.23、アートライブラリー(38p)内2)企画等 ②の「チェックデジット」は誤り。正しくは、「チェックデジット」

5 ライブラリーサービス

(1) 蔵書・所蔵作品検索

インターネットによる蔵書検索システム(OPAC)並びに所蔵作品検索端を設置。

新型コロナウイルス感染拡大によるアートライブラリー休室に伴い、未利用となっている。

(2) 閲覧

一般来館者に対して、美術館の蔵書をアートライブラリー内での利用に限定して閲覧を可能とした。尚、館外への貸出は行っていない。

(3) レファレンスサービス

美術図書や図録についての質問や所蔵状況の問い合わせ等への対応。

来館者からのレファレンスについては、当館での所蔵状況、他図書館等の在庫確認を行い、そのレファレンスは、国会図書館のレファレンス共同データベースに掲載。

(4) 複写サービス

所蔵図書資料については、著作権の範囲内で複写サービスを実施。

(5) 図書利用について

長野県立美術館ホームページに利用についての案内を掲載。

利用案内パンフレットを作成し、当室内を含む館内数か所に設置、関係機関にも送付。

6 外部連携等関連

(1) 国立国会図書館レファレンス協同データベース事業に参加

(2) 展覧会関連展示

「人工衛星『しきさい』～宇宙から地球の彩を～」

会期：6月24日(木)から8月22日(日)

企画展「めぐりあり JAXA- ながのとながめ」(会期：6月19日(土)から8月15日(日))の関連展示として実現した JAXA とのコラボ展。JAXA より、衛星しきさいに関するポスターと、クレイアニメーション動画、動画に使用したクレイ人形やしきさい模型を借用し、アートライブラリー内にて展示。また、衛星だいち2号機、しきさいに関するチラシの配布も行った。

(3) まちなか本さんぽ

アートライブラリー実施期間：10月28日(木)から12月14日(火)

主催者：まちなか本さんぽ実行委員会

(他店舗実施期間：10月27日(水)から12月末)

善光寺界隈から長野駅周辺の各店舗が、それぞれ選んだ本を並べ、本をテーマに各店舗を巡るイベント。

アートライブラリー司書と、図書スタッフでそれぞれ選書し、キャプションに、本のタイトル、本を選んだ理由、本の解説などを転記。

収蔵品貸出

主催者等		展覧会名称	展覧会会期	
MIDORI 長野			令和3年4月8日～9月26日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	練上大壺	1988	陶器
3	松井康成	萃瓷練上壺	1994	陶器
4	松井康成	練上玻璃光壺	1999	陶器
神戸市立博物館、富山県美術館		「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」	令和3年4月24日～6月6日、9月18日～11月7日	
5	東山魁夷	煙雨	1973	紙本・彩色
6	東山魁夷	流れる霧	1973	紙本・彩色
7	東山魁夷	瀧の音	1973	紙本・彩色
8	東山魁夷	山雲	1973	紙本・彩色
9	東山魁夷	霧深き谷	1973	紙本・彩色
10	東山魁夷	朝雲	1973	紙本・彩色
11	東山魁夷	深山の樹	1973	紙本・彩色
12	東山魁夷	緑の溪	1973	紙本・彩色
13	東山魁夷	朝濤	1973	紙本・彩色
14	東山魁夷	波頭	1973	紙本・彩色
15	東山魁夷	渚にて	1973	紙本・彩色
16	東山魁夷	松濤	1973	紙本・彩色
17	東山魁夷	海風	1973	紙本・彩色
18	東山魁夷	潮騒	1973	紙本・彩色
19	東山魁夷	松と岩	1973	紙本・彩色
20	東山魁夷	渚の波紋	1973	紙本・彩色
21	東山魁夷	山雲 小下図(二〇分の一)	1973	紙本・彩色
22	東山魁夷	濤声 小下図(二〇分の一)	1973	紙本・彩色
23	東山魁夷	山雲 中下図(五分の一)	1973	紙本・彩色
24	東山魁夷	山雲 割出図(五分の一)	1973	紙・透明シート、ペン
25	東山魁夷	濤声 中下図(五分の一)	1973	紙本・彩色
26	東山魁夷	濤声 割出図(五分の一)	1973	紙・透明シート、ペン
27	東山魁夷	山雲 試作	1974	紙本・彩色
28	東山魁夷	濤声 試作	1974	紙本・彩色
29	東山魁夷	揚州所見	1976	紙本・墨画
30	東山魁夷	煙雨	1976	紙本・墨画
31	東山魁夷	瘦西湖	1976	紙本・墨画
32	東山魁夷	万山水明	1976	紙本・墨画
33	東山魁夷	桂林大観	1976	紙本・墨画

34	東山魁夷	桂林奇峰	1976	紙本・墨画
35	東山魁夷	桂林の月	1976	紙本・墨画
36	東山魁夷	水光	1976	紙本・墨画
37	東山魁夷	離江漁火	1976	紙本・墨画
38	東山魁夷	柳樹 A	1976-1977	紙本・墨画
39	東山魁夷	柳樹 C	1976-1977	紙本・墨画
40	東山魁夷	柳樹 G	1976-1977	紙本・墨画
41	東山魁夷	蓬萊三島	1978	紙本・墨画
42	東山魁夷	雲中層嶂	1978	紙本・墨画
43	東山魁夷	黄山雨収	1978	紙本・墨画
44	東山魁夷	白雲重疊	1978	紙本・墨画
45	東山魁夷	群れ立つ石峰	1978	紙本・墨画
46	東山魁夷	黄山旭日	1978	紙本・墨画・淡彩
47	東山魁夷	仙境	1978	紙本・墨画
48	東山魁夷	暮靄	1978	紙本・墨画
49	東山魁夷	瑞光 試作	1980	紙本・彩色
MIDORI 長野			令和3年9月27日～2022年4月17日	
50	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
51	松井康成	萃瓷練上大壺「風光る」	1995	陶器
52	松井康成	萃瓷練上壺	1996	陶器
53	松井康成	練上玻璃光壺	1996	陶器
飯田市美術館			菱田春草没後110年記念特別展「菱田春草展」	
			令和3年10月9日～11月7日	
54	菱田春草	松写生図	1890	紙本・墨画
55	菱田春草	牧牛	1893頃	紙本・彩色
56	菱田春草	秋夜図	1903頃	絹本・彩色
57	菱田春草／横山大観	寿老・布袋図	1903頃	絹本・彩色
58	西郷孤月／菱田春草／横山大観	月夜山水	1901頃	絹本・彩色
水野美術館			没後110周年記念「菱田春草と画壇の挑戦者たち～大観、観山、その後の日本画」	
			令和3年10月9日～12月12日	
59	菱田春草	雄快(海岸怒涛)	1902	絹本・彩色
60	菱田春草	夕陽	1903	絹本・彩色
61	菱田春草／横山大観	乳糜供養・釈迦と魔女	1903頃	絹本・彩色
三重県立美術館、 福岡県立美術館			「杉浦非水 時代をひらくデザイン」	
			令和3年11月23日～令和4年1月30日、4月15日～6月12日	
62	杉浦非水／杉浦翠子	合作(モミジイチゴ)	不詳	絹本・彩色

MIDORI 長野展示

令和3（2021）年度上半期（4月8日から9月26日）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	練上大壺	1988	陶器
3	松井康成	萃瓷練上壺	1994	陶器
4	松井康成	練上玻璃光壺	1999	陶器

令和3（2021）年度下半期（9月27日から2022年4月17日）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	萃瓷練上大壺「風光る」	1995	陶器
3	松井康成	萃瓷練上壺	1996	陶器
4	松井康成	練上玻璃光壺	1996	陶器



MIDORI 長野展示

みんなのアートプロジェクト

「みんなのアートプロジェクト」は、ふるさと納税の仕組みを活用し、新しい県立美術館の無料ゾーンに展示するオリジナル作品を制作するプロジェクト。

長野県立美術館本館は令和3(2021)年4月10日にオープン。長野県ではその設計段階から、「県民リレー・ワークショップ」や「県民フォーラム」等を開催し、その中で意見を受け、無料で作品を鑑賞することができる「屋根のある公園」と呼ぶ無料ゾーンを設けることとなった。誰もがあらゆる感覚を使って美術を楽しむとともに、アートを身近に感じられる場所を育てていくことを目指し、本プロジェクトでは、無料ゾーンで展示するための、触れることのできる美術作品や映像作品を制作し、展示した。

〈触れる美術作品〉

本館2階には「アートラボ」が開設。「アートラボ」の「ラボ」は「ラボラトリー(実験室)」を意味して命名。視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な作品を展示することで、新たな発見が生まれる場となることを目指している。「みんなのアートプロジェクト」では、4名の作家に「アートラボ」のためのオリジナル美術作品の制作を平成30(2019)年に依頼し、令和3(2021)年に作品が完成した。

【作品一覧】

	作家名	作品名	素材	サイズ(高さ×幅×奥行)cm	制作年	制作協力
1	金箱淳一＋ 原田智弘	音鈴一信濃	基板、マイコン、センサ、振動スピーカー、LED	300.0×400.0×400.0	2021	中村開
2	金箱淳一	Vibracion Banco	木、振動スピーカー、アンプ、コンピューター、センサ	46.0×180.0×31.1、 45.2×179.8×30.9(2点1組)	2021	川本楽器 工房
3	中ハシクシゲ	おしめの家族(車椅子犬)	イロブラ樹脂(オレフィン系樹脂)、ステンレス鋼	40.0×80.0×40.0	2021	
4	中ハシクシゲ	おしめの家族(介護犬)	イロブラ樹脂(オレフィン系樹脂)、水系樹脂	25.0×60.0×50.0	2021	
5	中ハシクシゲ	おしめの家族(おしめ観音)	イロブラ樹脂(オレフィン系樹脂)、水系樹脂	65.0×50.0×60.0	2021	
6	中ハシクシゲ	おしめの家族(おねんね)	イロブラ樹脂(オレフィン系樹脂)、水系樹脂	20.0×60.0×75.0	2021	
7	中ハシクシゲ	おしめの家族(ハイハイ)	イロブラ樹脂(オレフィン系樹脂)、水系樹脂、ステンレス鋼、アクリル絵具	40.0×25.0×70.0	2021	
8	西村陽平	ペットボトル2(タカラ本みりん)	ペットボトル、鉛	53.2×45.4×4.1	2021	
9	西村陽平	ペットボトル1	ペットボトル、鉛	40.3×32.5×3.1	2021	
10	西村陽平	缶コーヒー	アルミ缶、アルミ板	32.4×30.5×1.5	2021	
11	西村陽平	缶ビール	アルミ缶、アルミ板	32.5×30.5×1.8	2021	
12	西村陽平	死者の書	土、紙、鉄	110.0×40.5×45.0	2021	
13	西村陽平	カップと石の関係ー溶ける石	石、カップ	39.8×32.5×17.9	2021	
14	西村陽平	カップと石の関係ー叫ぶ石	石、カップ	28.3×26.4×19.5	2021	
15	西村陽平	彫刻に耳を澄ます	粘土、電球、ラジオ	83.0×43.0×43.0、 86.0×44.0×44.0(2点1組)	2021	
16	光島貴之	まち歩き ー善光寺参道から信濃美術館へ	木製パネル、ミクストメディア	200.0×1020.0×17.0	2021	アトリエ みつしま
17	光島貴之	触覚でめぐる360度	木製パネル、ミクストメディア	40.0×40.0×160.0	2021	アトリエ みつしま
18	光島貴之	かたちと手ざわりで 行ったり来たり	木製パネル、カッティングシート、釘、鋏、ピン	140.0×255.0×19.0	2021	アトリエ みつしま
19	光島貴之	新しい点字ブロック (行きたい方向を足裏で感じる)	木製パネル、ステンレス板、ベニヤ、布、スポンジゴム、釘、ピン	40.0×40.0×7.3	2021	アトリエ みつしま

	作家名	作品名	素材	サイズ(高さ×幅×奥行)cm	制作年	制作協力
20	光島貴之	新しい点字ブロック(ショッピングモールでハンバーガー屋さんを見つける)	木製パネル、ベニヤ、スポンジゴム、鋳	40.0×40.0×7.5	2021	アトリエみつしま
21	光島貴之	新しい点字ブロック(待ち合わせ場所)	木製パネル、パイン集成材、釘、鋳、ガラス玉	40.0×40.0×1.14	2021	アトリエみつしま

【作家紹介】

■金箱 淳一

楽器インターフェース研究者、Haptic Designer。神戸芸術工科大学助教。

筑波大学大学院人間総合科学研究科で博士(感性科学)を取得後、障がいや年齢に関係なく、共に音楽を楽しめる「共遊楽器」(作家による造語)を研究。

1984年：長野県浅科村(現：佐久市)生まれ

2007年：第11回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門審査委員会推薦作品

2013年：Asia Digital Art Award エンターテインメント部門大賞、経済産業大臣賞

■中ハシクシゲ

現代美術作家、彫刻家。京都市立芸術大学名誉教授。

視覚を遮断して制作するという実験的な手法により、触覚体験の可能性を探索。

1955年：香川県生まれ

1990年代末～：日本の風土に寄り添った彫刻制作を志向し、剪定された松や力士像、写真を使った「ゼロ・プロジェクト」の後、粘土による即興的なモデリングを始める。

パブリックコレクション：兵庫県立美術館、福岡市美術館、東京都現代美術館 他

■西村 陽平

陶芸家。日本女子大学名誉教授。

自身の作品制作とともに、障がいのある方々や様々な人々の造形活動にも関わりワークショップを多数開催。

1947年：京都府生まれ

1974～98年：千葉盲学校 美術教諭

2001～16年：日本女子大学家政学部教授

1977年：第4回日本陶芸展外務大臣賞受賞

パブリックコレクション：東京都現代美術館、国立陶磁美術館(仏)、ピクトリア&アルバート美術館(英) 他

■光島 貴之

美術家。鍼灸師。10歳頃失明。

触覚による表現方法を模索し美術作品を発表。触覚に着目したワークショップにも取り組む。

1954年：京都府生まれ

1992年～：粘土造形制作開始

1995年～：「触る絵画」制作開始

1998年：「'98アートパラリンピック長野」大賞・銀賞受賞

パブリックコレクション：府中市美術館、兵庫県立美術館 他

〈映像作品〉

新しい美術館は、県民が多目的かつ自由に利用できる要望に応え、「屋根のある公園」と呼ぶ新しいスペースを創出。本館1階交流スペースのL字型巨大壁面の形状に合わせた映像作品を平成30(2019)年に2名の作家へ依頼し、令和3(2021)年に作品が完成。交流スペースで上映することにより、作家や作品を紹介した。

【作品リスト】

No.	作品名	作者	制作年	材質他
1	飯縄縁日	榊原澄人	2021年	ビデオ、ステレオ、12分
2	1本の線	ユーフラテス	2021年	ビデオ、ステレオ、7分

【制作者紹介】

■榊原 澄人

国内外での多数の上映歴・受賞歴を有し、高い評価を受ける県内在住の映像作家。

1980年 : 北海道生まれ

1995年 : 15歳で渡英

2003年度 : 文化庁芸術家在外研修(現 : 新進芸術家海外研修)

2016年 : Cutout Fest 実験アニメーション映画部門 : 大賞(メキシコ)

2015年 : 国際アニメーションアート映画祭ビデオインスタレーション部門 : 大賞(ロシア)

2014年 Animatou : ブロンズペガサス賞(ポーランド)等受賞多数

■ユーフラテス

メディアデザインを得意とするクリエイティブグループ。

映像、アニメーション、展示、グラフィックなど、メディアを問わず「考え方を重視した表現」を追求。

2005年 : 慶應義塾大学 佐藤雅彦研究室の卒業生により設立

2005年～ : NHK E テレ『ピタゴラスイッチ』、『大人のピタゴラスイッチ』コーナー映像制作

2010年～ : NHK E テレ『0655』『2355』ディレクション 等多数

新築オープン記念イベント

新築オープンを迎えた令和3(2021)年4月10日から、グランドオープンの8月28日まで
の4か月間に行った。様々な分野を横断したイベントを開催することで、多くの方に新
しくなった美術館に足を運んでいただき、アートを身近に感じていただく機会とした。

イベント名	概要
中谷美二子《霧の彫刻》+田中泯「場踊り」	日時：4/24(土) 14:30~15:30 場所：水辺テラス 担当：霜田英子、古家満葉、茂原奈保子 参加人数：60人 長野県立美術館の新しいコンセプトである「ランドス ケープ・ミュージアム」を象徴する作品として常設さ れた中谷美二子の《霧の彫刻》に合わせ、田中泯が 「場踊り」を行った。
原田マハ講演会 「魁夷の信濃路：私の道しるべ —東山魁夷の歩みを追って—」	日時：4/25(日) 14:00~15:30 場所：ホール 担当：井上英、羽生田利枝、柄沢志保 参加人数：75人 信州にゆかりのある画家・東山魁夷を愛する作家・原 田マハによる講演会を開催した。
夜の星空美術館	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
ナガノコレクション2021	日時：5/5(水・祝) 10:00~16:00 場所：屋上広場「風テラス」 担当：井上英、羽生田利枝、柄沢志保 参加人数：100人 “長野を元気にする”ために開催されるモデルヘアシ ョー「ナガコレ」。今年は長野県立美術館もサテライト 会場として参加した。
いいだ人形劇センター公演 「人魚姫」	日時：6/5(土) ①13:00~14:00、②15:30~16:30 場所：ホール 担当：霜田英子、茂原奈保子 参加人数：①50人、②50人 長野県飯田市で毎年夏に開催される人形劇の祭典「い いだ人形劇フェスタ」から、市民がプロのアーティスト とともに作りあげた舞台作品「人魚姫」を上演した。
小松美羽 ライブペインティング	日時：7/25(日) 14:00~15:00 場所：ホール 担当：霜田英子、茂原奈保子 参加人数：70人 長野県坂城町出身の小松美羽によるライブペインテ ィングを実施した。
ナガノワインテラス	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



原田マハ講演会



ナガノコレクション2021



いいだ人形劇センター公演



小松美羽 ライブペインティング

広報・マーケティング室事業

令和3(2021)年度は、本館新築オープンで、より多くの方々が新しい美術館に興味を持ってもらい、実際に訪れていただくために、印刷物では、「館内パンフレット」を5言語〔日・英・中(簡)・中(繁)・韓〕で制作した。プレスリリース作成等で取材誘致を行うほか、新たななかたちでの情報発信とし、首都圏を中心とした県外へのPRやウェブ広告にも多く取り組んだ。また、頻繁に来館できない方に向けたSNSを活用した情報発信も強化した。

1 館内パンフレット5言語

印刷物「館内パンフレット」を5言語〔日・英・中(簡)・中(繁)・韓〕で制作し、多言語化につとめた。



日本語



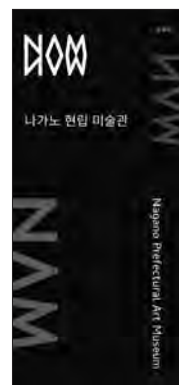
英語



中国語（簡体字）



中国語（繁体字）



韓国語

2 ウェブサイトとSNSの運用

ウェブサイトの年間ページアクセス数は約1,996,298となり、グランドオープン記念展では、SNS割(当館についてSNSでシェアした方は受付での画面提示により観覧料100円引き)を開催し、期間中16件申告いただいた。

- ・長野県立美術館ホームページ <https://nagano.art.museum/>
- ・長野県立美術館フェイスブック <https://www.facebook.com/npsam.kaii/>
- ・長野県立美術館インスタグラム <https://www.instagram.com/naganoartmuseum/>
- ・長野県立美術館ツイッター <https://twitter.com/naganoartmuseum>

ホームページ閲覧数、SNS フォロワー数

	ホームページ アクセス数	フェイスブック フォロワー数	インスタグラム フォロワー数	ツイッター フォロワー数
令和3(2021)年度	1,996,298	1,927	2,974	1,751

3 各種サインボード、広告掲出

周辺道路や、最寄りのバス停、長野駅でアクセス案内及び、展覧会の周知を図るため、長野駅へバナー広告を掲出した。

4 取材対応・プレスリリース作成及び取材誘致

新聞、美術誌のほか、情報誌に向けてプレスリリースを配信し、電話・メール等での記事掲載の取材対応や、撮影・収録立ち合いなどを行った。

新聞／123件、テレビ・ラジオ／68件、雑誌／147件、WEB等／120件



JR 長野駅新幹線ホーム 館案内



JR 長野駅コンコース バナー広告

風テラスライブ

長野県立美術館の屋上広場「風テラス」で不定期に、音楽コンサートを開催。

来場者に新美術館の魅力をPRするとともに、善光寺を含む館外風景を眺めながら各アーティストによる演奏を提供した。

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	4/10	出演：汐入規予 司会：富岡美希 担当：井上英、羽生田利枝	一般	300
2	5/22	出演：清水まなぶ 司会：富岡美希 担当：井上英、羽生田利枝	一般	250
3	7/24	出演：佐藤健作 司会：浅井みどり 担当：井上英、羽生田利枝	一般	200
4	10/16	出演：堀入幸恵、西村夏葵 司会：富岡美希 担当：井上英、羽生田利枝	一般	130



5月22日



7月24日



4月10日



10月16日

利用案内

施設名称 長野県立美術館

所在地 〒380-0801 長野県長野市箱清水 1-4-4 (善光寺東隣 城山公園内)

お問合せ TEL.026-232-0052 FAX.026-232-0050

開館時間 9:00-17:00(展示室入場は16:30まで)

休館日 毎週水曜日(祝日の場合は、原則翌平日)、年末年始(12/28～1/3)

※展示替え、メンテナンスなどにより臨時休館する場合があります。

觀覽料

	一 般	大学生及び75歳以上	高校生以下又は18歳未満
企 画 展		展覧会により異なります。	
コレクション展 (本館・東山魁夷館共通)	700 (600) 円	500 (400) 円	無 料

* 割引の併用はできません。

* ()内は、20名以上の団体割引及び各種割引料金です。

*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料です。

* 大学生及び75歳以上の方は、身分が確認できるものをご提示ください。

[illegible][illegible]

長野県立美術館

● 2021年度（令和3年度）

館報 No.24

編集・発行 令和4（2022）年4月30日

長野県立美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4

電話 026-232-0052

PRINT ISSN 2436-8547

ONLINE ISSN 2436-8563